

南河内地域2市2町1村

(羽曳野市、大阪狭山市、太子町、河南町、千早赤阪村)

「地域の未来予測」

南河内基礎自治機能充実強化協議会 別冊資料
令和8年3月27日現在



資料3

地域の未来予測とは

○ 「めざす未来像」の議論の材料となる重要な将来推計のデータを、客観的かつ長期的な視点で整理したもので、以下の要件を満たしたもの

- ① それぞれの地域における行政需要や経営資源に関する長期的な(概ね15年から30年先までの)変化・課題の見通しを、客観的なデータを基にして整理したものであること。
- ② 分野横断的な指標として、各分野の推計の前提となる人口や人口構造の変化及び施設・インフラの老朽化等に関して長期的な将来推計を行ったものであること。
- ③ ②を踏まえて複数の分野についての長期的な変化・課題の見通しを整理したものであること。

【分野】

- ◎ 人口や人口構造の変化及び施設・インフラの老朽化等の影響を大きく受ける分野のうち、人口等を基礎として長期見通しの推計が可能な分野であって、施設・インフラをはじめとしたサービス提供体制の見通しに長期的な視点での検討が必要な分野(医療・福祉、防災・消防、衛生など)

推計した分野

推計のベースとなる人口については、国立社会保障・人口問題研究所による「日本の地域別将来推計人口(令和5年推計)」の推計値を用いています。

分野	No.	指標	分野	No.	指標
人口	1-1	将来推計人口	防災・消防	5-1	避難行動要支援者数
	1-2	年齢3区分別人口割合		5-2	救急搬送人員数
	1-3	若年男女人口(20~39歳)	衛生	6-1	ごみ発生量
	1-4	人口ピラミッド変化		6-2	有収水量
	1-5	高齢化率・後期高齢化率			
	1-6	地域別人口密度			
	1-7	未就学児・小中学校児童生徒数			
施設・インフラ	2-1	公共施設の基本情報(体育館)			
	2-2	公共施設の基本情報(プール)			
	2-3	公共施設の基本情報(文化ホール)			
	2-4	公共施設の基本情報(給食センター)			
	2-5	公共施設の基本情報(文化ホール)			
行政	3-1	行政職員数比較			
医療・福祉	4-1	医療・介護需要			
	4-2	認知症有病者数			

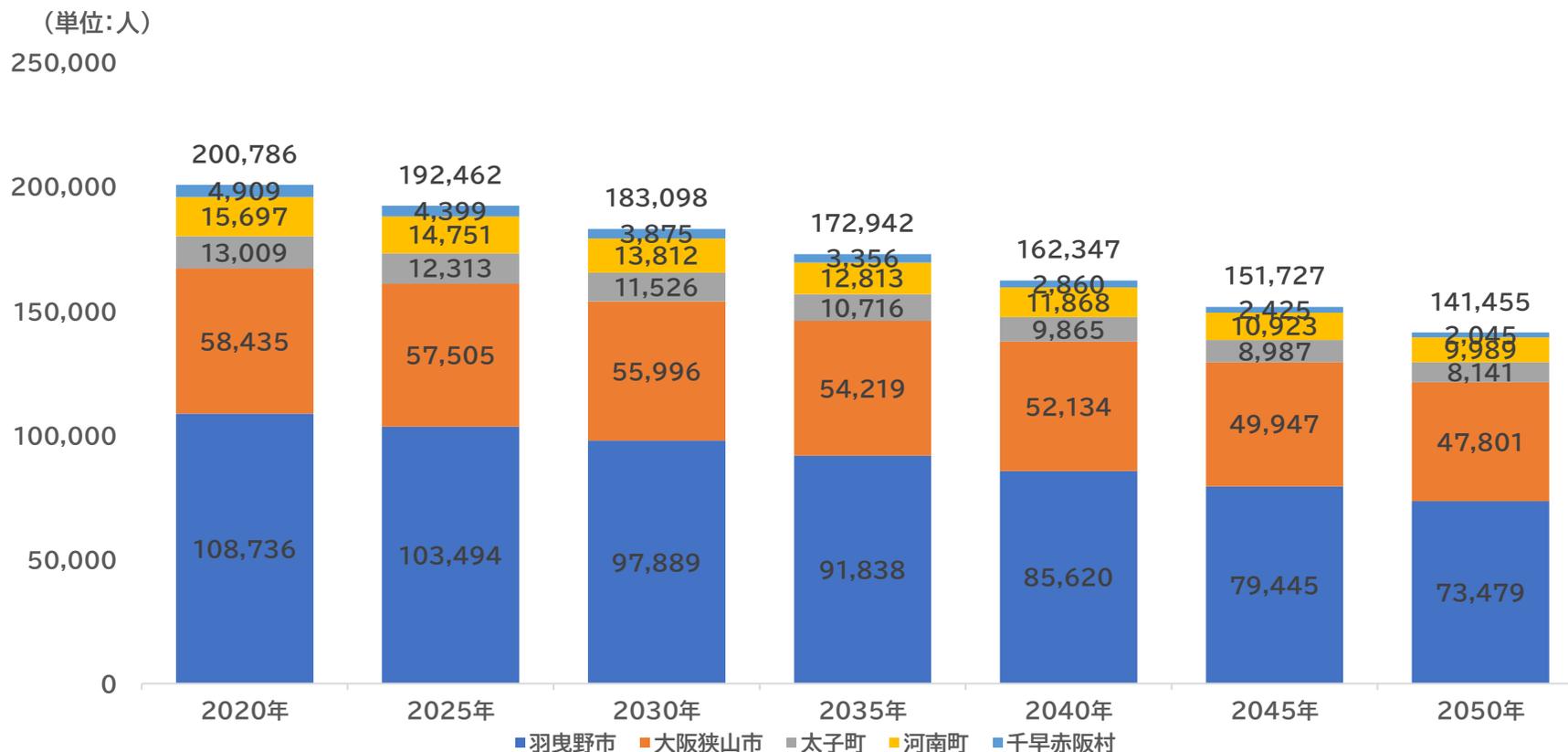
No.1-1

【人口】将来推計人口(南河内地域2市2町1村)

出典:総務省「国勢調査」,国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口(令和5年推計)」を基に作成

推計結果の概要

総人口は2020年から2050年にかけて59,331人減少する(▲29.5%)見込み。



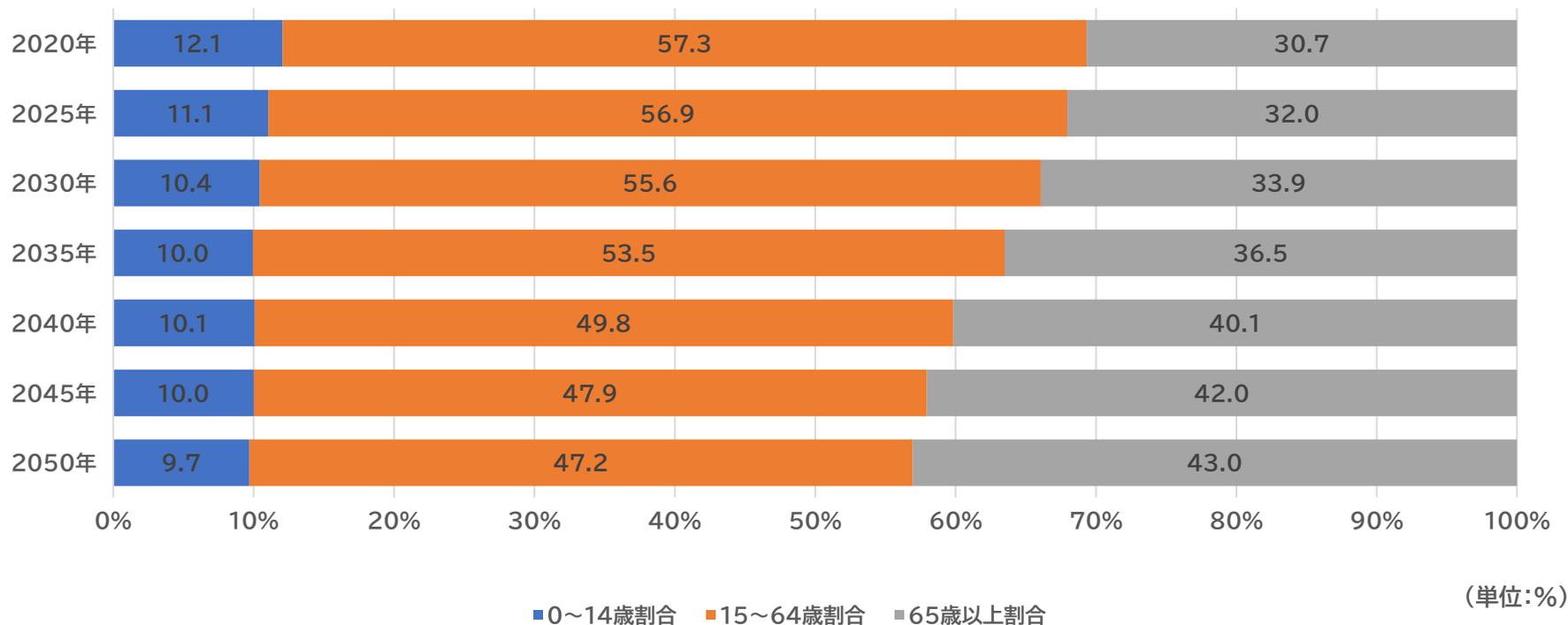
No.1-2

【人口】年齢3区分別人口割合(南河内地域2市2町1村)

出典:総務省「国勢調査」,国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口(令和5年推計)」を基に作成

推計結果の概要

年少人口(0~14歳)及び生産年齢人口(15~64歳)の割合が減少し、高齢人口(65歳以上)の割合が増加する。



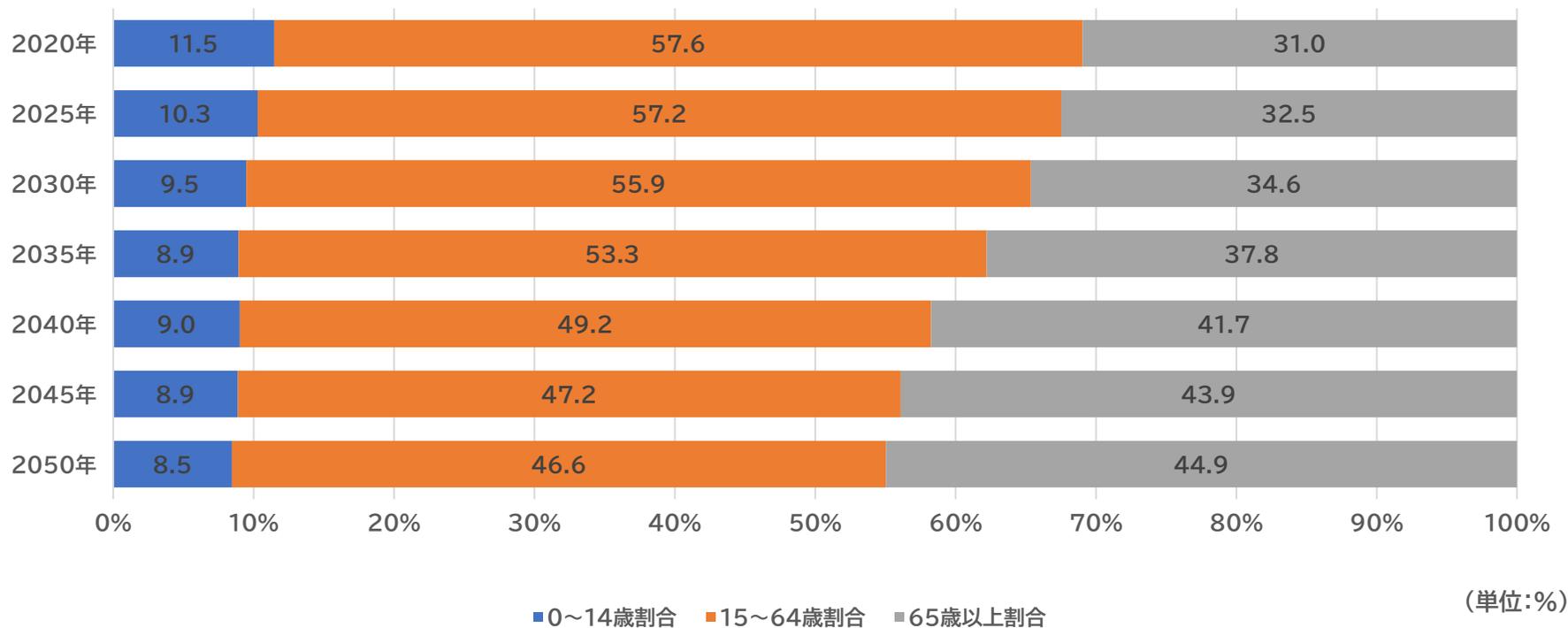
No.1-2

【人口】年齢3区分別人口割合(羽曳野市)

出典:総務省「国勢調査」,国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口(令和5年推計)」を基に作成

推計結果の概要

年少人口(0~14歳)及び生産年齢人口(15~64歳)の割合が減少し、高齢人口(65歳以上)の割合が増加する。



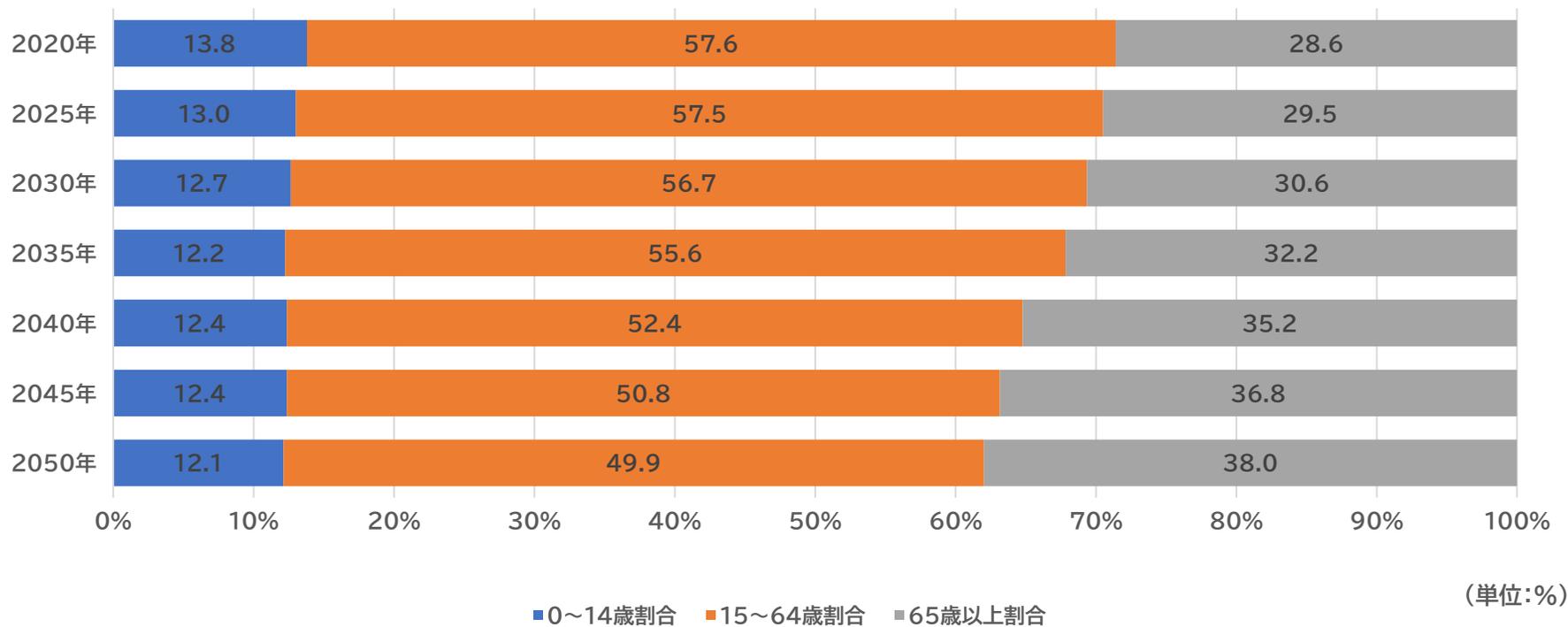
No.1-2

【人口】年齢3区分別人口割合(大阪狭山市)

出典:総務省「国勢調査」,国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口(令和5年推計)」を基に作成

推計結果の概要

年少人口(0~14歳)及び生産年齢人口(15~64歳)の割合が減少し、高齢人口(65歳以上)の割合が増加する。



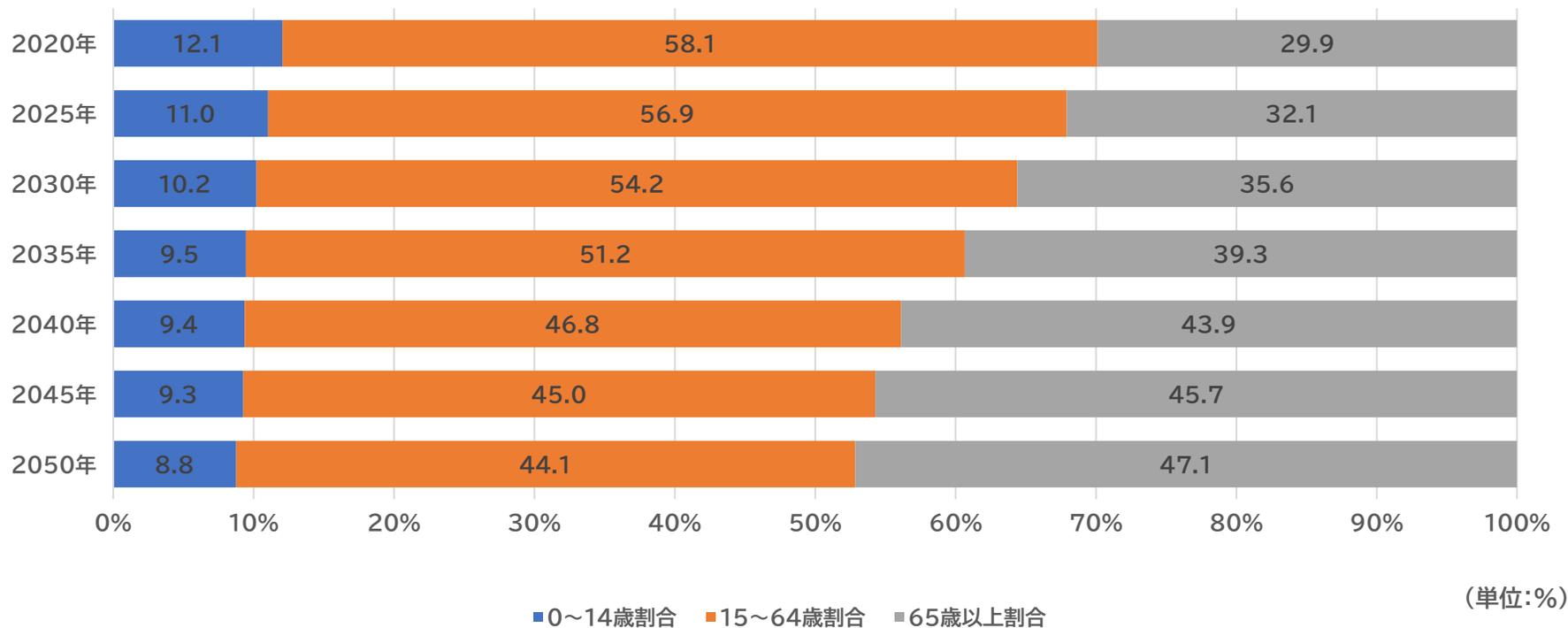
No.1-2

【人口】年齢3区分別人口割合(太子町)

出典:総務省「国勢調査」,国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口(令和5年推計)」を基に作成

推計結果の概要

年少人口(0~14歳)及び生産年齢人口(15~64歳)の割合が減少し、高齢人口(65歳以上)の割合が増加する。



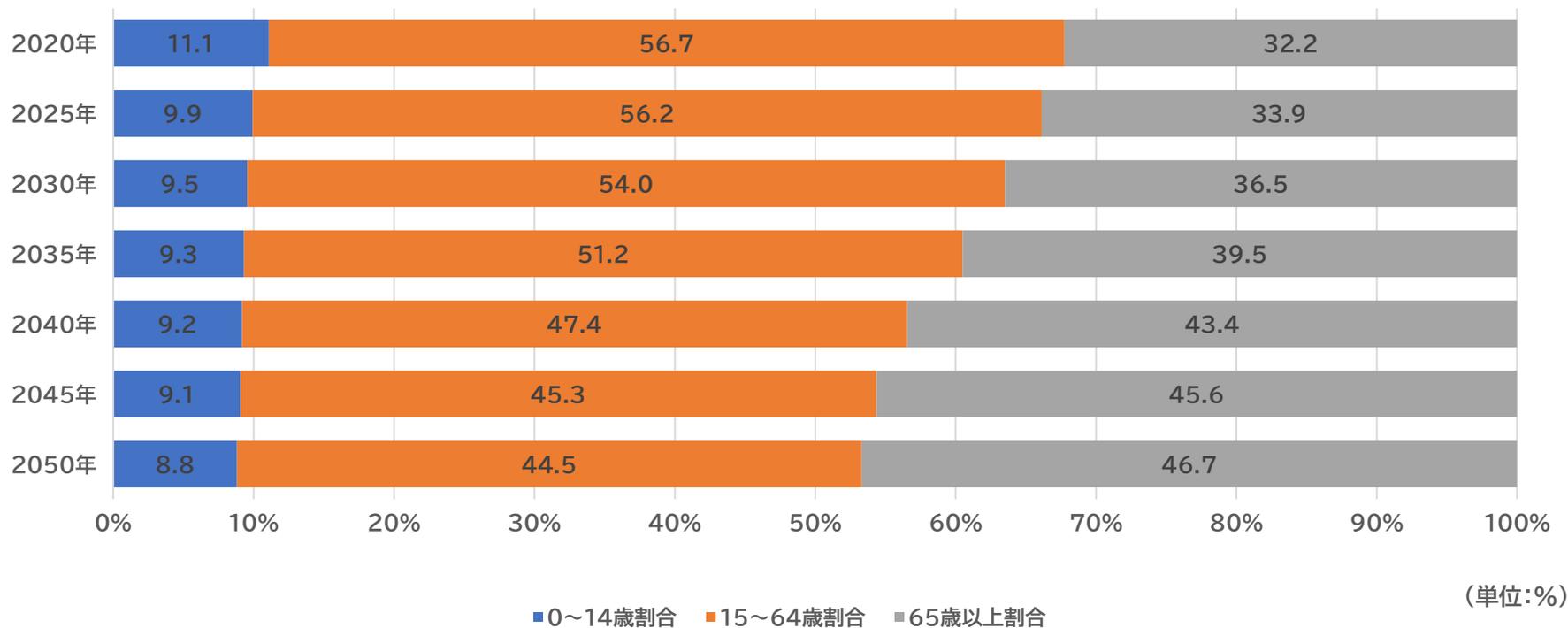
No.1-2

【人口】年齢3区分別人口割合(河南町)

出典:総務省「国勢調査」,国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口(令和5年推計)」を基に作成

推計結果の概要

年少人口(0~14歳)及び生産年齢人口(15~64歳)の割合が減少し、高齢人口(65歳以上)の割合が増加する。



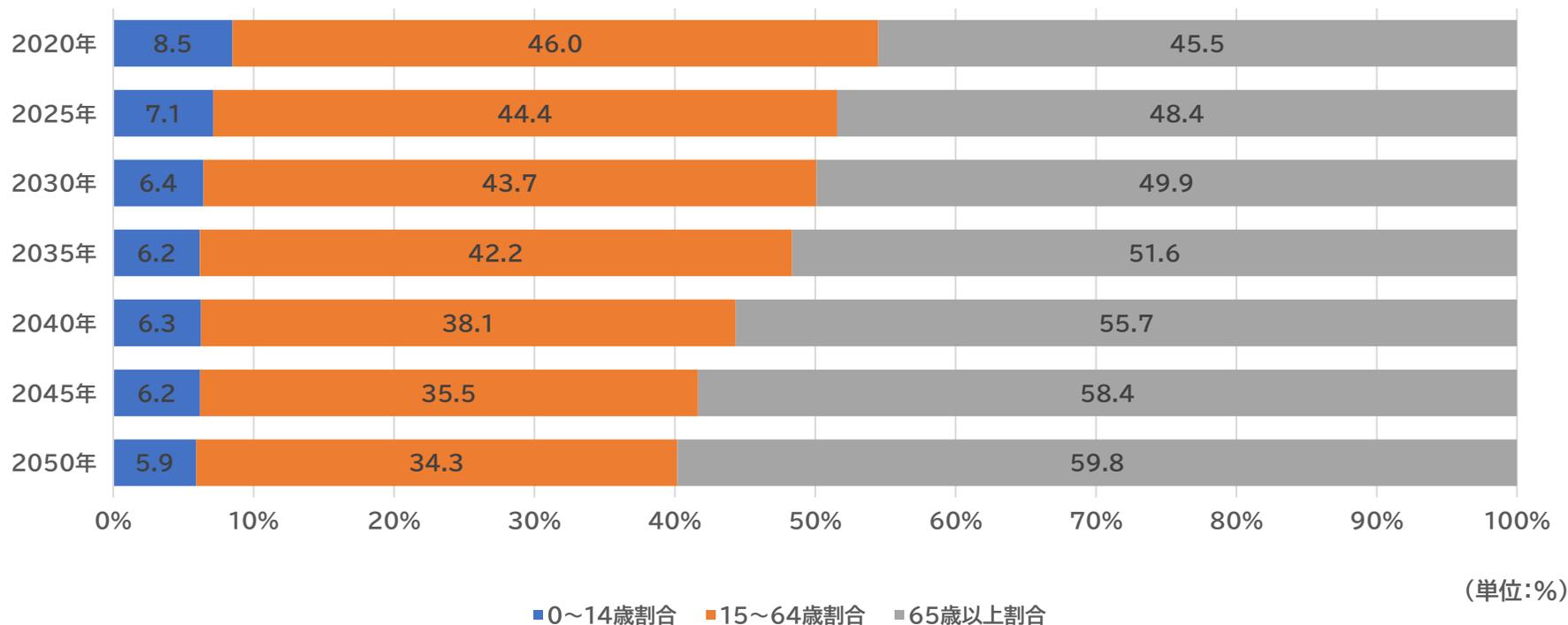
No.1-2

【人口】年齢3区分別人口割合(千早赤阪村)

出典:総務省「国勢調査」,国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口(令和5年推計)」を基に作成

推計結果の概要

年少人口(0~14歳)及び生産年齢人口(15~64歳)の割合が減少し、高齢人口(65歳以上)の割合が増加する。



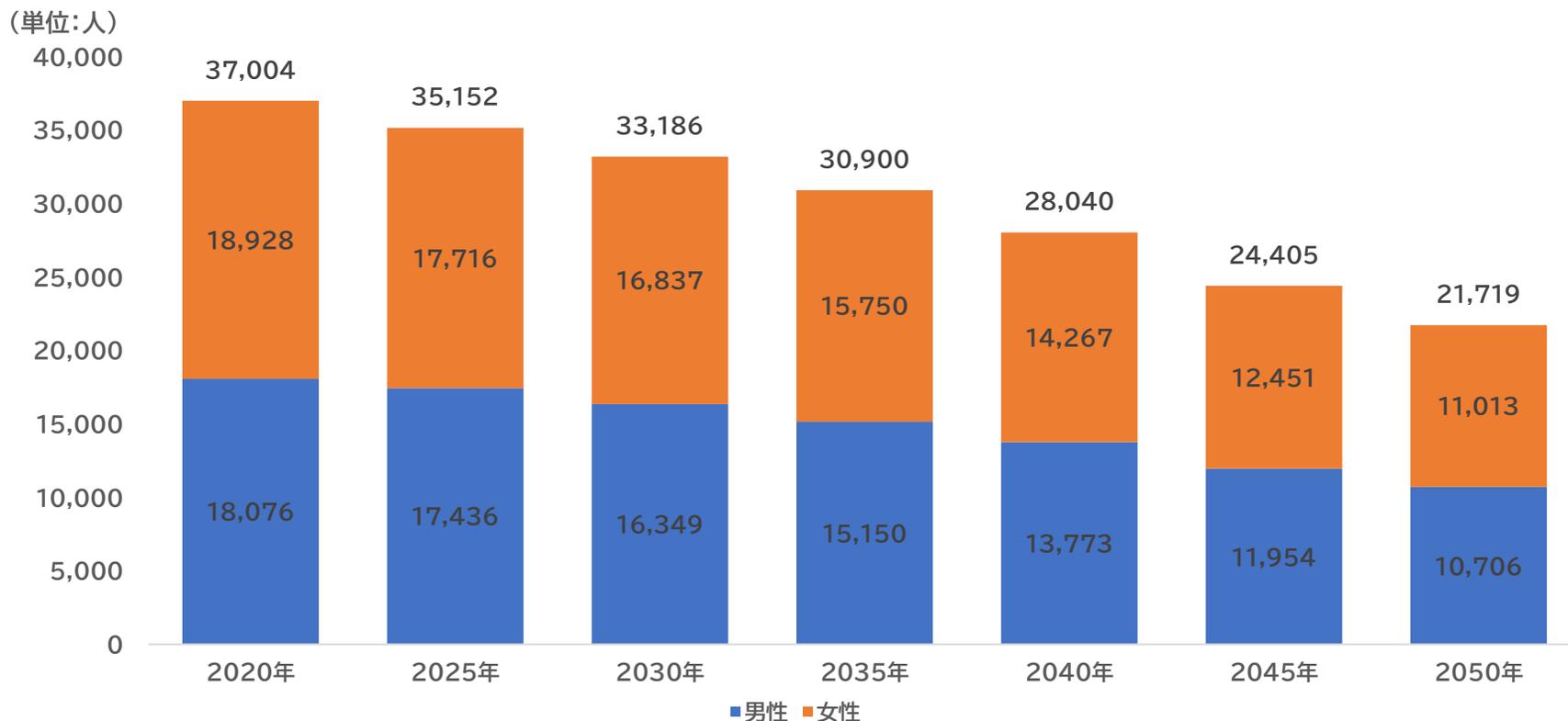
No.1-3

【人口】若年男女人口(20~39歳)(南河内地域2市2町1村)

出典:総務省「国勢調査」,国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口(令和5年推計)」を基に作成

推計結果の概要

若年男女人口は2020年から2050年にかけて、男性7,370人、女性7,915人、合計15,285人減少する。



No.1-3

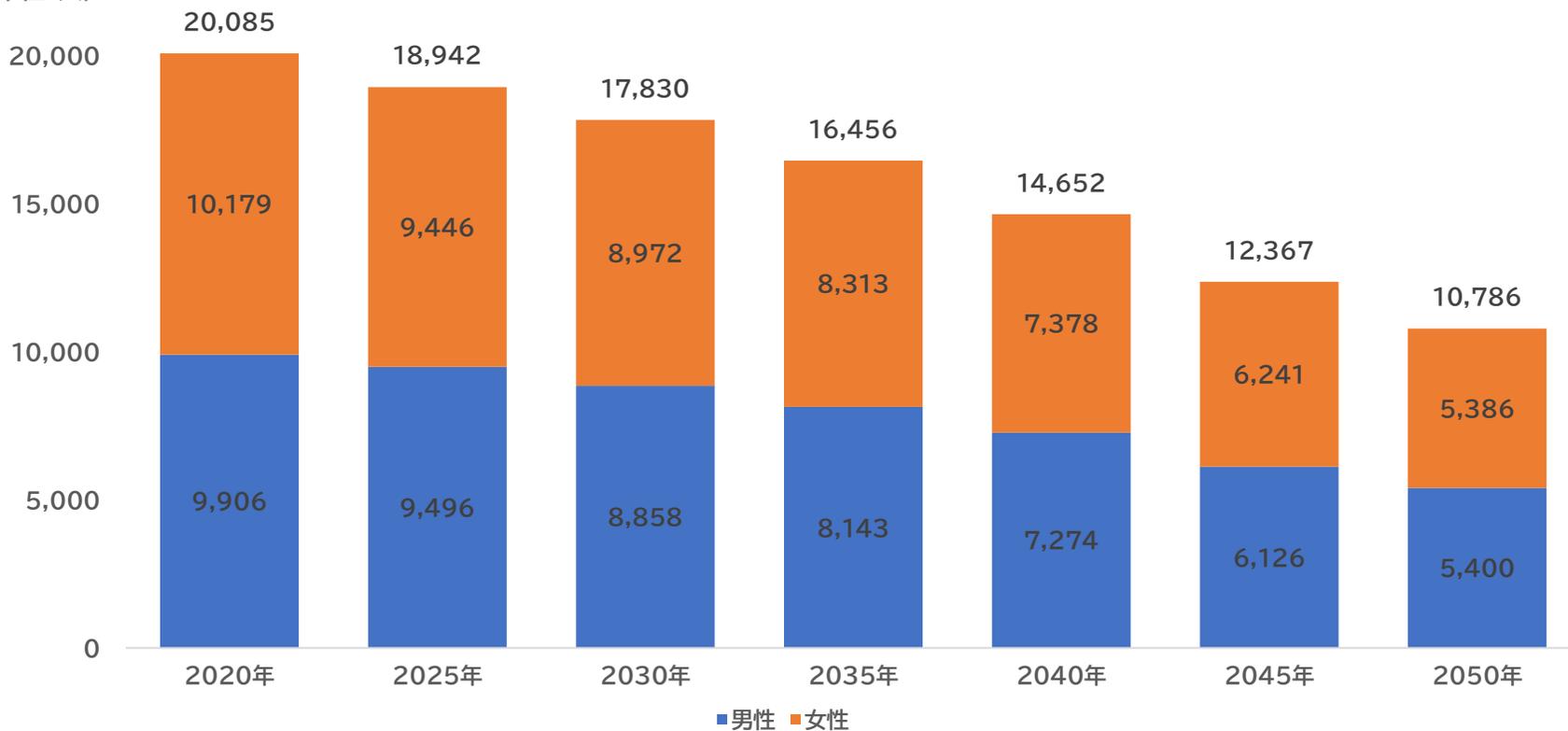
【人口】若年男女人口(20~39歳)(羽曳野市)

出典：総務省「国勢調査」、国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口(令和5年推計)」を基に作成

推計結果の概要

若年男女人口は2020年から2050年にかけて、男性4,506人、女性4,793人、合計9,299人減少する。

(単位:人)



No.1-3

【人口】若年男女人口(20~39歳)(大阪狭山市)

出典:総務省「国勢調査」,国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口(令和5年推計)」を基に作成

推計結果の概要

若年男女人口は2020年から2050年にかけて、男性1,452人、女性1,619人、合計3,071人減少する。

(単位:人)
20,000

15,000



No.1-3

【人口】若年男女人口(20~39歳)(太子町)

出典:総務省「国勢調査」,国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口(令和5年推計)」を基に作成

推計結果の概要

若年男女人口は2020年から2050年にかけて、男性620人、女性593人、合計1,213人減少する。

(単位:人)

3,000

2,500

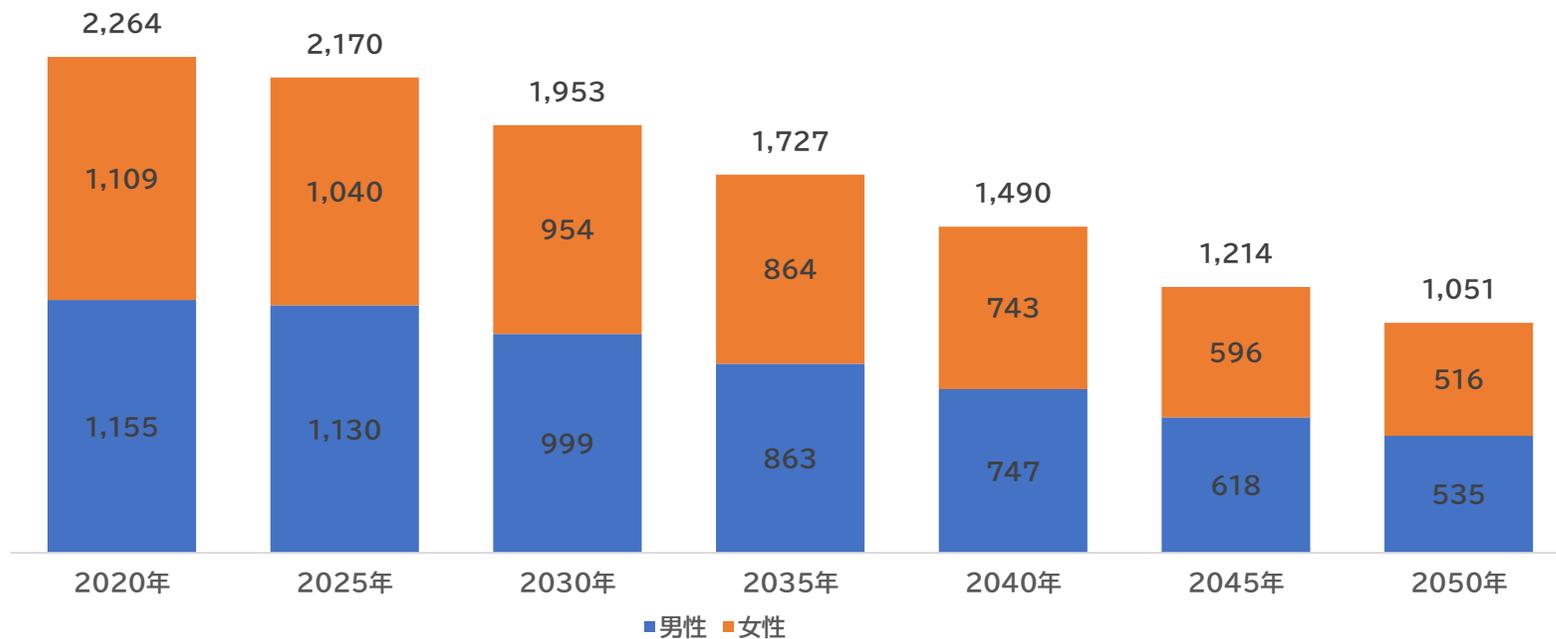
2,000

1,500

1,000

500

0



No.1-3

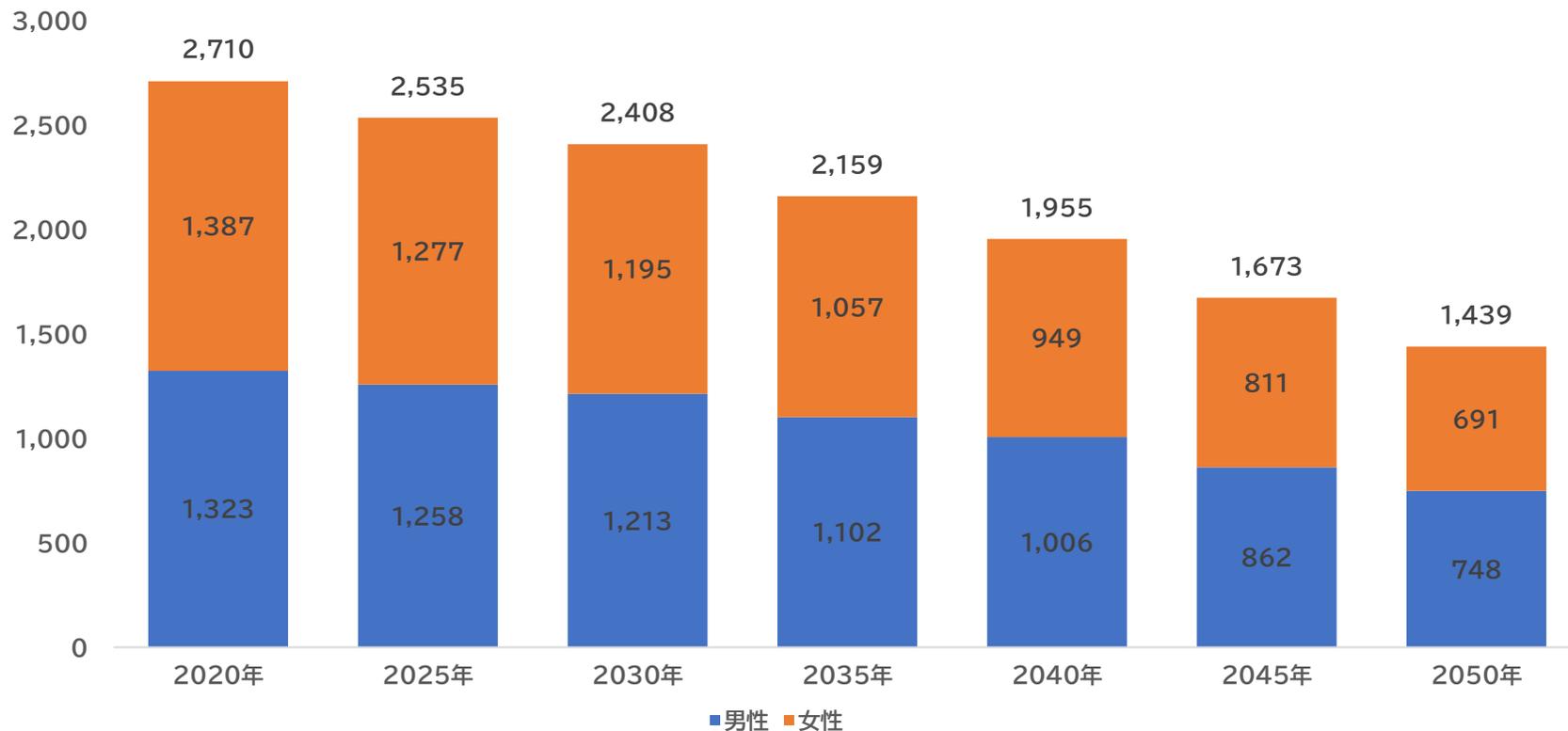
【人口】若年男女人口(20~39歳)(河南町)

出典:総務省「国勢調査」,国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口(令和5年推計)」を基に作成

推計結果の概要

若年男女人口は2020年から2050年にかけて、男性575人、女性696人、合計1,271人減少する。

(単位:人)



No.1-3

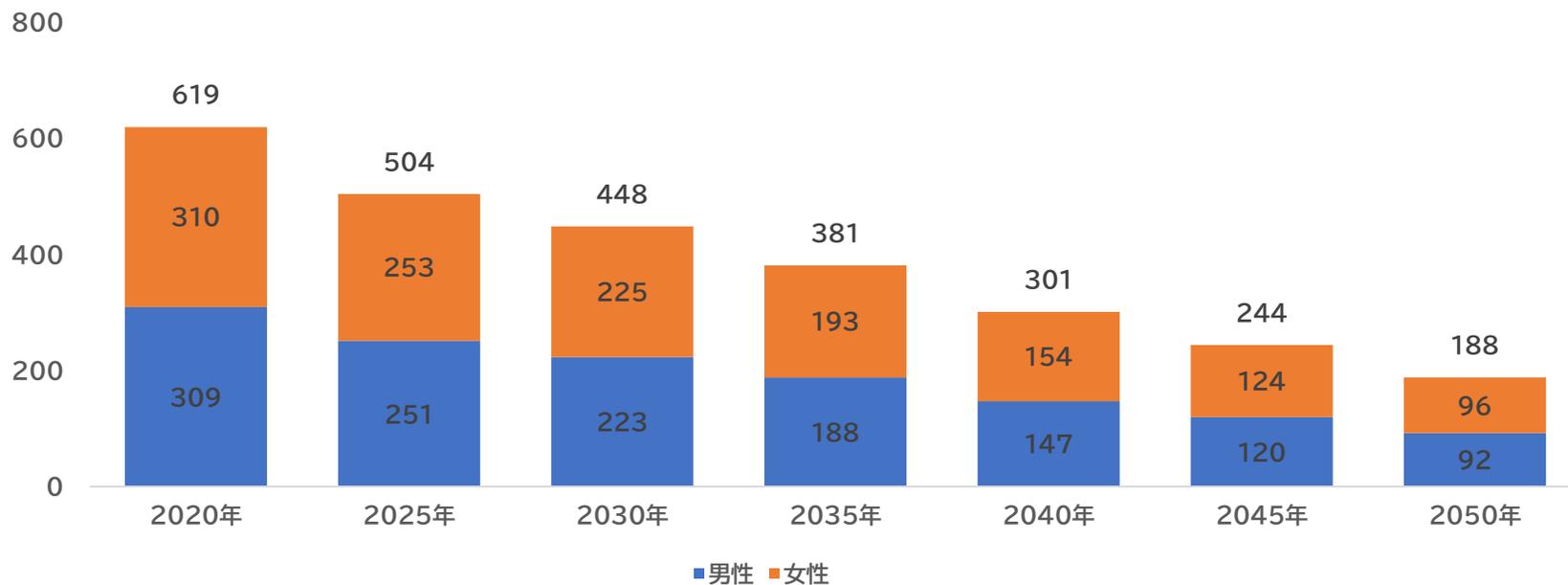
【人口】若年男女人口(20~39歳)(千早赤阪村)

出典：総務省「国勢調査」,国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口(令和5年推計)」を基に作成

推計結果の概要

若年男女人口は2020年から2050年にかけて、男性217人、女性214人、合計431人減少する。

(単位:人)
1,000



No.1-4

【人口】人口ピラミッド変化(南河内地域2市2町1村)

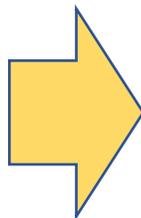
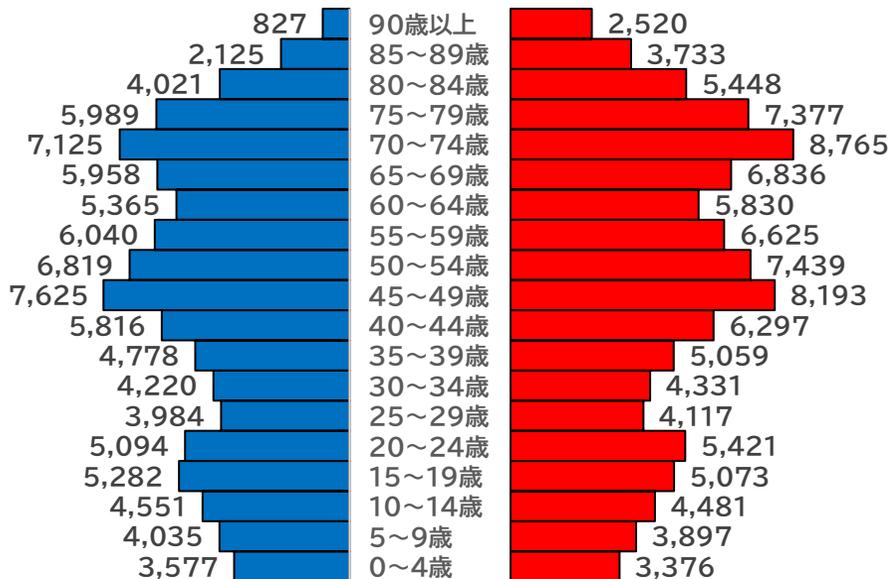
出典:総務省「国勢調査」,国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口(令和5年推計)」を基に作成
 ※2020年については年齢不詳者を除く

推計結果の概要

年少人口(0~14歳)及び生産年齢人口(15~64歳)が減少し、高齢人口(65歳以上)は増加するが、団塊ジュニア世代(1971~1974年生まれ)が65歳以上となる2040年代以降は、高齢人口も減少する。

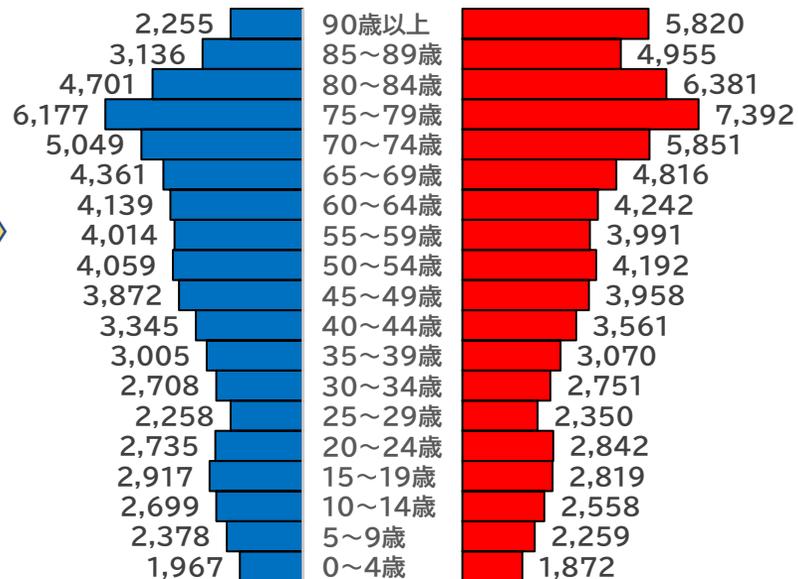
2020年

■男性 ■女性



2050年

■男性 ■女性



No.1-4

【人口】人口ピラミッド変化(羽曳野市)

出典:総務省「国勢調査」,国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口(令和5年推計)」を基に作成
 ※2020年については年齢不詳者を除く

推計結果の概要

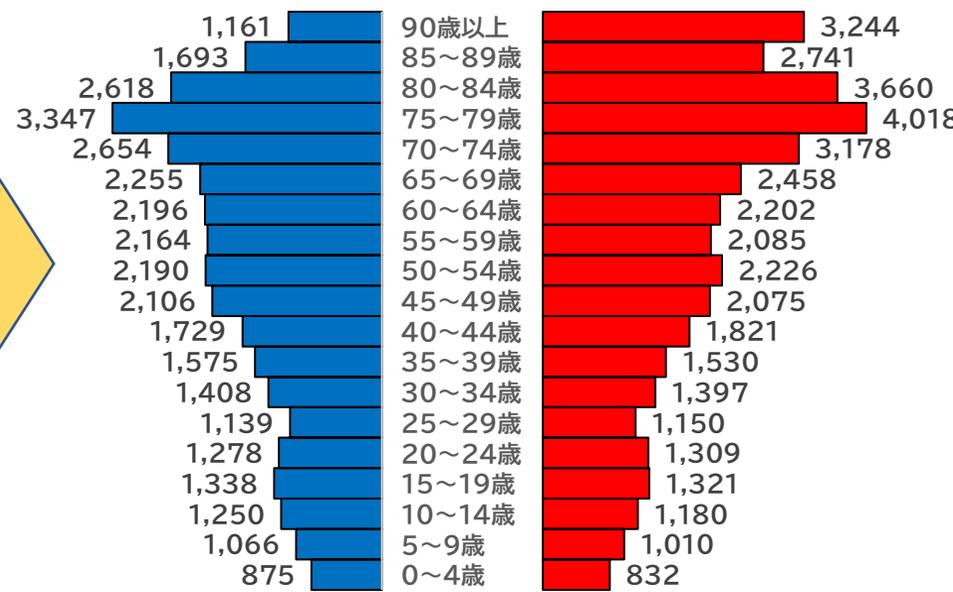
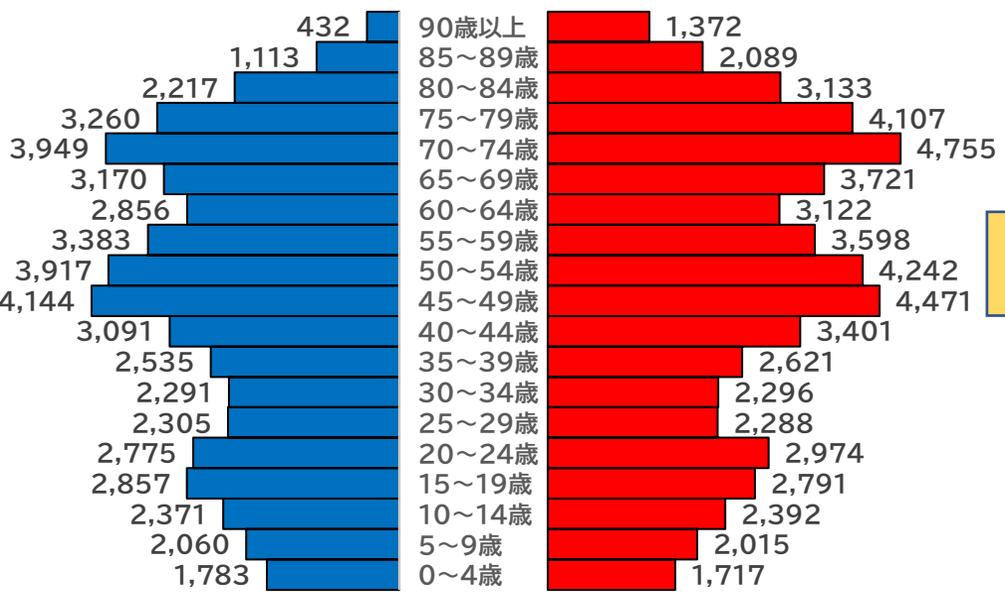
年少人口(0~14歳)及び生産年齢人口(15~64歳)が減少し、高齢人口(65歳以上)は増加するが、団塊ジュニア世代(1971~1974年生まれ)が65歳以上となる2040年代以降は、高齢人口も減少する。

2020年

■男性 ■女性

2050年

■男性 ■女性



No.1-4

【人口】人口ピラミッド変化(大阪狭山市)

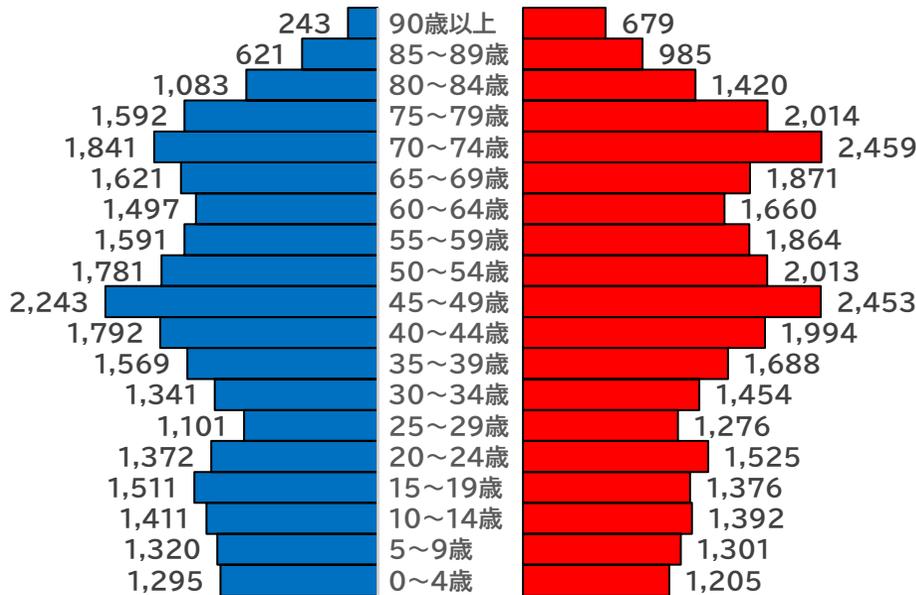
出典:総務省「国勢調査」,国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口(令和5年推計)」を基に作成
 ※2020年については年齢不詳者を除く

推計結果の概要

年少人口(0~14歳)及び生産年齢人口(15~64歳)が減少し、高齢人口(65歳以上)は増加するが、団塊ジュニア世代(1971~1974年生まれ)が65歳以上となる2040年代以降は、高齢人口も減少する。

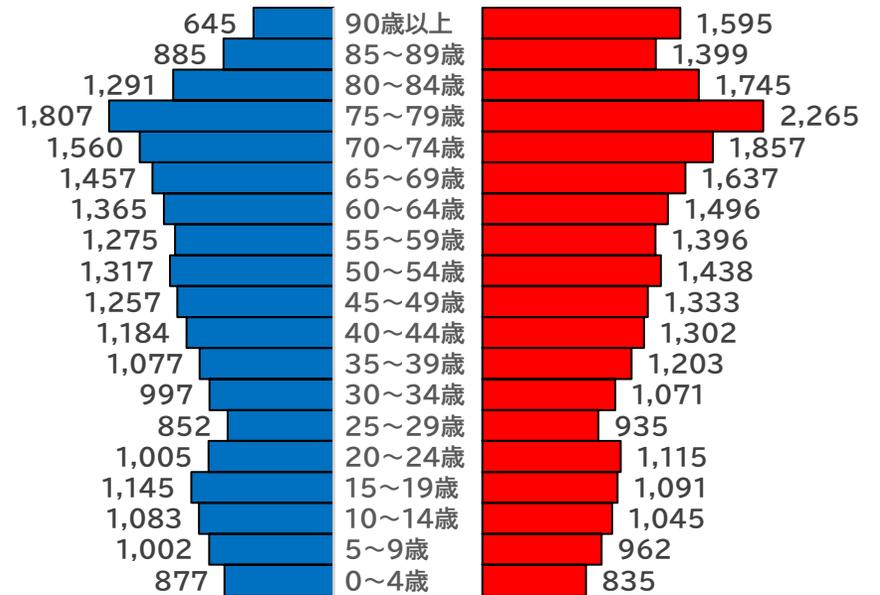
2020年

■男性 ■女性



2050年

■男性 ■女性



No.1-4

【人口】人口ピラミッド変化(太子町)

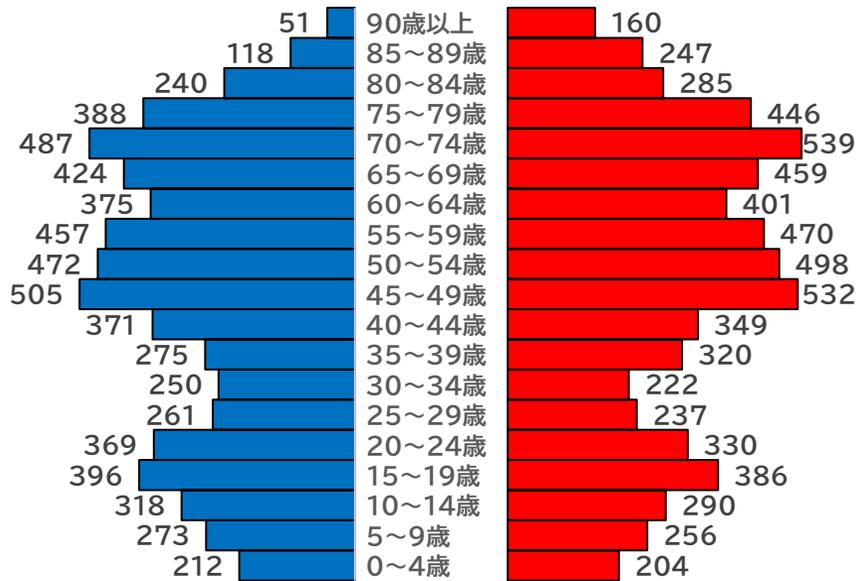
出典:総務省「国勢調査」,国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口(令和5年推計)」を基に作成
 ※2020年については年齢不詳者を除く

推計結果の概要

年少人口(0~14歳)及び生産年齢人口(15~64歳)が減少し、高齢人口(65歳以上)は増加するが、団塊ジュニア世代(1971~1974年生まれ)が65歳以上となる2040年代以降は、高齢人口も減少する。

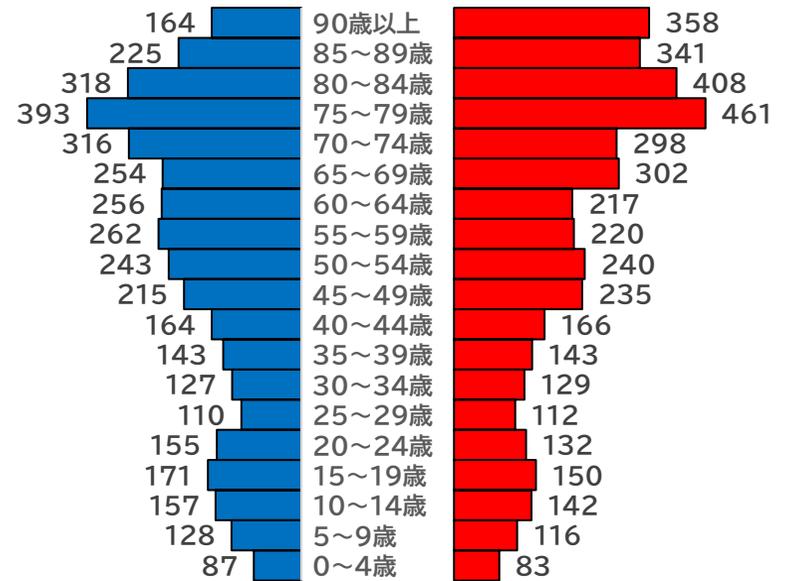
2020年

■男性 ■女性



2050年

■男性 ■女性



No.1-4

【人口】人口ピラミッド変化(河南町)

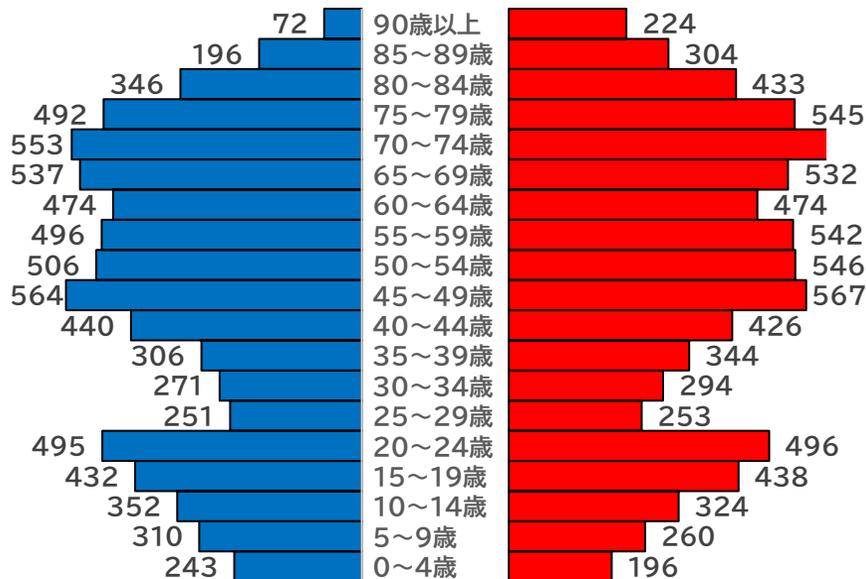
出典:総務省「国勢調査」,国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口(令和5年推計)」を基に作成
 ※2020年については年齢不詳者を除く

推計結果の概要

年少人口(0~14歳)及び生産年齢人口(15~64歳)が減少し、高齢人口(65歳以上)は増加するが、団塊ジュニア世代(1971~1974年生まれ)が65歳以上となる2040年代以降は、高齢人口も減少する。

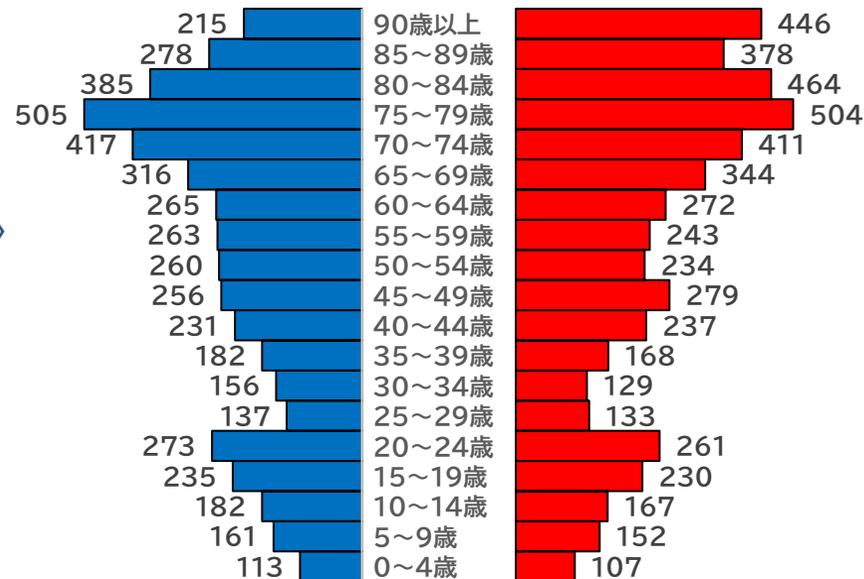
2020年

■男性 ■女性



2050年

■男性 ■女性



No.1-4

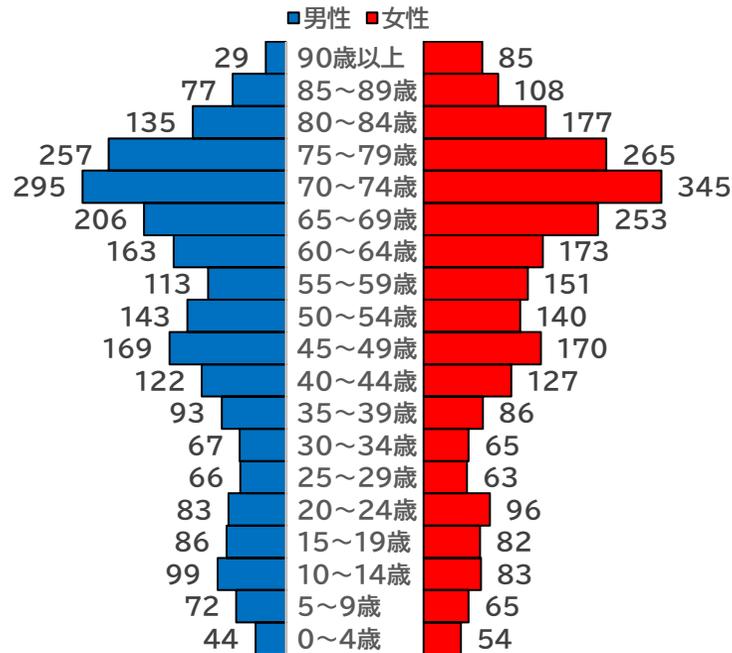
【人口】人口ピラミッド変化(千早赤阪村)

出典:総務省「国勢調査」,国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口(令和5年推計)」を基に作成
 ※2020年については年齢不詳者を除く

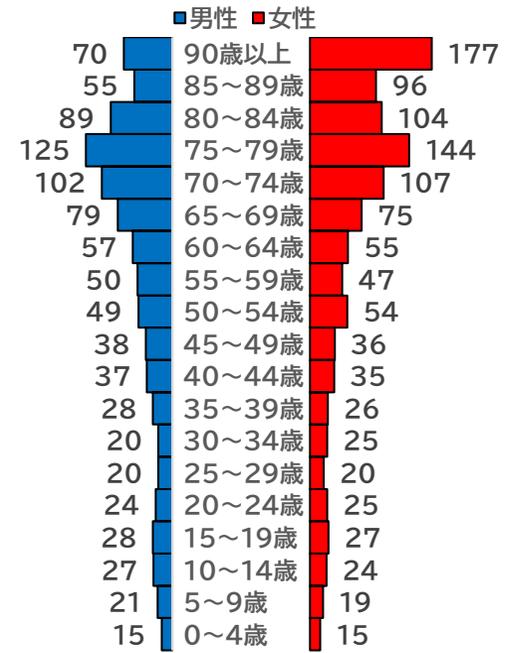
推計結果の概要

年少人口(0~14歳)及び生産年齢人口(15~64歳)が減少し、高齢人口(65歳以上)は増加するが、団塊ジュニア世代(1971~1974年生まれ)が65歳以上となる2040年代以降は、高齢人口も減少する。

2020年



2050年



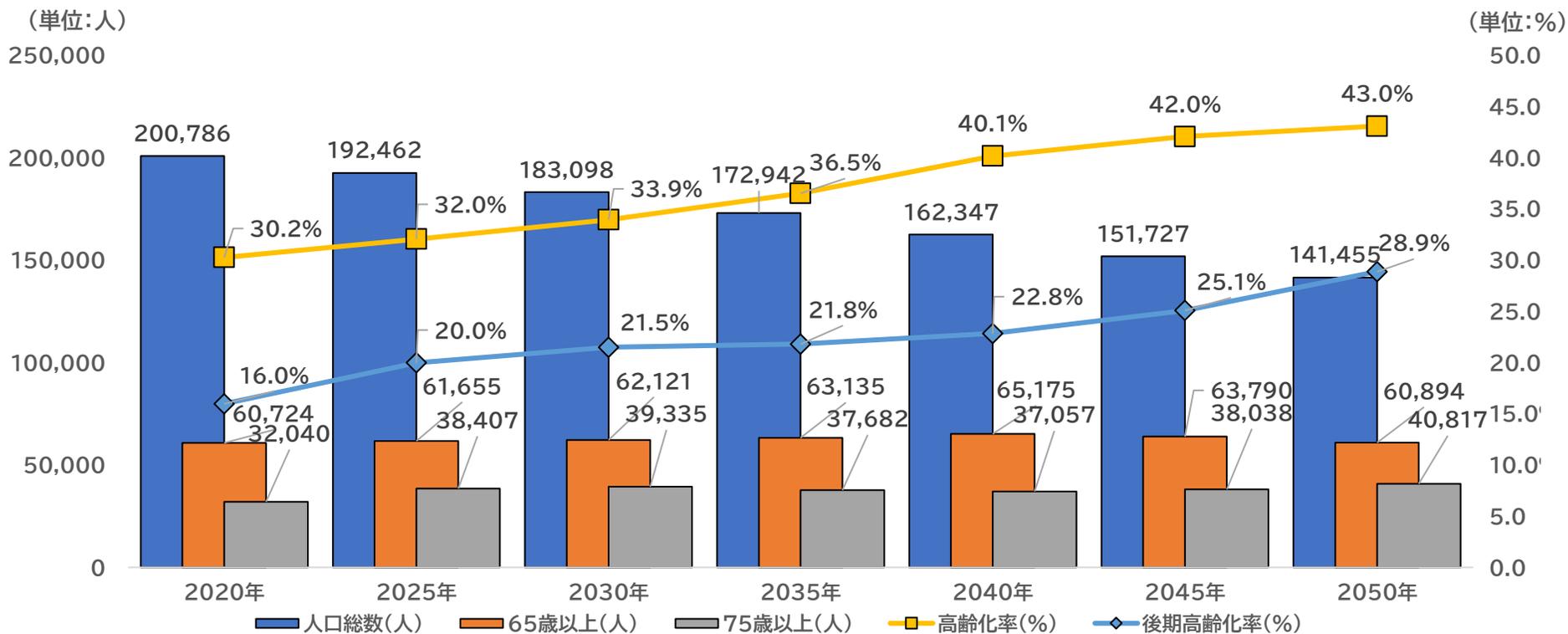
No.1-5

【人口】高齢化率・後期高齢化率(南河内地域2市2町1村)

出典:総務省「国勢調査」,国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口(令和5年推計)」を基に作成

推計結果の概要

総人口の減少と高齢者数の増加により、2020年から2050年にかけて高齢化率は12.8ポイント、後期高齢化率は12.9ポイント上昇する。



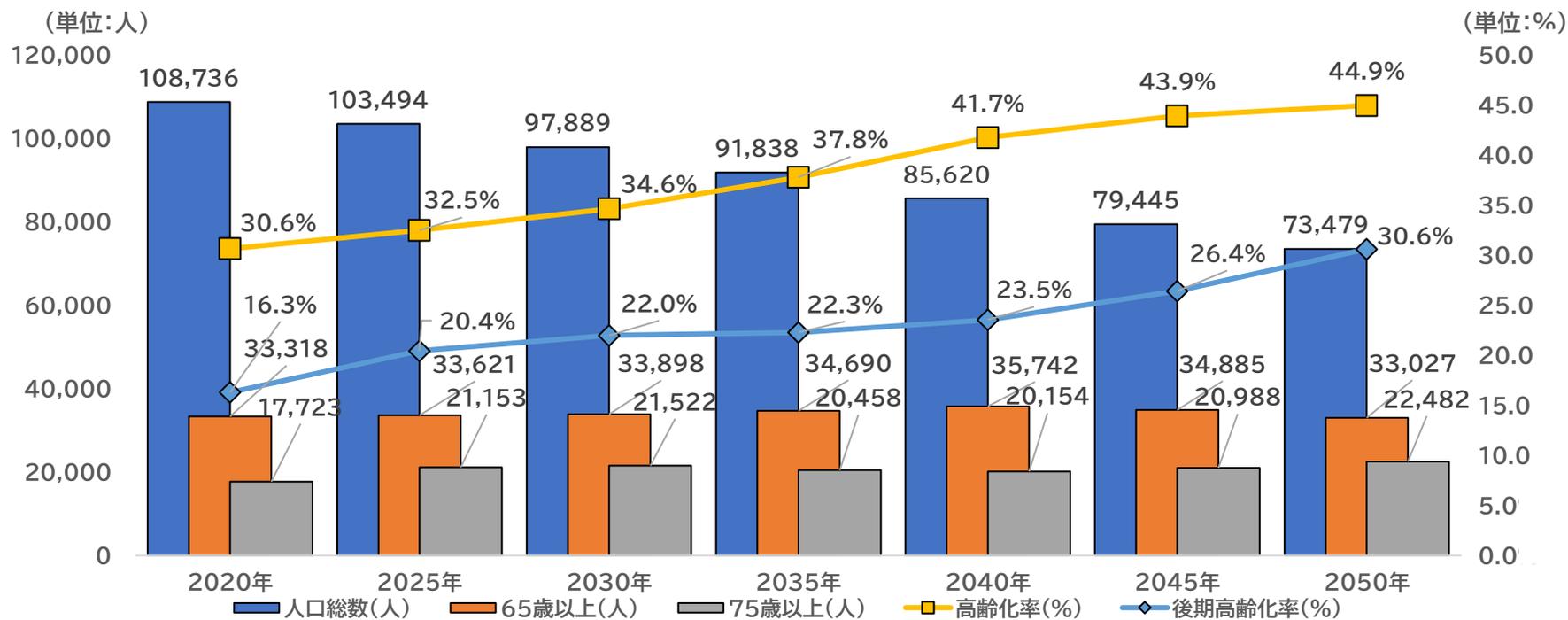
No.1-5

【人口】高齢化率・後期高齢化率(羽曳野市)

出典:総務省「国勢調査」,国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口(令和5年推計)」を基に作成

推計結果の概要

総人口の減少と高齢者数の増加により、2020年から2050年にかけて高齢化率は14.3ポイント、後期高齢化率は14.3ポイント上昇する。



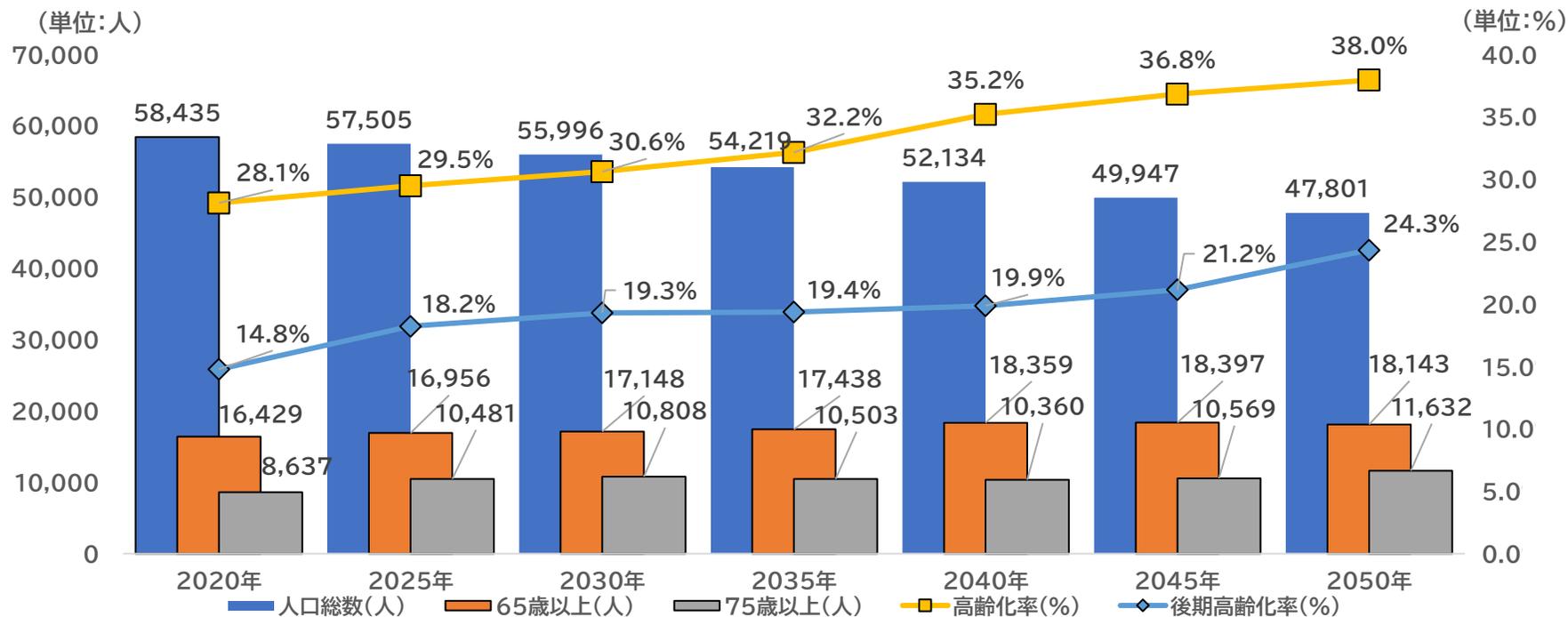
No.1-5

【人口】高齢化率・後期高齢化率(大阪狭山市)

出典:総務省「国勢調査」,国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口(令和5年推計)」を基に作成

推計結果の概要

総人口の減少と高齢者数の増加により、2020年から2050年にかけて高齢化率は9.9ポイント、後期高齢化率は9.5ポイント上昇する。



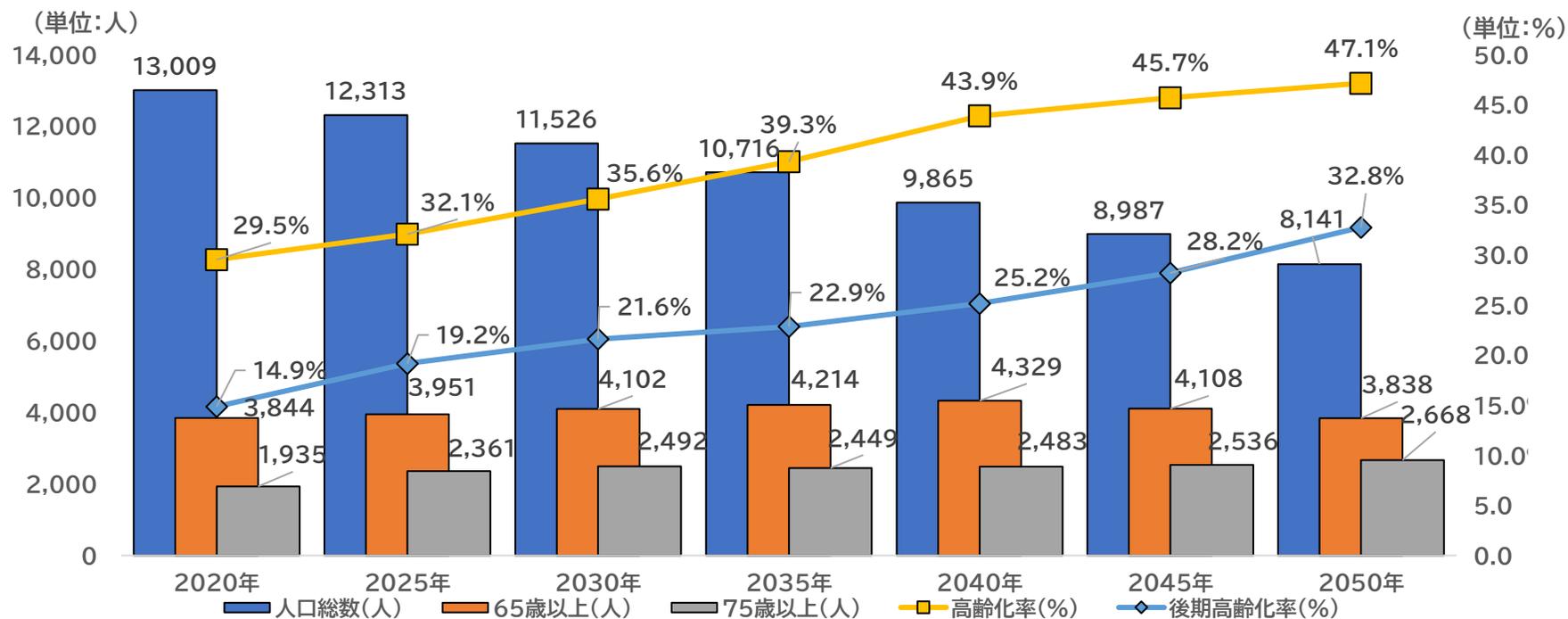
No.1-5

【人口】高齢化率・後期高齢化率(太子町)

出典：総務省「国勢調査」,国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口(令和5年推計)」を基に作成

推計結果の概要

総人口の減少と高齢者数の増加により、2020年から2050年にかけて高齢化率は17.6ポイント、後期高齢化率は17.9ポイント上昇する。



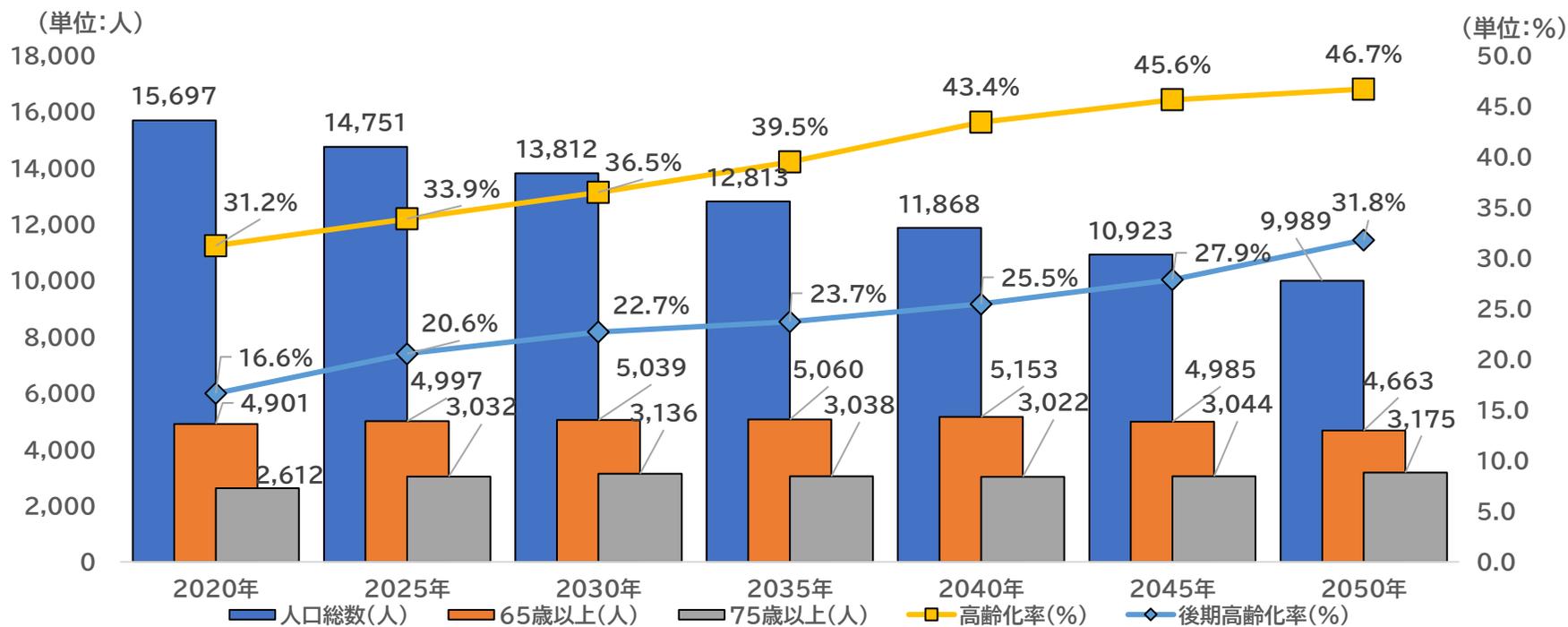
No.1-5

【人口】高齢化率・後期高齢化率(河南町)

出典：総務省「国勢調査」,国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口(令和5年推計)」を基に作成

推計結果の概要

総人口の減少と高齢者数の増加により、2020年から2050年にかけて高齢化率は15.5ポイント、後期高齢化率は15.2ポイント上昇する。



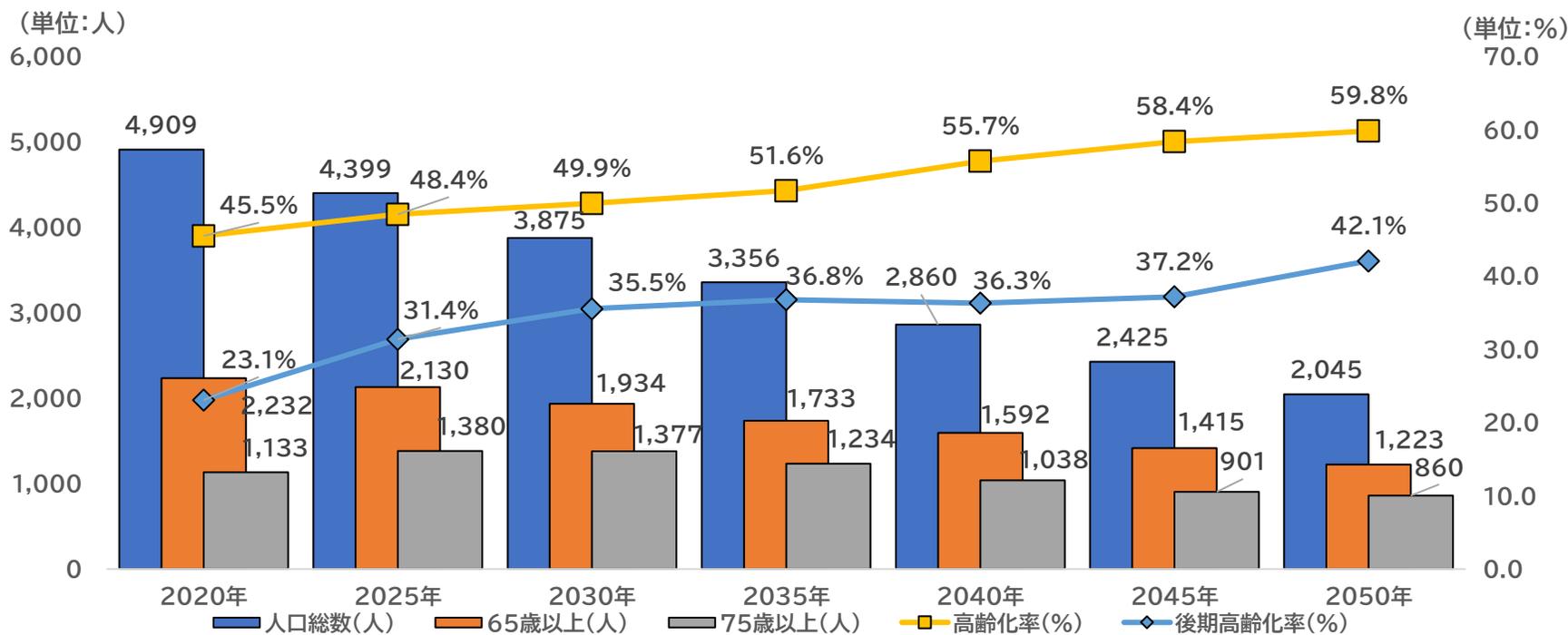
No.1-5

【人口】高齢化率・後期高齢化率(千早赤阪村)

出典:総務省「国勢調査」,国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口(令和5年推計)」を基に作成

推計結果の概要

総人口の減少と高齢者数の増加により、2020年から2050年にかけて高齢化率は14.3ポイント、後期高齢化率は19.0ポイント上昇する。



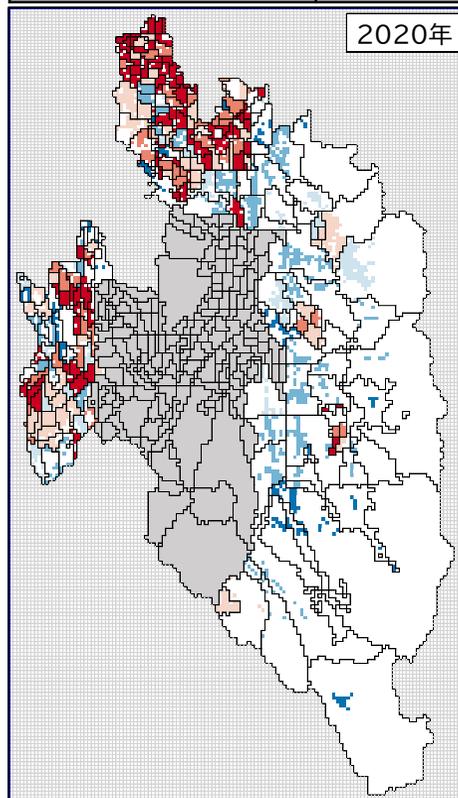
No.1-6

【人口】地域別人口密度(南河内地域2市2町1村)

出典:総務省「国勢調査」,国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口(令和5年推計)」を基に作成

推計結果の概要

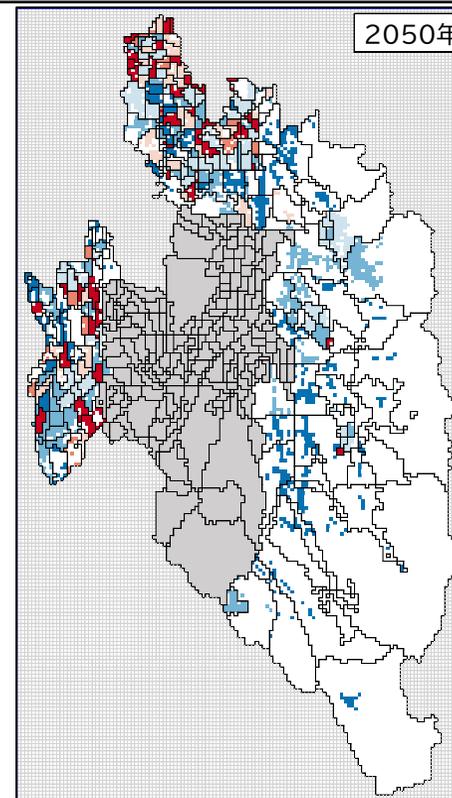
2020年から2050年にかけて、南河内地域2市2町1村の広範囲において人口密度が低下する。



地域別人口密度とは…

ワークシートの1セルを100m×100mの正方形のメッシュに見立て、メッシュ毎の人口予測値に応じてセルを塗りつぶして、地域別人口密度を表示している。

30年後



総人口	20未満	20以上40未満	40以上60未満	60以上80未満	80以上100未満	100以上
地図上の色分け						

※国土技術政策総合研究所「将来人口・世帯予測ツール V3(R2 国調対応版)」を使用

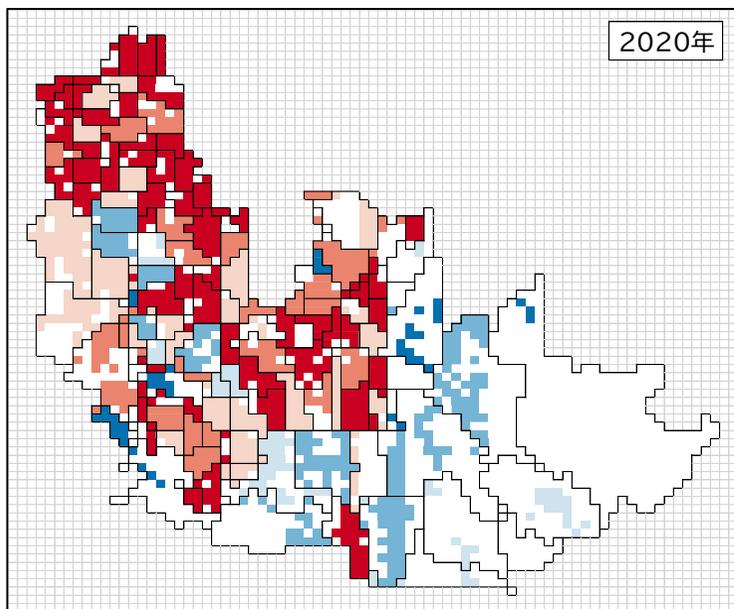
No.1-6

【人口】地域別人口密度(羽曳野市)

出典:総務省「国勢調査」,国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口(令和5年推計)」を基に作成

推計結果の概要

2020年から2050年にかけて、羽曳野市の広範囲において人口密度が低下する。

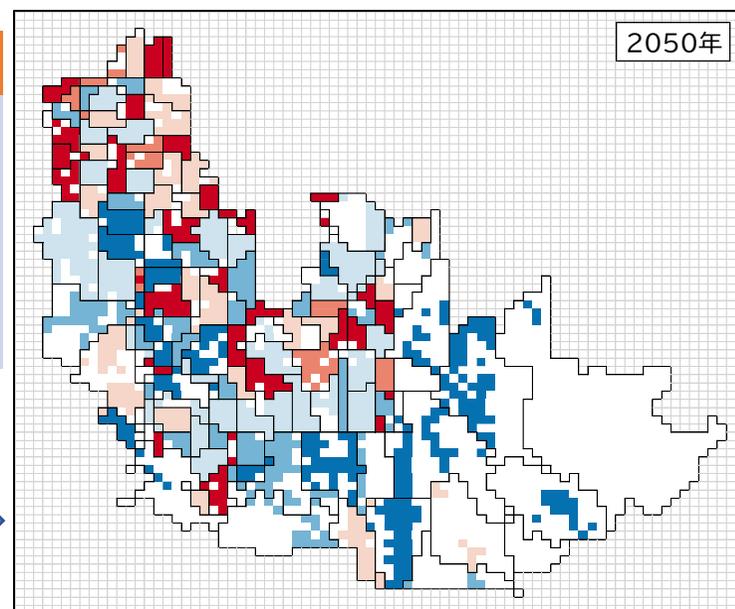


2020年

地域別人口密度とは…

ワークシートの1セルを100m×100mの正方形のメッシュに見立て、メッシュ毎の人口予測値に応じてセルを塗りつぶして、地域別人口密度を表示している。

30年後



2050年

総人口	20未満	20以上40未満	40以上60未満	60以上80未満	80以上100未満	100以上
地図上の色分け	Dark Blue	Light Blue	Very Light Blue	Orange	Red-Orange	Red

※国土技術政策総合研究所「将来人口・世帯予測ツール V3(R2 国調対応版)」を使用

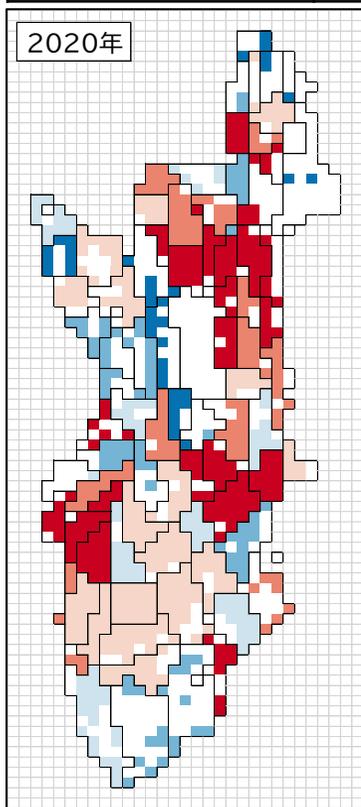
No.1-6

【人口】地域別人口密度(大阪狭山市)

出典:総務省「国勢調査」,国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口(令和5年推計)」を基に作成

推計結果の概要

2020年から2050年にかけて、大阪狭山市の広範囲において人口密度が低下する。

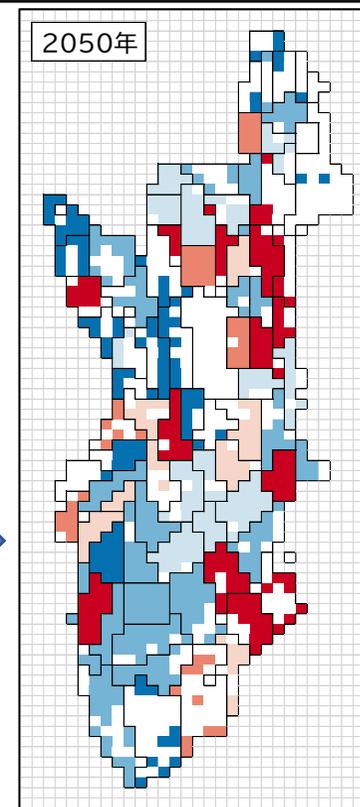


2020年

地域別人口密度とは…

ワークシートの1セルを100m×100mの正方形のメッシュに見立て、メッシュ毎の人口予測値に応じてセルを塗りつぶして、地域別人口密度を表示している。

30年後



2050年

総人口	20未満	20以上40未満	40以上60未満	60以上80未満	80以上100未満	100以上
地図上の色分け	Blue	Light Blue	Light Blue	Orange	Red	Dark Red

※国土技術政策総合研究所「将来人口・世帯予測ツール V3(R2 国調対応版)」を使用

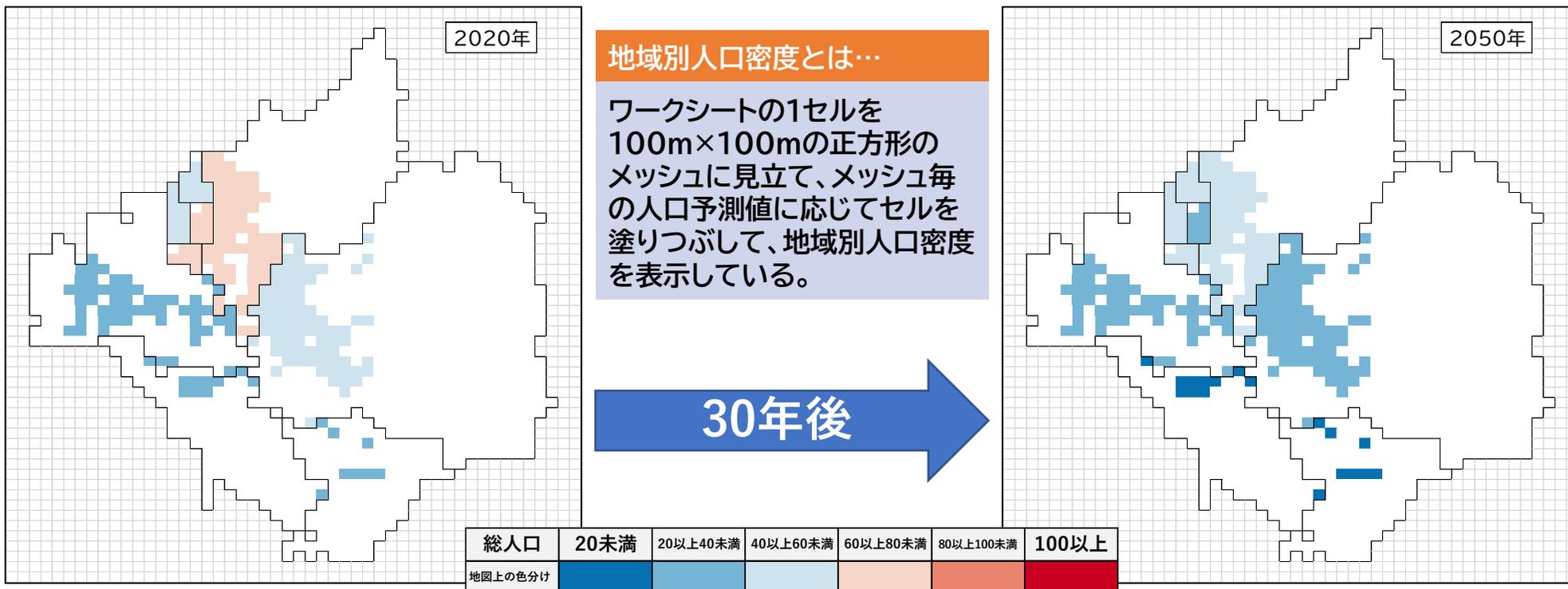
No.1-6

【人口】地域別人口密度(太子町)

出典:総務省「国勢調査」,国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口(令和5年推計)」を基に作成

推計結果の概要

2020年から2050年にかけて、太子町の広範囲において人口密度が低下する。



※国土技術政策総合研究所「将来人口・世帯予測ツール V3(R2 国調対応版)」を使用

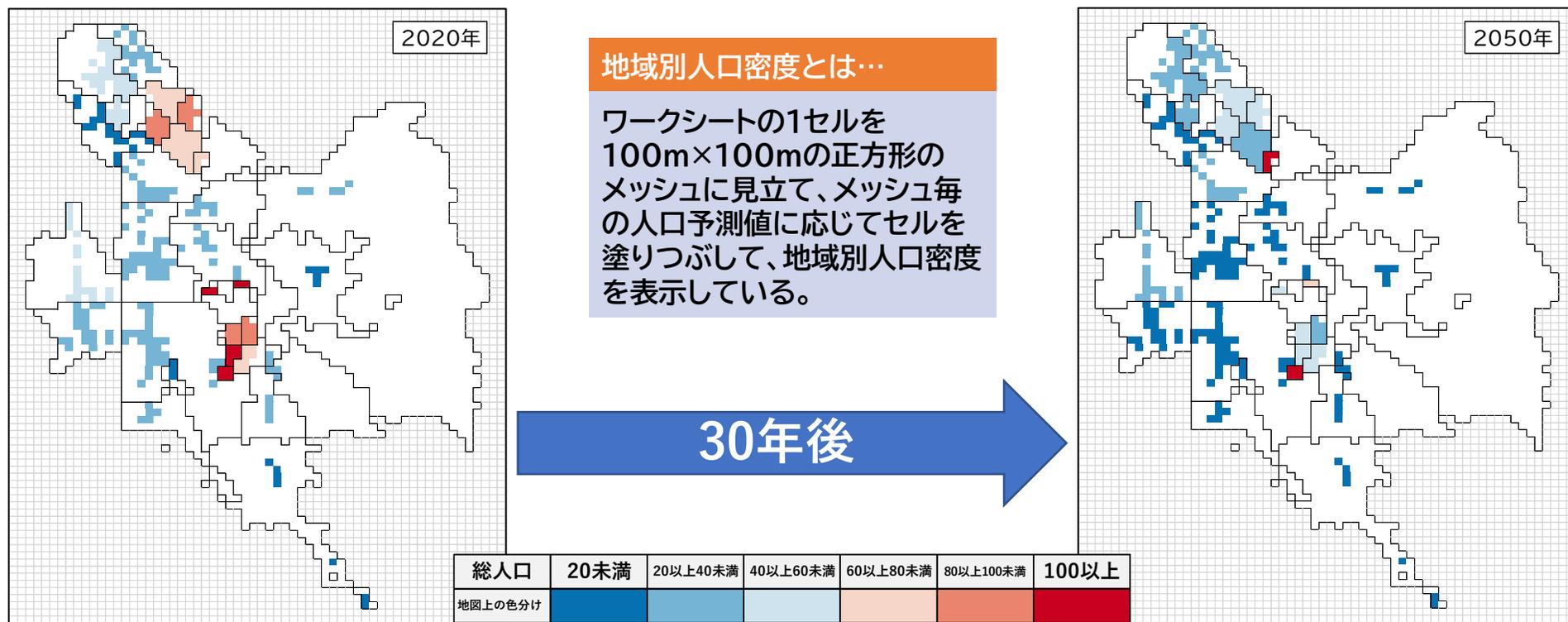
No.1-6

【人口】地域別人口密度(河南町)

出典:総務省「国勢調査」,国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口(令和5年推計)」を基に作成

推計結果の概要

2020年から2050年にかけて、河南町の広範囲において人口密度が低下する。



※国土技術政策総合研究所「将来人口・世帯予測ツール V3(R2 国調対応版)」を使用

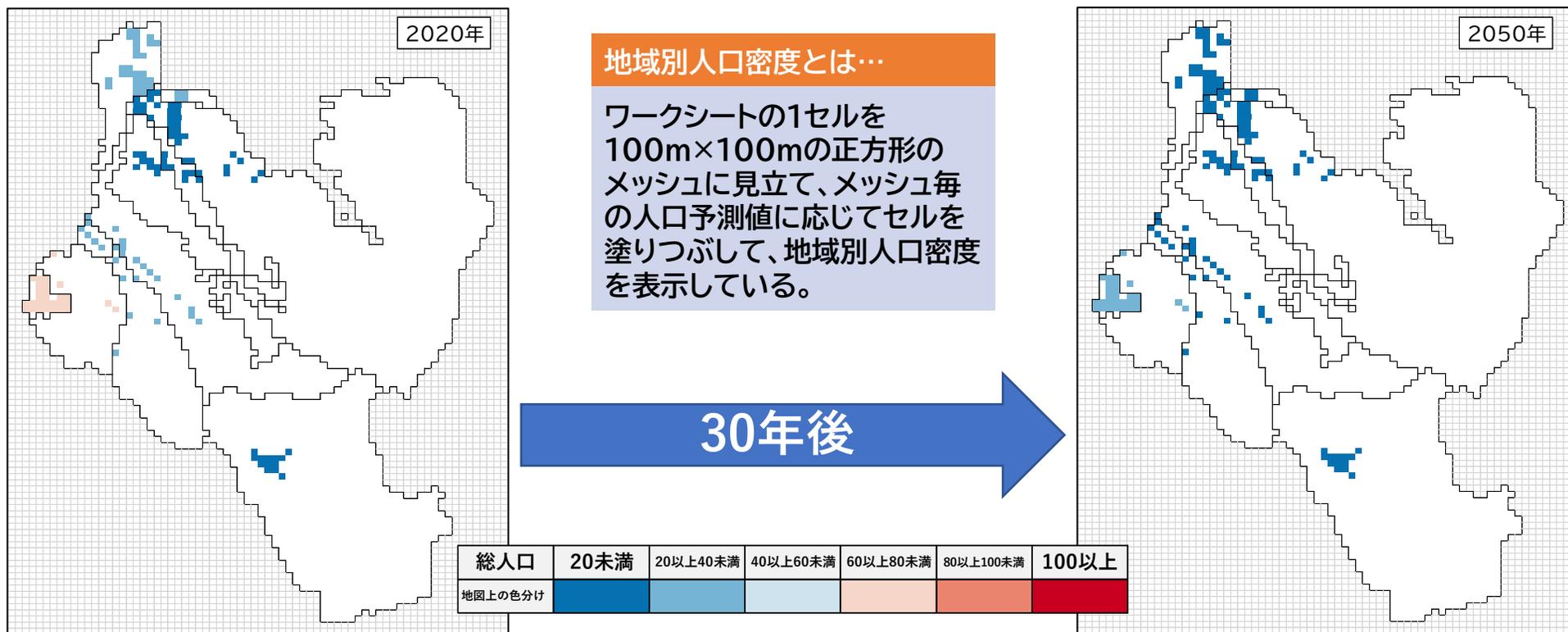
No.1-6

【人口】地域別人口密度(千早赤阪村)

出典:総務省「国勢調査」,国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口(令和5年推計)」を基に作成

推計結果の概要

2020年から2050年にかけて、千早赤阪村の広範囲において人口密度が低下する。



※国土技術政策総合研究所「将来人口・世帯予測ツール V3(R2 国調対応版)」を使用

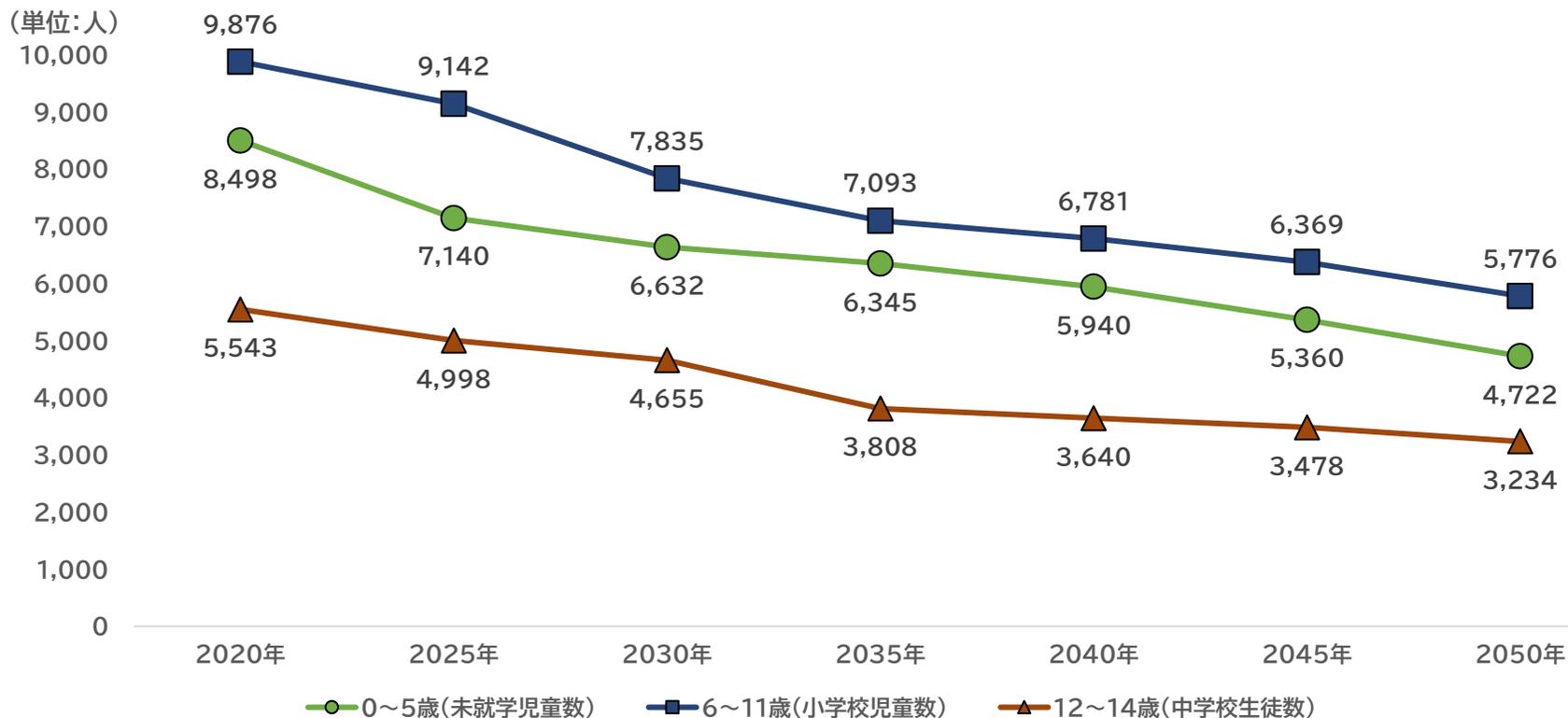
No.1-7

【人口】未就学児・小中学校児童生徒数(南河内地域2市2町1町)

出典:総務省「国勢調査」,国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口(令和5年推計)」を基に作成

推計結果の概要

未就学児数は3,776人の減少(▲44.4%)、小学校児童数は4,100人の減少(▲41.5%)、中学校生徒数は2,309人の減少(▲41.7%)が見込まれる。



No.1-7

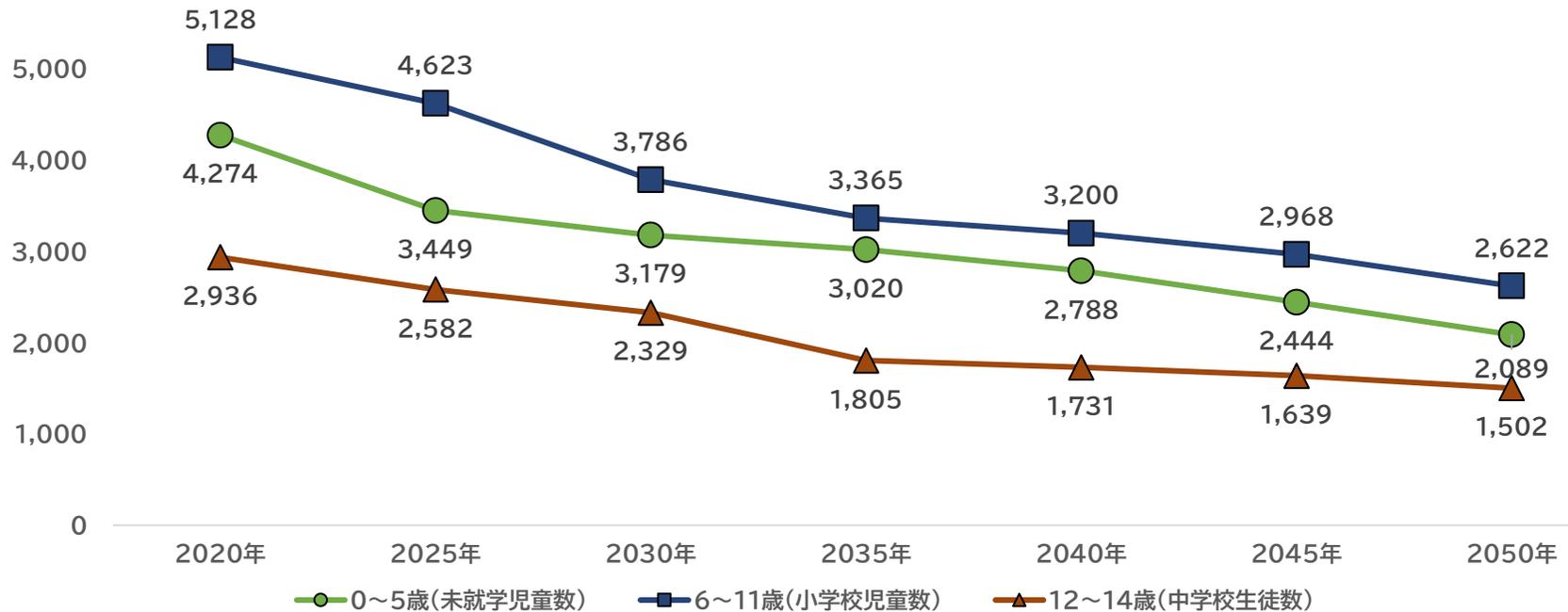
【人口】未就学児・小中学校児童生徒数(羽曳野市)

出典:総務省「国勢調査」,国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口(令和5年推計)」を基に作成

推計結果の概要

未就学児数は2,185人の減少(▲51.1%)、小学校児童数は2,506人の減少(▲48.9%)、中学校生徒数は1,434人の減少(▲48.8%)が見込まれる。

(単位:人)
6,000



No.1-7

【人口】未就学児・小中学校児童生徒数(大阪狭山市)

出典:総務省「国勢調査」,国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口(令和5年推計)」を基に作成

推計結果の概要

未就学児数は931人の減少(▲30.7%)、小学校児童数は796人の減少(▲24.9%)、中学校生徒数は393人の減少(▲23.3%)が見込まれる。

(単位:人)
6,000

5,000

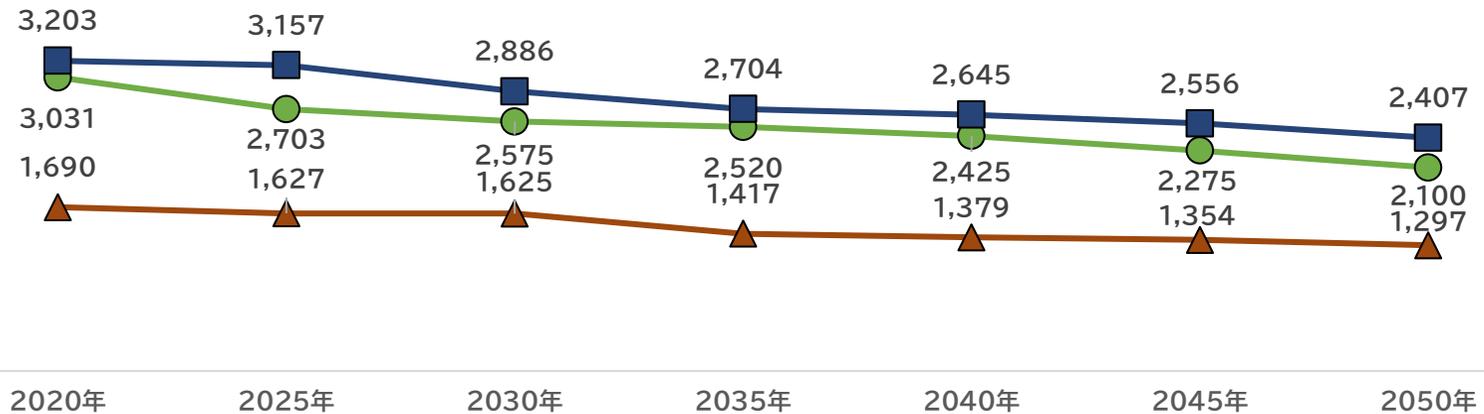
4,000

3,000

2,000

1,000

0



● 0~5歳(未就学児童数)

■ 6~11歳(小学校児童数)

▲ 12~14歳(中学校生徒数)

No.1-7

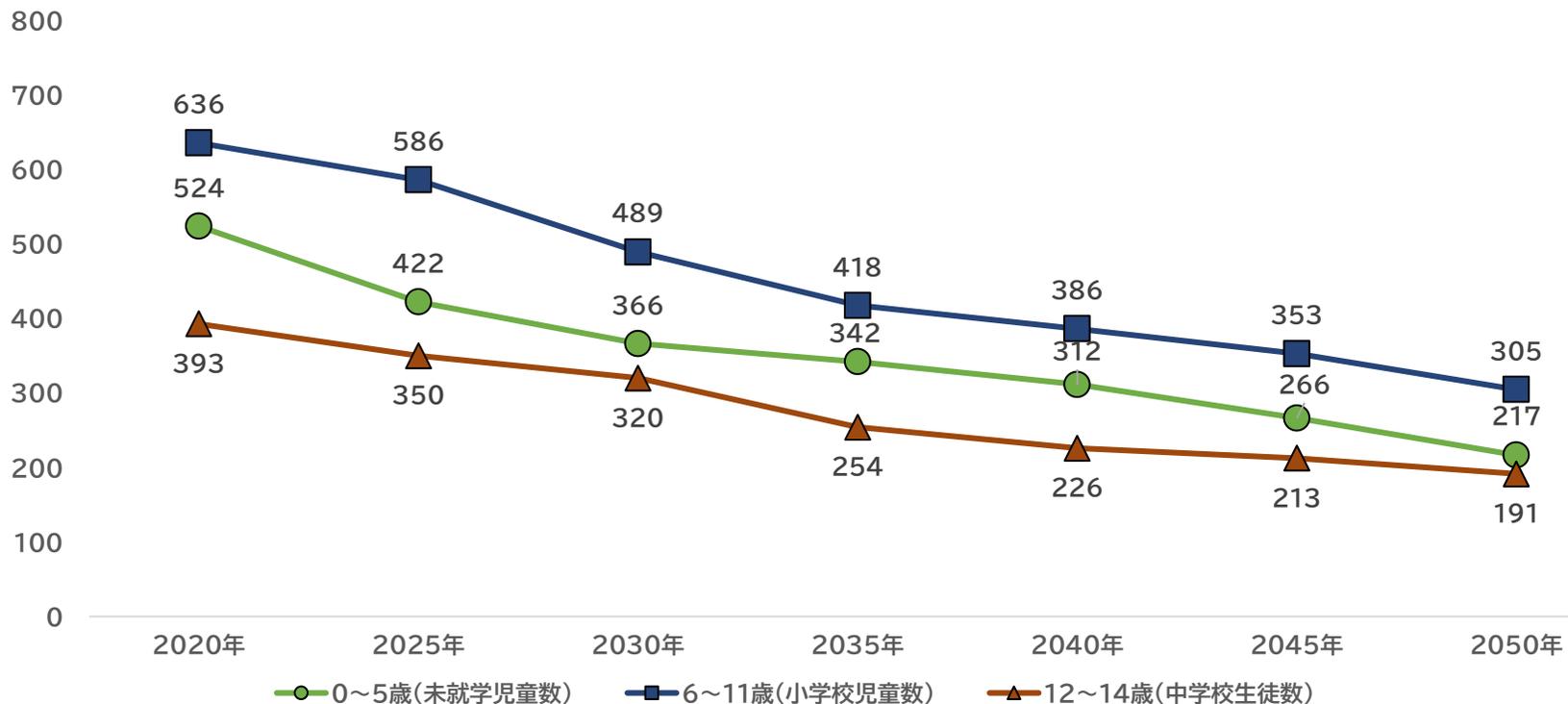
【人口】未就学児・小中学校児童生徒数(太子町)

出典:総務省「国勢調査」,国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口(令和5年推計)」を基に作成

推計結果の概要

未就学児数は307人の減少(▲58.6%)、小学校児童数は331人の減少(▲52.0%)、中学校生徒数は202人の減少(▲51.4%)が見込まれる。

(単位:人)



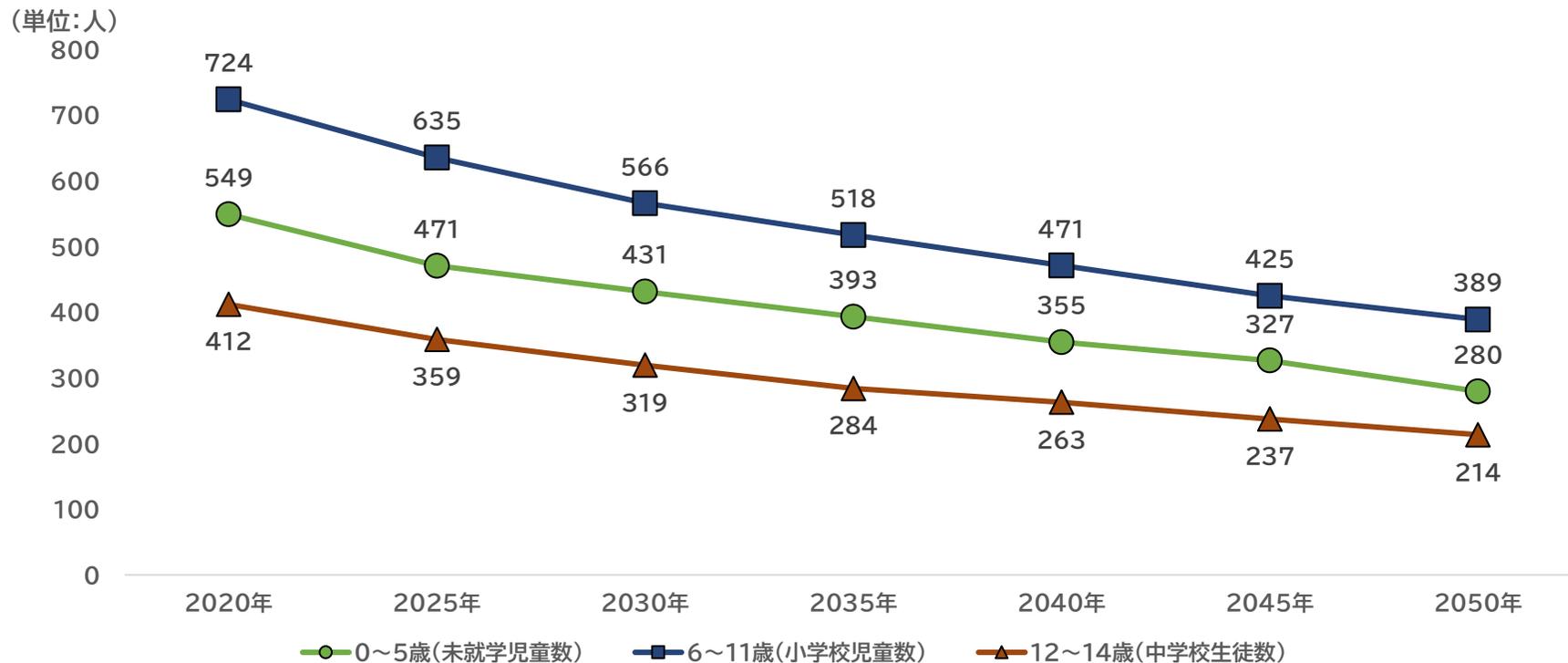
No.1-7

【人口】未就学児・小中学校児童生徒数(河南町)

出典:総務省「国勢調査」,国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口(令和5年推計)」を基に作成

推計結果の概要

未就学児数は269人の減少(▲49.0%)、小学校児童数は335人の減少(▲46.3%)、中学校生徒数は198人の減少(▲48.1%)が見込まれる。



No.1-7

【人口】未就学児・小中学校児童生徒数(千早赤阪村)

出典:総務省「国勢調査」,国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口(令和5年推計)」を基に作成

推計結果の概要

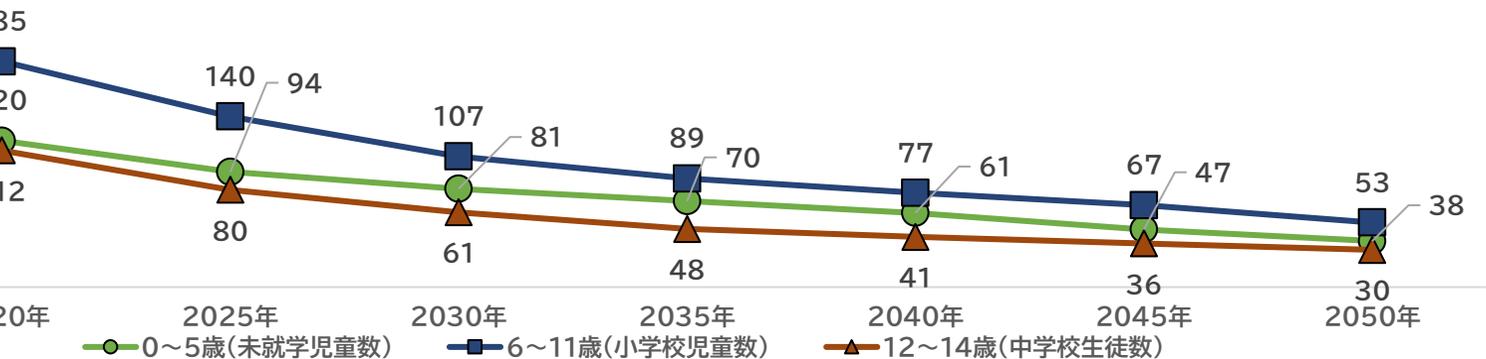
未就学児数は82人の減少(▲68.3%)、小学校児童数は132人の減少(▲71.4%)、中学校生徒数は82人の減少(▲73.2%)が見込まれる。

(単位:人)

500

400

300



No.2-1

【施設・インフラ】公共施設の基本情報(体育館)

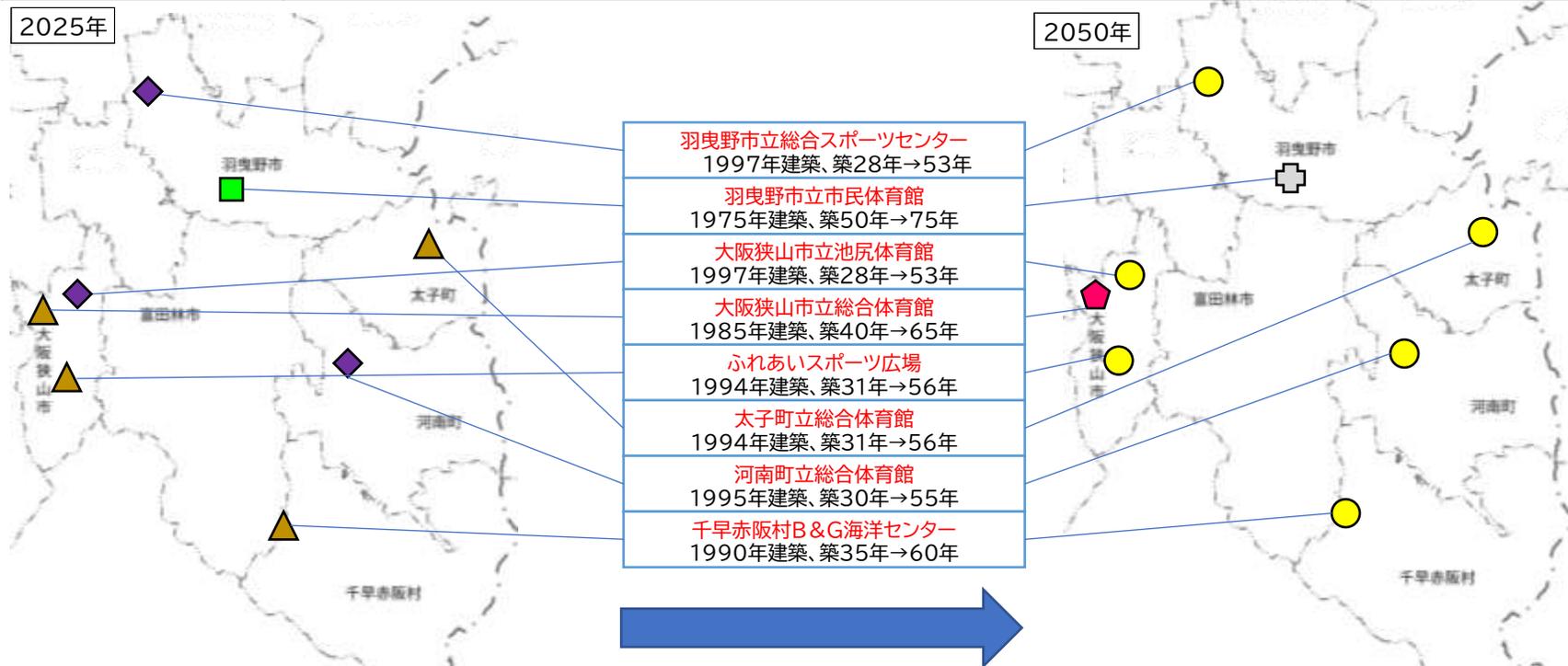
出典:各市町村の公共施設等総合管理計画

推計結果の概要

2050年には、築70年以上に達する施設もあり、老朽化が深刻な課題となる。

2025年

2050年



- 羽曳野市立総合スポーツセンター
1997年建築、築28年→53年
- 羽曳野市立市民体育館
1975年建築、築50年→75年
- 大阪狭山市立池尻体育館
1997年建築、築28年→53年
- 大阪狭山市立総合体育館
1985年建築、築40年→65年
- ふれあいスポーツ広場
1994年建築、築31年→56年
- 太子町立総合体育館
1994年建築、築31年→56年
- 河南町立総合体育館
1995年建築、築30年→55年
- 千早赤阪村B&G海洋センター
1990年建築、築35年→60年

築年数	0~10年	11~20年	21~30年	31~40年	41~50年	51~60年	61~70年	71~80年
地図上の色分け	✕	★	◆	▲	■	●	●	+

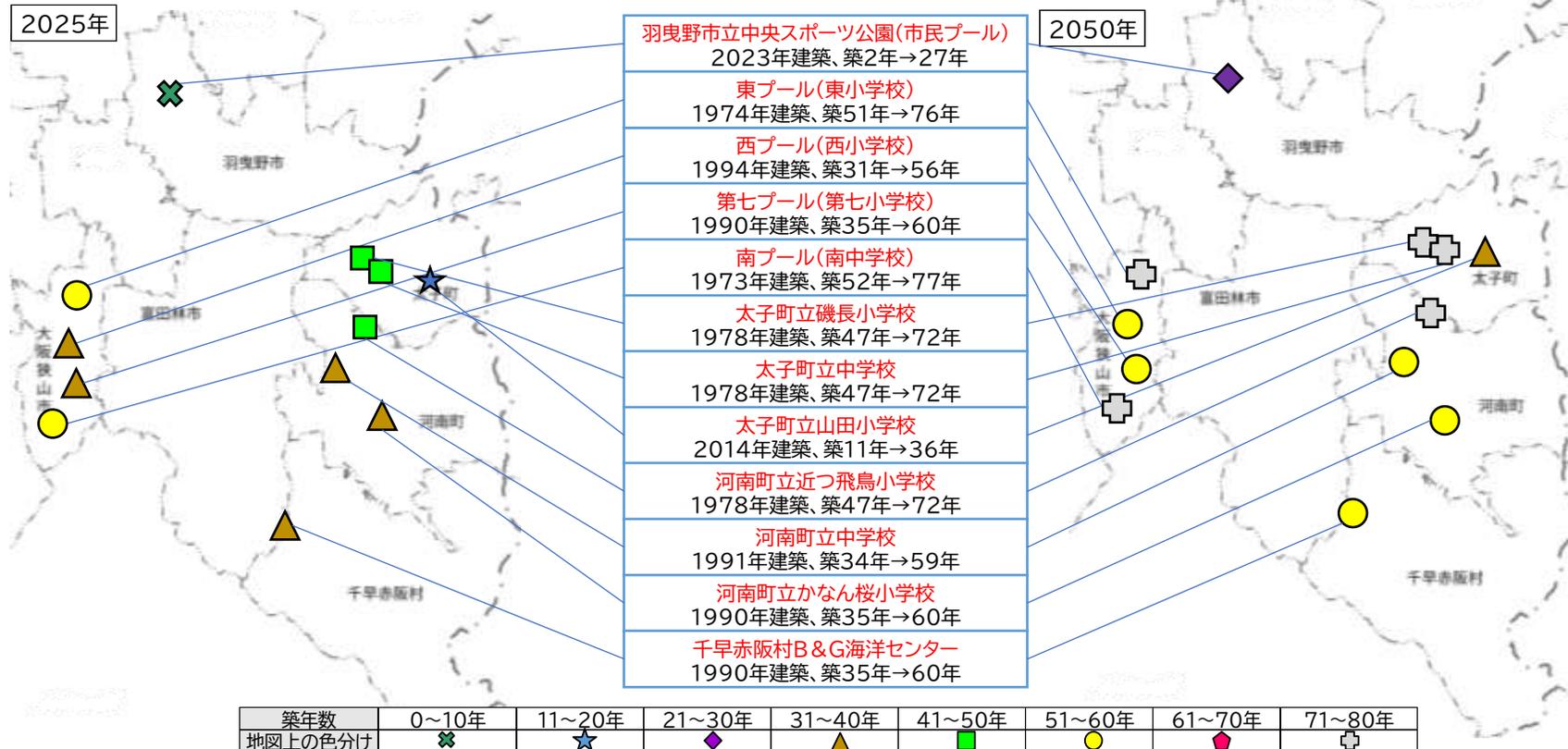
No.2-2

【施設・インフラ】公共施設の基本情報(プール)

出典:各市町村の公共施設等総合管理計画

推計結果の概要

2050年には、築70年以上に達する施設もあり、老朽化が深刻な課題となる。



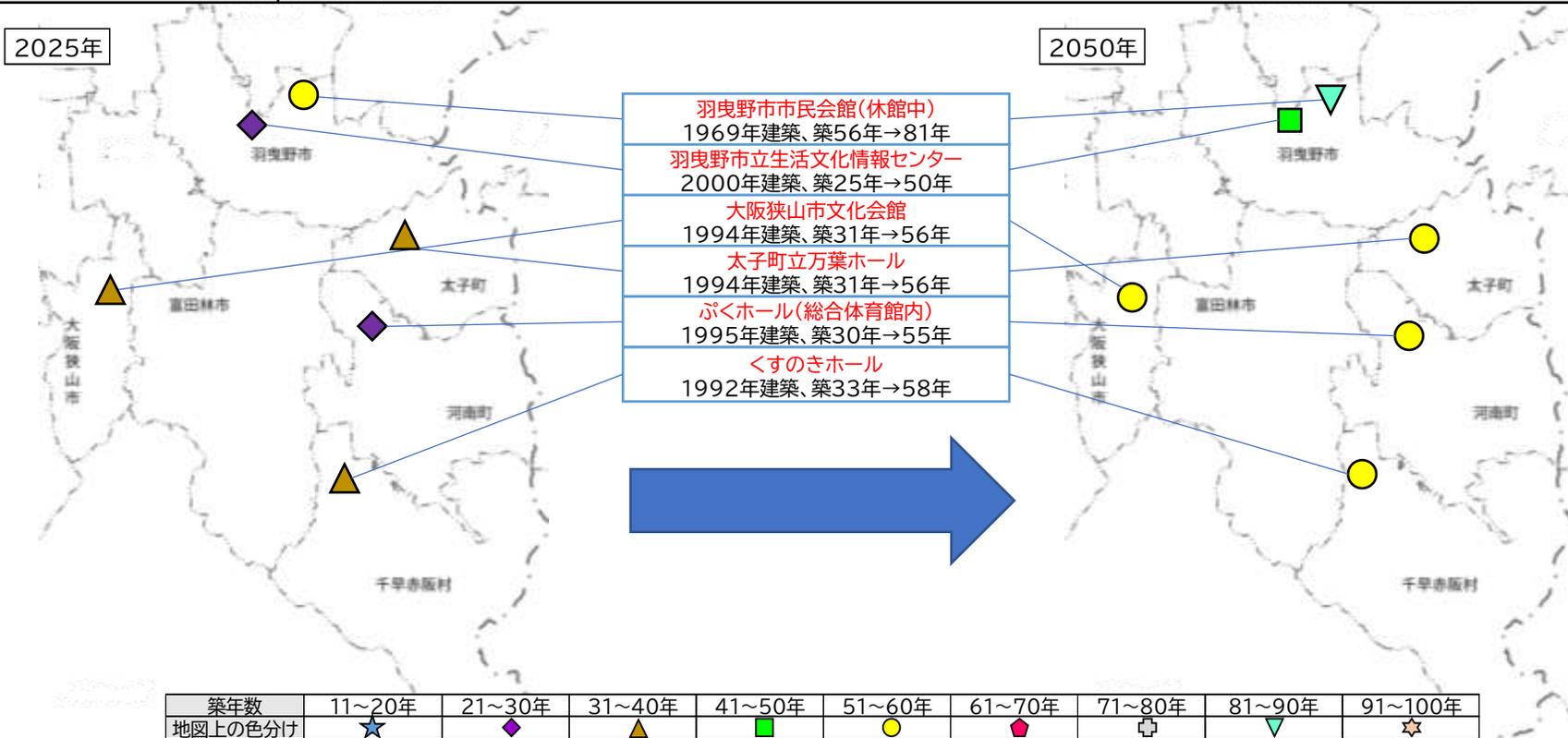
No.2-3

【施設・インフラ】公共施設の基本情報(文化ホール)

出典:各市町村の公共施設等総合管理計画

推計結果の概要

2050年には、全ての施設が築50年以上となり、老朽化が深刻な課題となる。



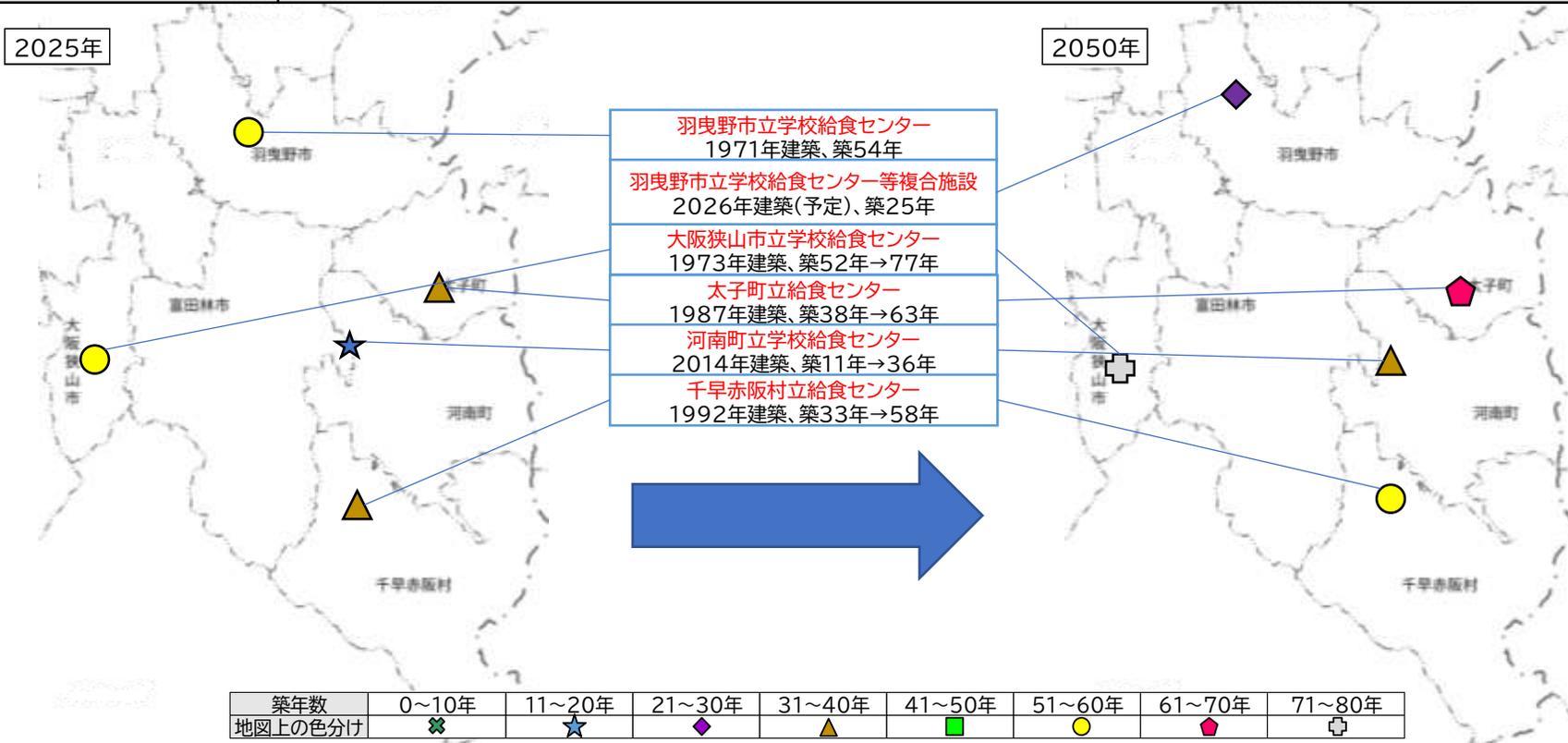
No.2-4

【施設・インフラ】公共施設の基本情報(給食センター)

出典:各市町村の公共施設等総合管理計画

推計結果の概要

2050年には、築70年以上に達する施設もあり、老朽化が深刻な課題となる。

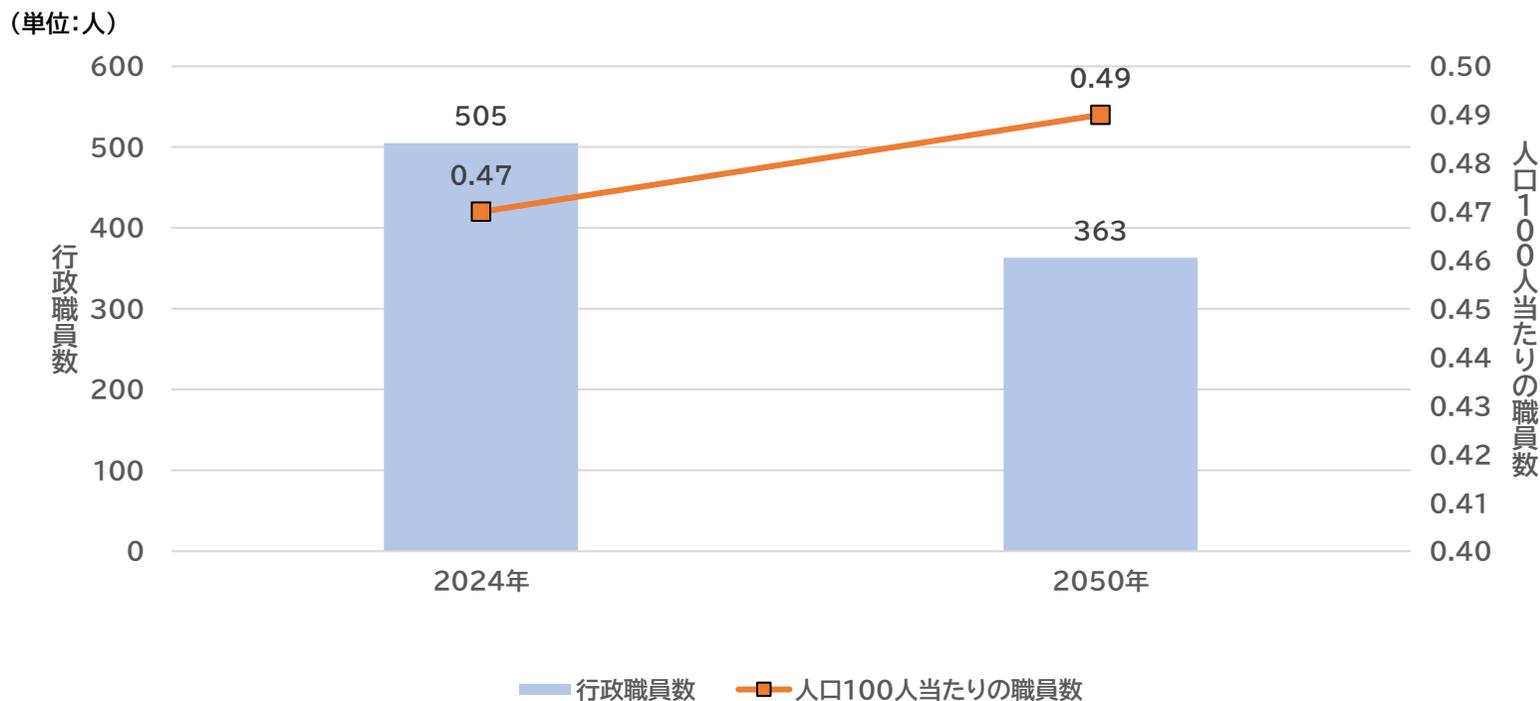


No.3-1

【行政】行政職員数比較（羽曳野市） パターン①

出典：総務省「住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数」、国立社会保障・人口問題研究所
「日本の地域別将来推計人口(令和5年推計)」,総務省「令和6年度地方公共団体定員管理調査」を基に作成

2024年と2050年の行政職員数を比較する(一般行政部門)。なお、2050年の職員数については、2024年時点で、2050年の人口推計及び人口密度に近い人口数と人口密度を有する他団体の職員人口割合の平均値を使用し算出する。



※職員数については、総務省「令和6年度地方公共団体定員管理調査」の「調査対象職員」を対象とする。

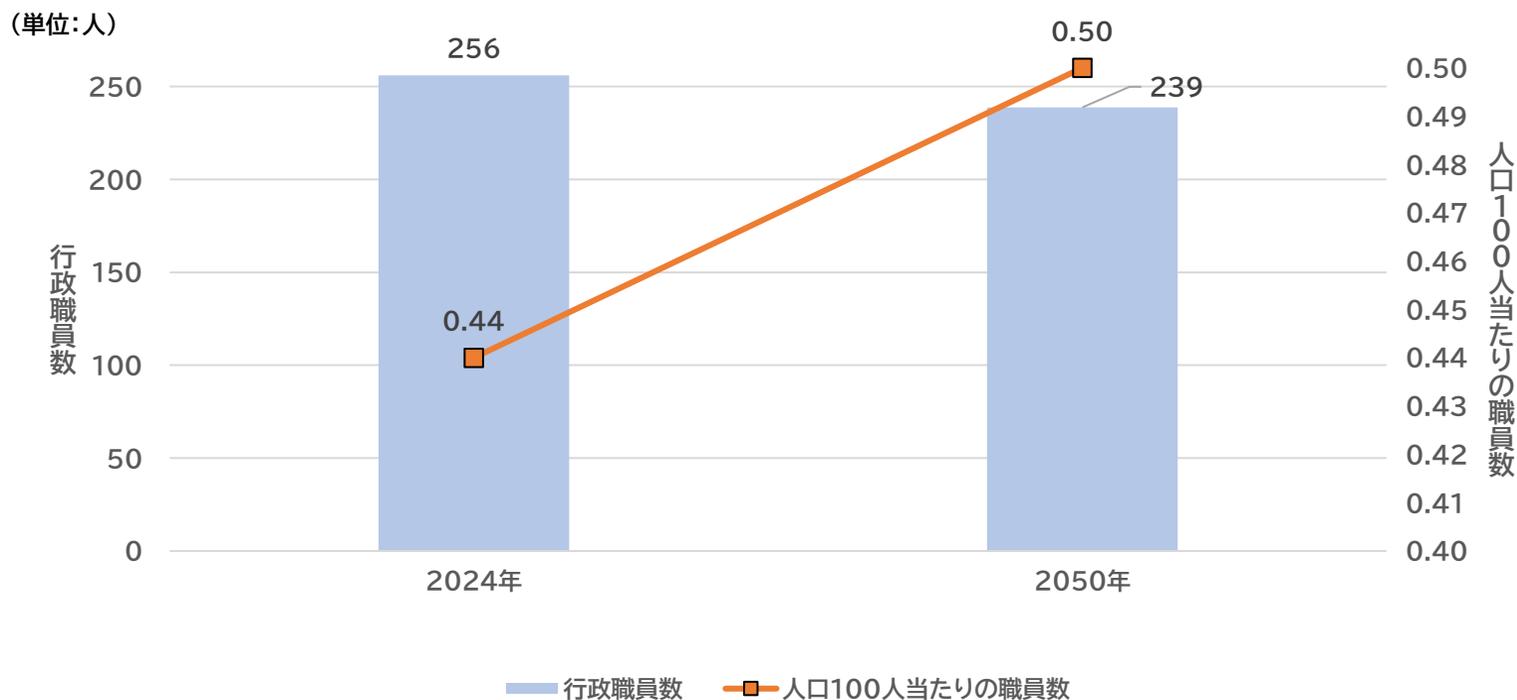
No.3-1

【行政】行政職員数比較（大阪狭山市） パターン①

出典：総務省「住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数」、国立社会保障・人口問題研究所

「日本の地域別将来推計人口(令和5年推計)」,総務省「令和6年度地方公共団体定員管理調査」を基に作成

2024年と2050年の行政職員数を比較する(一般行政部門)。なお、2050年の職員数については、2024年時点で、2050年の人口推計及び人口密度に近い人口数と人口密度を有する他団体の職員人口割合の平均値を使用し算出する。



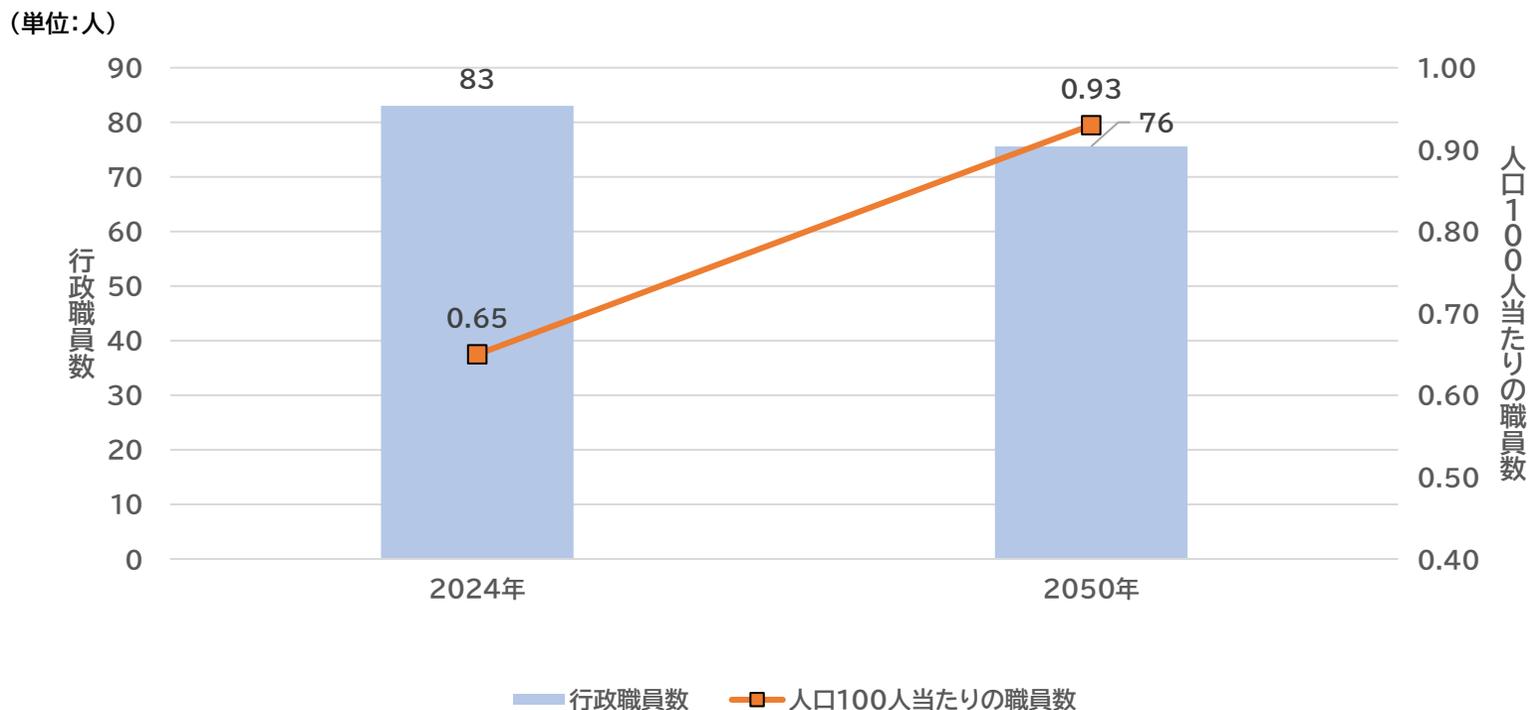
※職員数については、総務省「令和6年度地方公共団体定員管理調査」の「調査対象職員」を対象とする。

No.3-1

【行政】行政職員数比較（太子町） パターン①

出典：総務省「住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数」、国立社会保障・人口問題研究所
「日本の地域別将来推計人口(令和5年推計)」,総務省「令和6年度地方公共団体定員管理調査」を基に作成

2024年と2050年の行政職員数を比較する(一般行政部門)。なお、2050年の職員数については、2024年時点で、2050年の人口推計及び人口密度に近い人口数と人口密度を有する他団体の職員人口割合の平均値を使用し算出する。



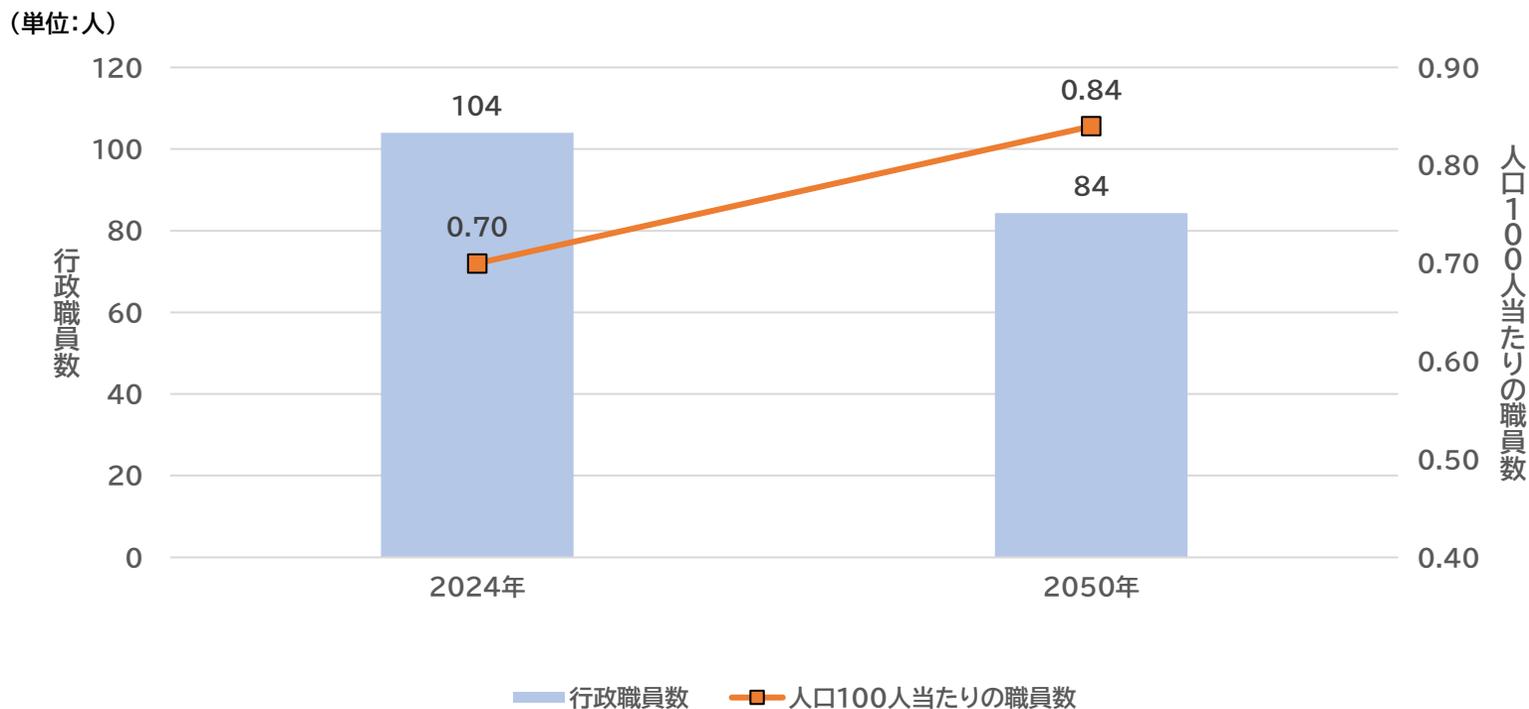
※職員数については、総務省「令和6年度地方公共団体定員管理調査」の「調査対象職員」を対象とする。

No.3-1

【行政】行政職員数比較（河南町） パターン①

出典：総務省「住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数」、国立社会保障・人口問題研究所
「日本の地域別将来推計人口(令和5年推計)」,総務省「令和6年度地方公共団体定員管理調査」を基に作成

2024年と2050年の行政職員数を比較する(一般行政部門)。なお、2050年の職員数については、2024年時点で、2050年の人口推計及び人口密度に近い人口数と人口密度を有する他団体の職員人口割合の平均値を使用し算出する。



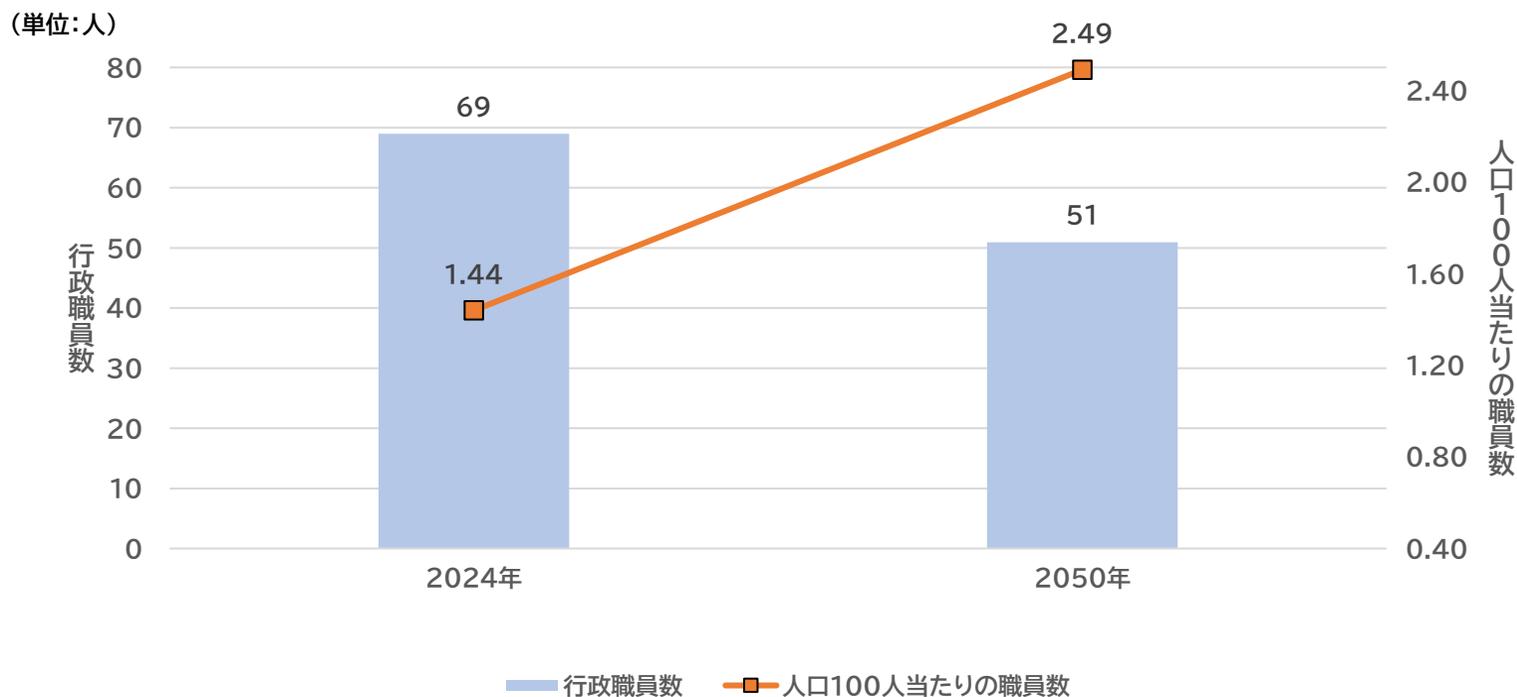
※職員数については、総務省「令和6年度地方公共団体定員管理調査」の「調査対象職員」を対象とする。

No.3-1

【行政】行政職員数比較（千早赤阪村）パターン①

出典：総務省「住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数」、国立社会保障・人口問題研究所
「日本の地域別将来推計人口(令和5年推計)」,総務省「令和6年度地方公共団体定員管理調査」を基に作成

2024年と2050年の行政職員数を比較する(一般行政部門)。なお、2050年の職員数については、2024年時点で、2050年の人口推計及び人口密度に近い人口数と人口密度を有する他団体の職員人口割合の平均値を使用し算出する。



※職員数については、総務省「令和6年度地方公共団体定員管理調査」の「調査対象職員」を対象とする。

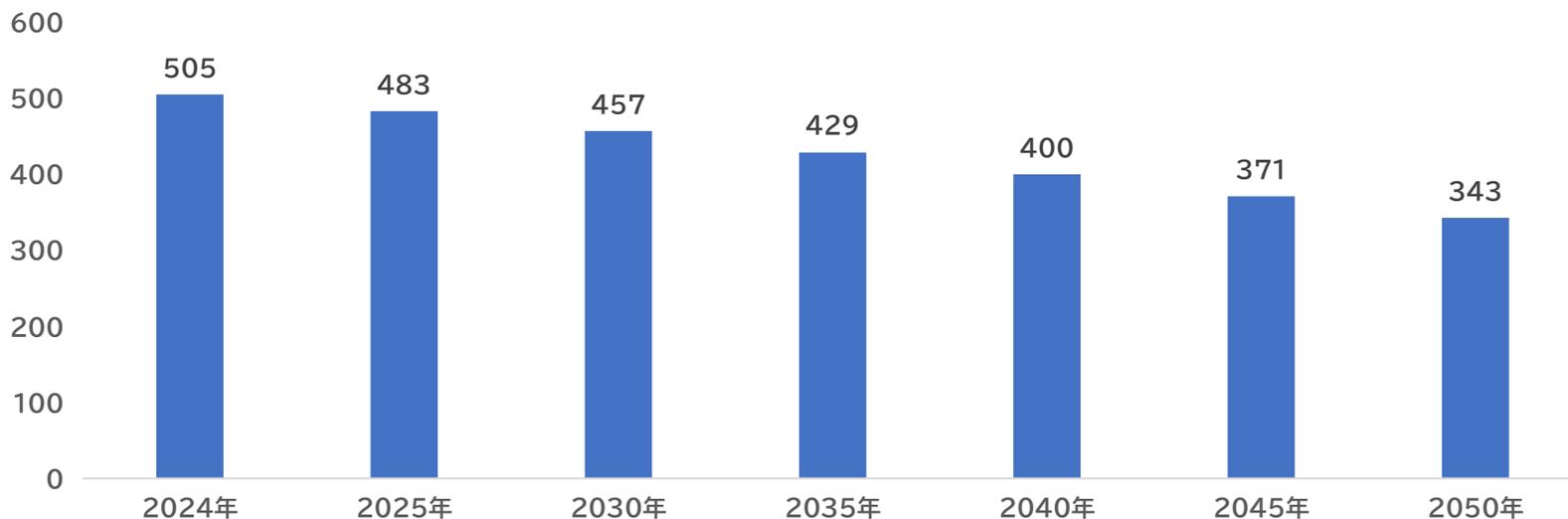
No.3-1

【行政】将来推計職員数（羽曳野市）パターン②

出典：総務省「住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数」、国立社会保障・人口問題研究所
「日本の地域別将来推計人口(令和5年推計)」,総務省「令和6年度地方公共団体定員管理調査」を基に作成

2024年から2050年の将来推計職員数を記載する(一般行政部門)。なお、2025年以降の職員数については、2024年時点の人口に対する職員数の割合を、各年の人口推計に掛け合わせて算出する。

(単位:人)



※職員数については、総務省「令和6年度地方公共団体定員管理調査」の「調査対象職員」を対象とする。

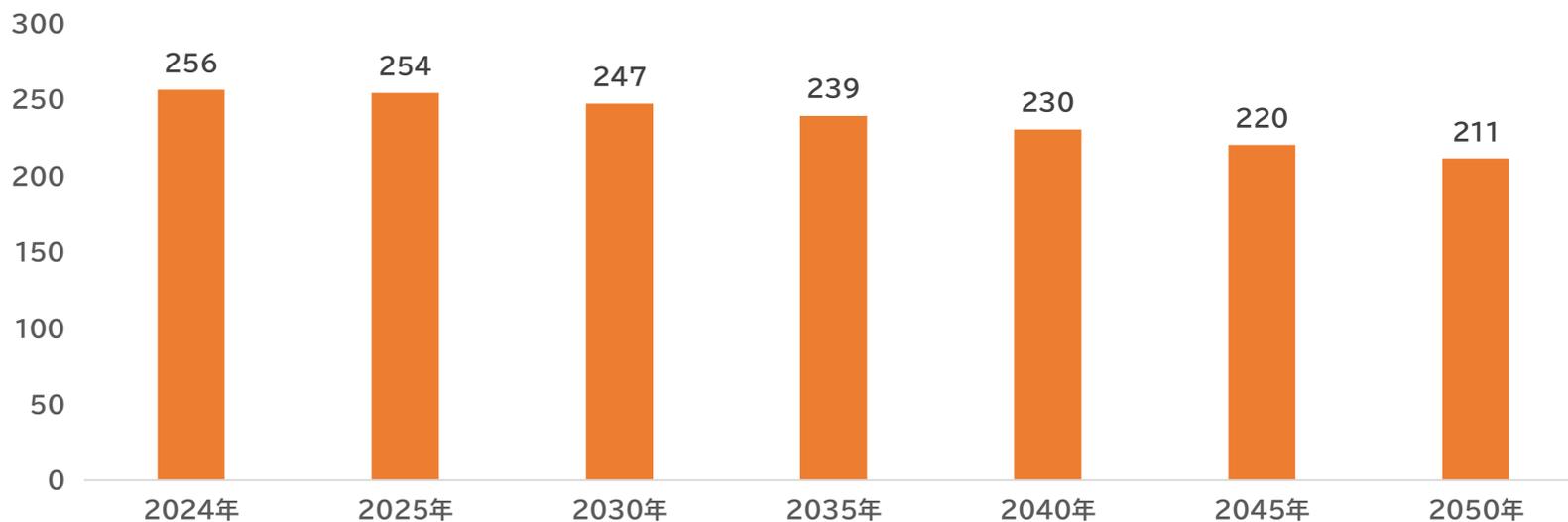
No.3-1

【行政】将来推計職員数（大阪狭山市）パターン②

出典：総務省「住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数」、国立社会保障・人口問題研究所
「日本の地域別将来推計人口(令和5年推計)」,総務省「令和6年度地方公共団体定員管理調査」を基に作成

2024年から2050年の将来推計職員数を記載する(一般行政部門)。なお、2025年以降の職員数については、2024年時点の人口に対する職員数の割合を、各年の人口推計に掛け合わせて算出する。

(単位:人)



※職員数については、総務省「令和6年度地方公共団体定員管理調査」の「調査対象職員」を対象とする。

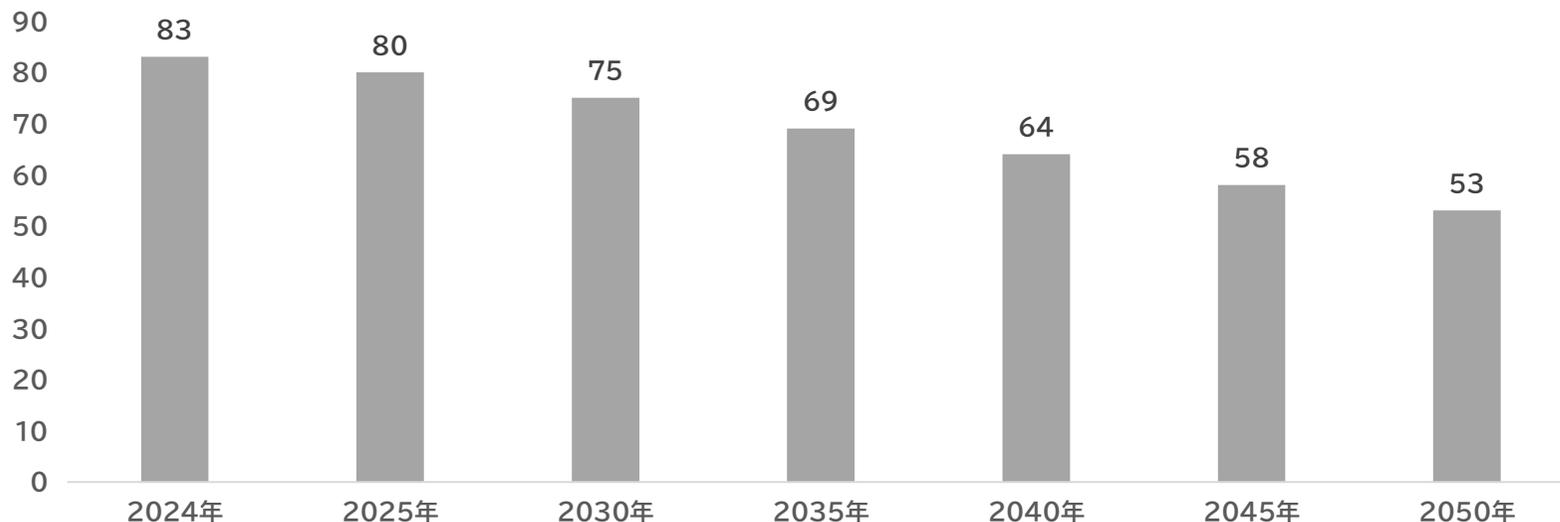
No.3-1

【行政】将来推計職員数（太子町） パターン②

出典：総務省「住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数」、国立社会保障・人口問題研究所
「日本の地域別将来推計人口(令和5年推計)」,総務省「令和6年度地方公共団体定員管理調査」を基に作成

2024年から2050年の将来推計職員数を記載する(一般行政部門)。なお、2025年以降の職員数については、2024年時点の人口に対する職員数の割合を、各年の人口推計に掛け合わせて算出する。

(単位:人)



※職員数については、総務省「令和6年度地方公共団体定員管理調査」の「調査対象職員」を対象とする。

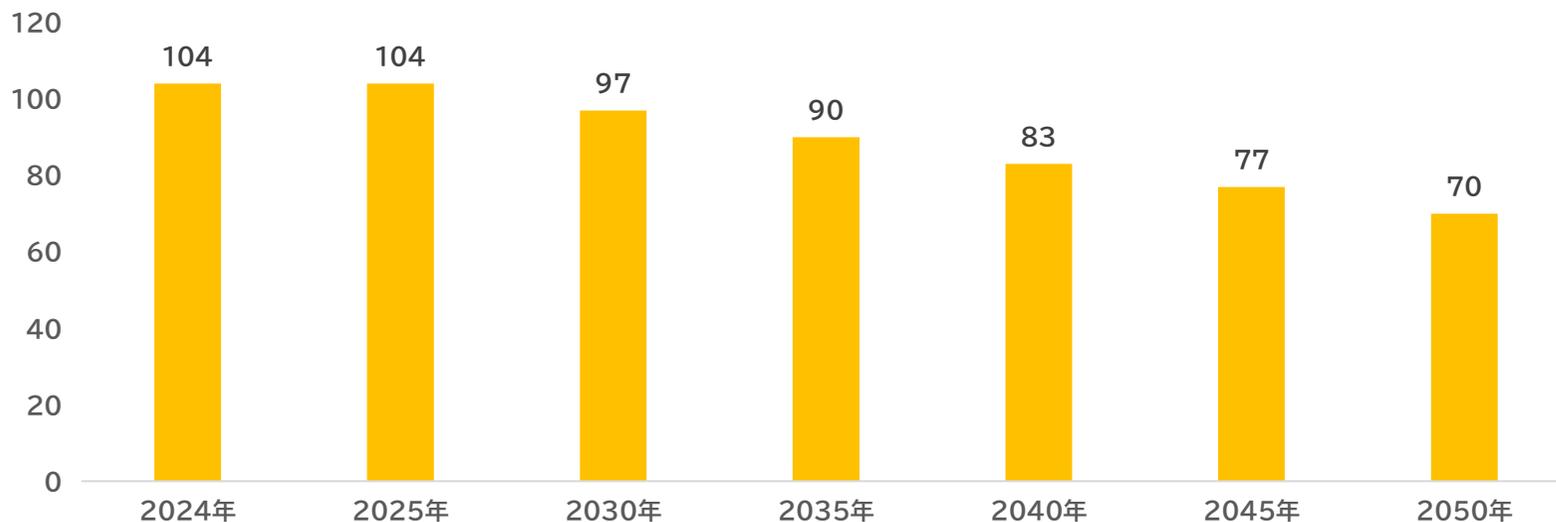
No.3-1

【行政】将来推計職員数（河南町）パターン②

出典：総務省「住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数」、国立社会保障・人口問題研究所
「日本の地域別将来推計人口(令和5年推計)」,総務省「令和6年度地方公共団体定員管理調査」を基に作成

2024年から2050年の将来推計職員数を記載する(一般行政部門)。なお、2025年以降の職員数については、2024年時点の人口に対する職員数の割合を、各年の人口推計に掛け合わせて算出する。

(単位:人)



※職員数については、総務省「令和6年度地方公共団体定員管理調査」の「調査対象職員」を対象とする。

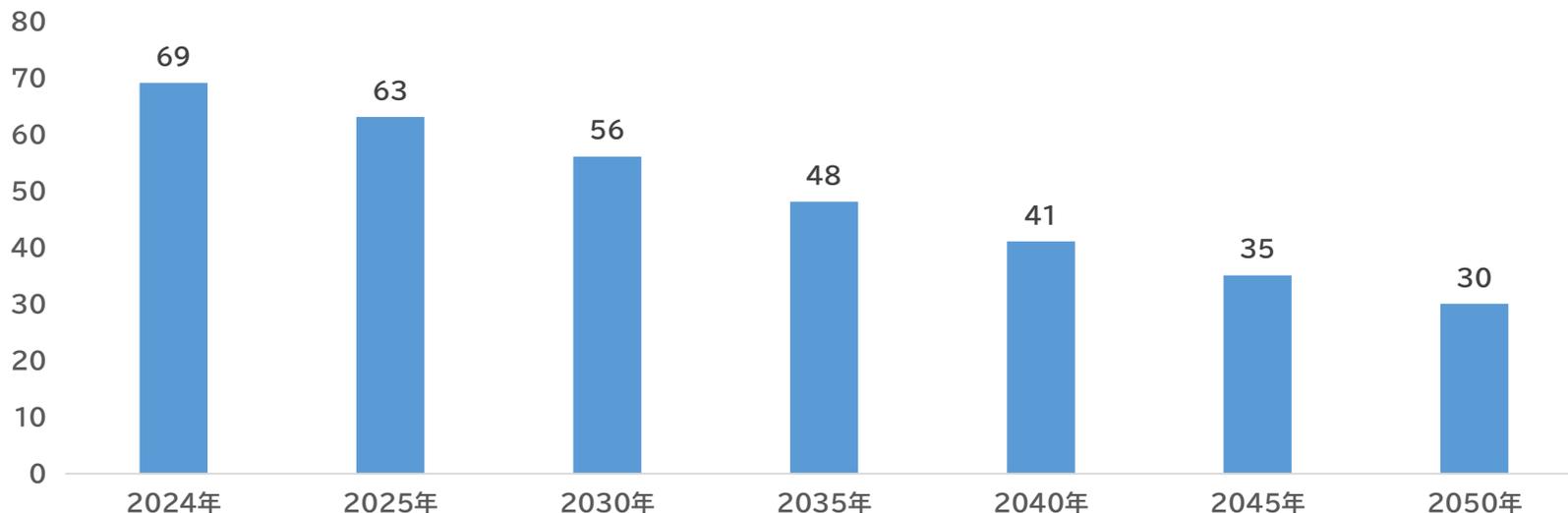
No.3-1

【行政】将来推計職員数（千早赤阪村）パターン②

出典：総務省「住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数」、国立社会保障・人口問題研究所
「日本の地域別将来推計人口(令和5年推計)」,総務省「令和6年度地方公共団体定員管理調査」を基に作成

2024年から2050年の将来推計職員数を記載する(一般行政部門)。なお、2025年以降の職員数については、2024年時点の人口に対する職員数の割合を、各年の人口推計に掛け合わせて算出する。

(単位:人)



※職員数については、総務省「令和6年度地方公共団体定員管理調査」の「調査対象職員」を対象とする。

No.4-1

【医療・福祉】医療・介護需要

出典：総務省「国勢調査」，国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口（令和5年推計）」を基に作成
指数計算式：日本医師会「地域医療情報システム」記載の式を利用

本項目では医療介護需要の予測について掲載しています。

医療介護需要の指数は2020年の国勢調査に基づく需要量=100として指数化しているもので、日本医師会が提示している計算式と各年齢層の人口数を用いて算出しています。

算出方法は以下のとおりです。

- ・各年の医療需要量 = ~ 14 歳 $\times 0.6 + 15 \sim 39$ 歳 $\times 0.4 + 40 \sim 64$ 歳 $\times 1.0 + 65 \sim 74$ 歳 $\times 2.3 + 75$ 歳 $\sim \times 3.9$
- ・各年の介護需要量 = $40 \sim 64$ 歳 $\times 1.0 + 65 \sim 74$ 歳 $\times 9.7 + 75$ 歳 $\sim \times 87.3$

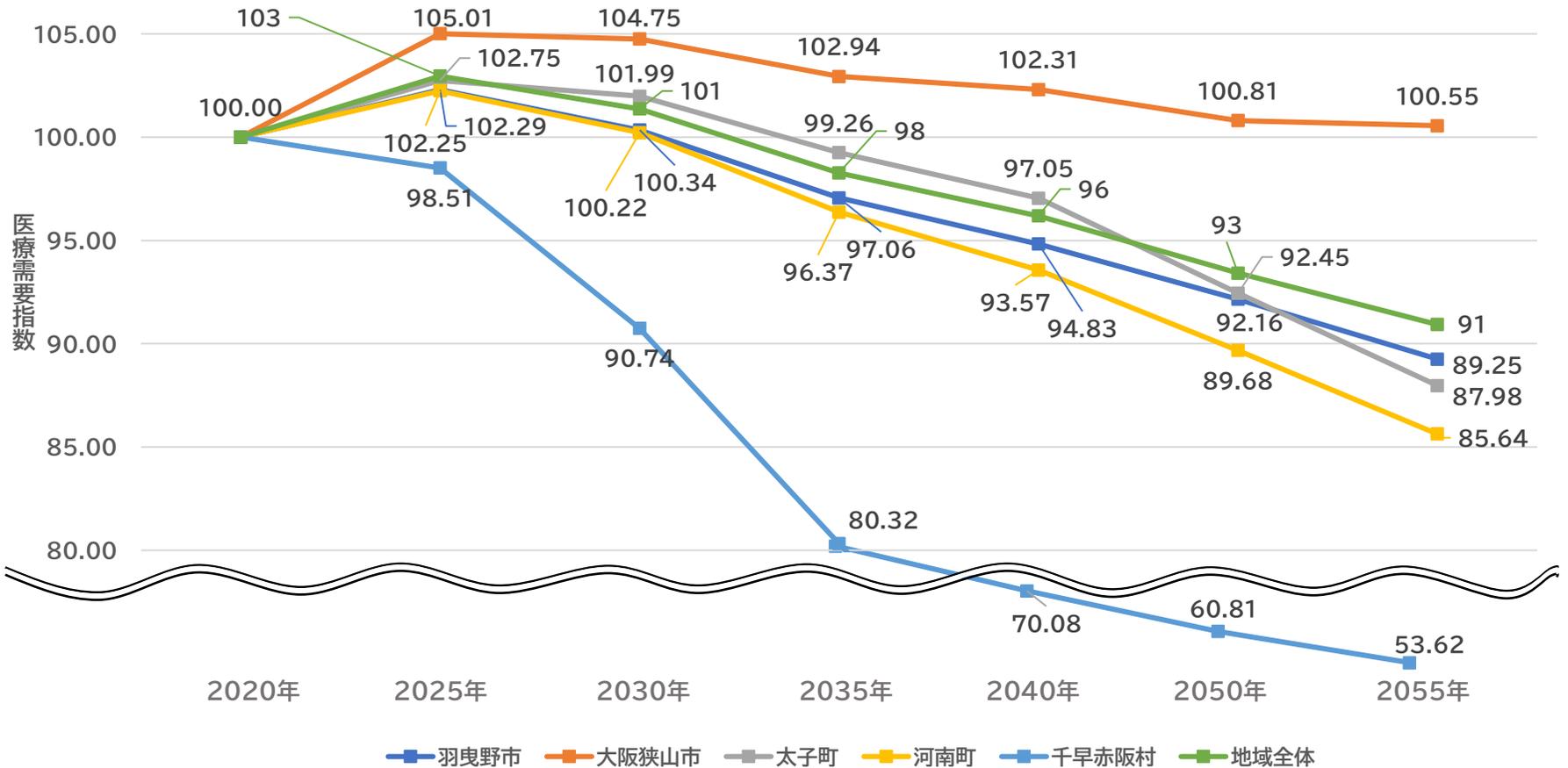
No.4-1

【医療・福祉】医療需要

出典：総務省「国勢調査」，国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口（令和5年推計）」を基に作成
 指数計算式：日本医師会「地域医療情報システム」記載の式を利用

推計結果の概要

医療需要は高齢者人口の増加により千早赤阪村を除く2市2町では2025年まで拡大。その後は、人口減少により医療需要は減少する。



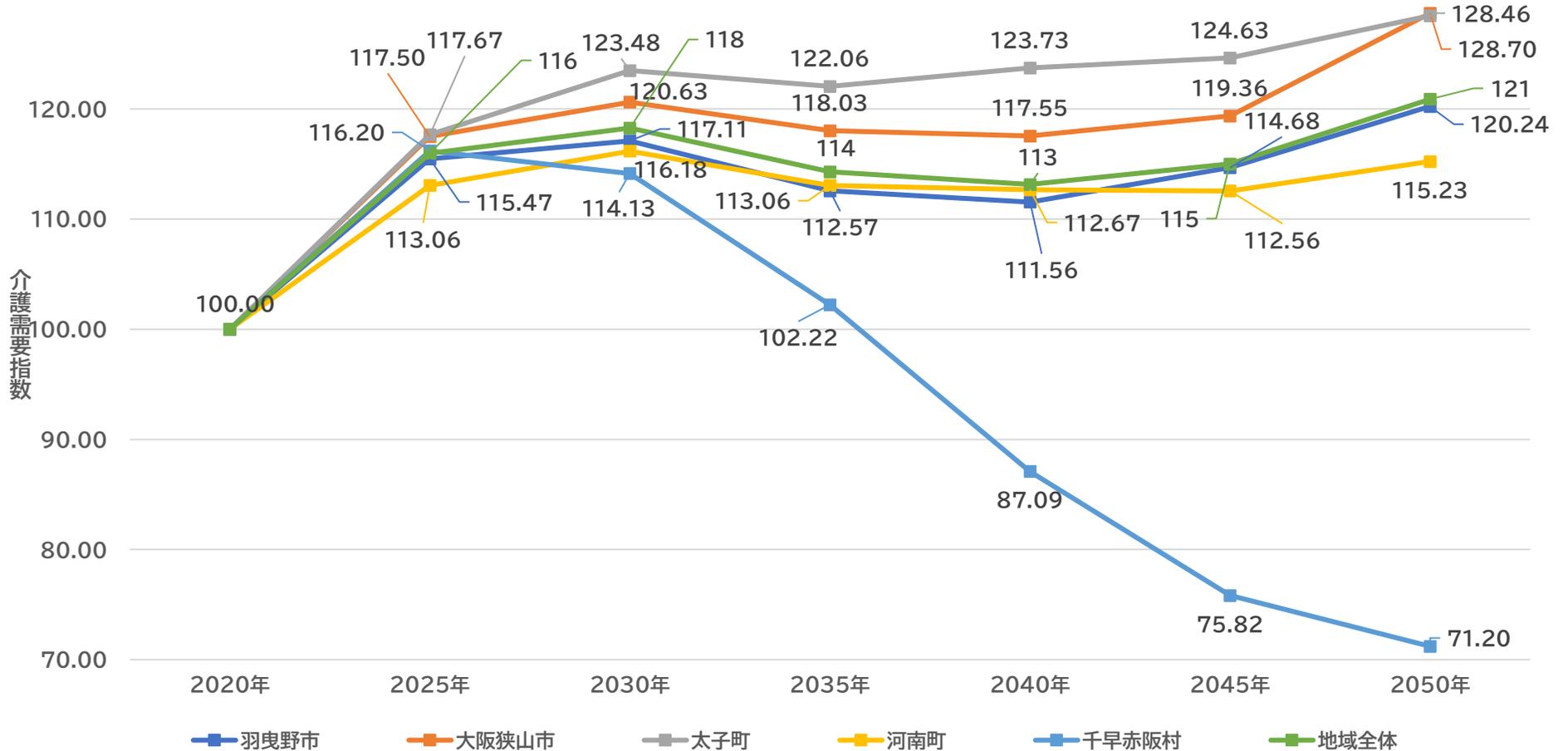
No.4-1

【医療・福祉】介護需要

出典：総務省「国勢調査」，国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口（令和5年推計）」を基に作成
 指数計算式：日本医師会「地域医療情報システム」記載の式を利用

推計結果の概要

介護需要は千早赤阪村を除く2市2町において高齢者人口の増加により2030年まで拡大。その後人口減少により介護需要は減少するが、高齢化率が上昇していくため、再び拡大に転じる。



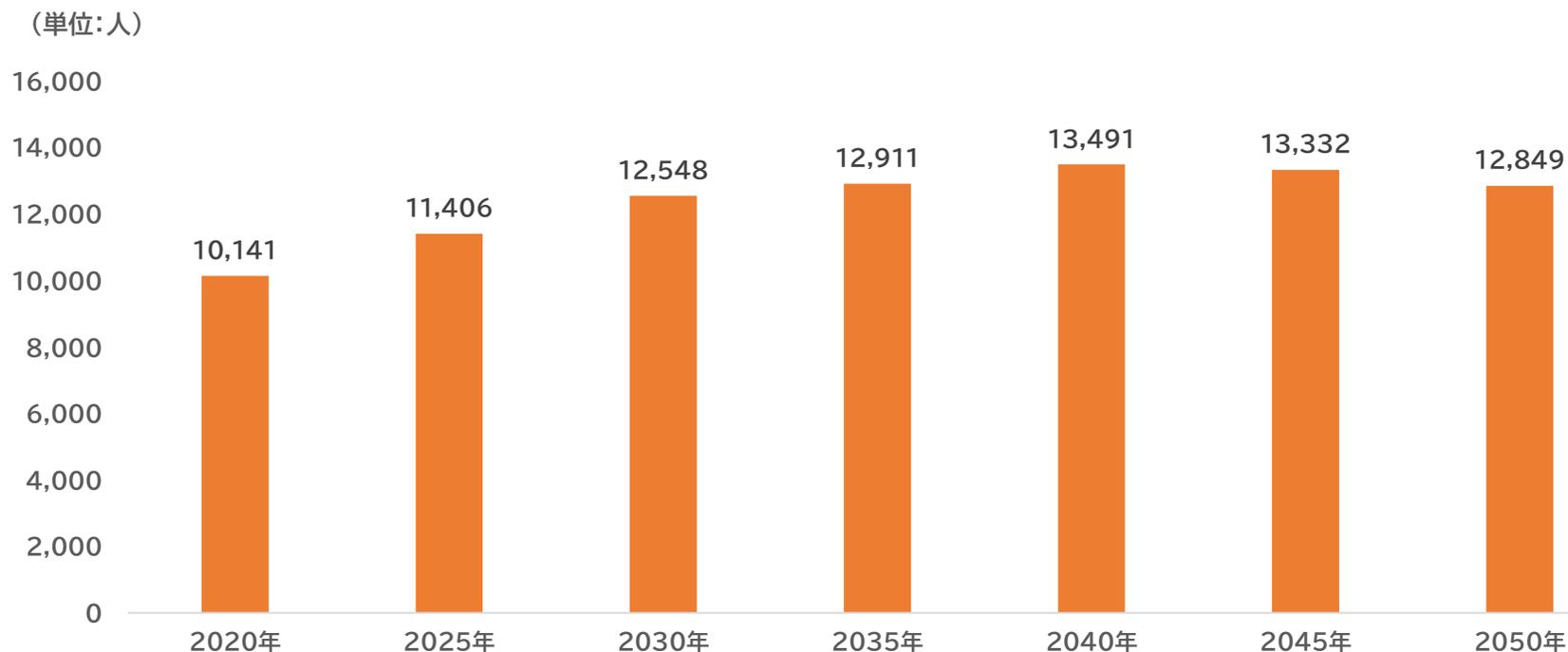
No.4-2

【医療・福祉】認知症有病者数(南河内地域2市2町1村)

出典:総務省「国勢調査」,国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口(令和5年推計)」,
厚生労働省「認知症の人の将来推計について」を基に作成

推計結果の概要

認知症有病者数は、2040年頃まで増加し、高齢者人口の減少に伴って、認知症有病者数も減少に転じる。



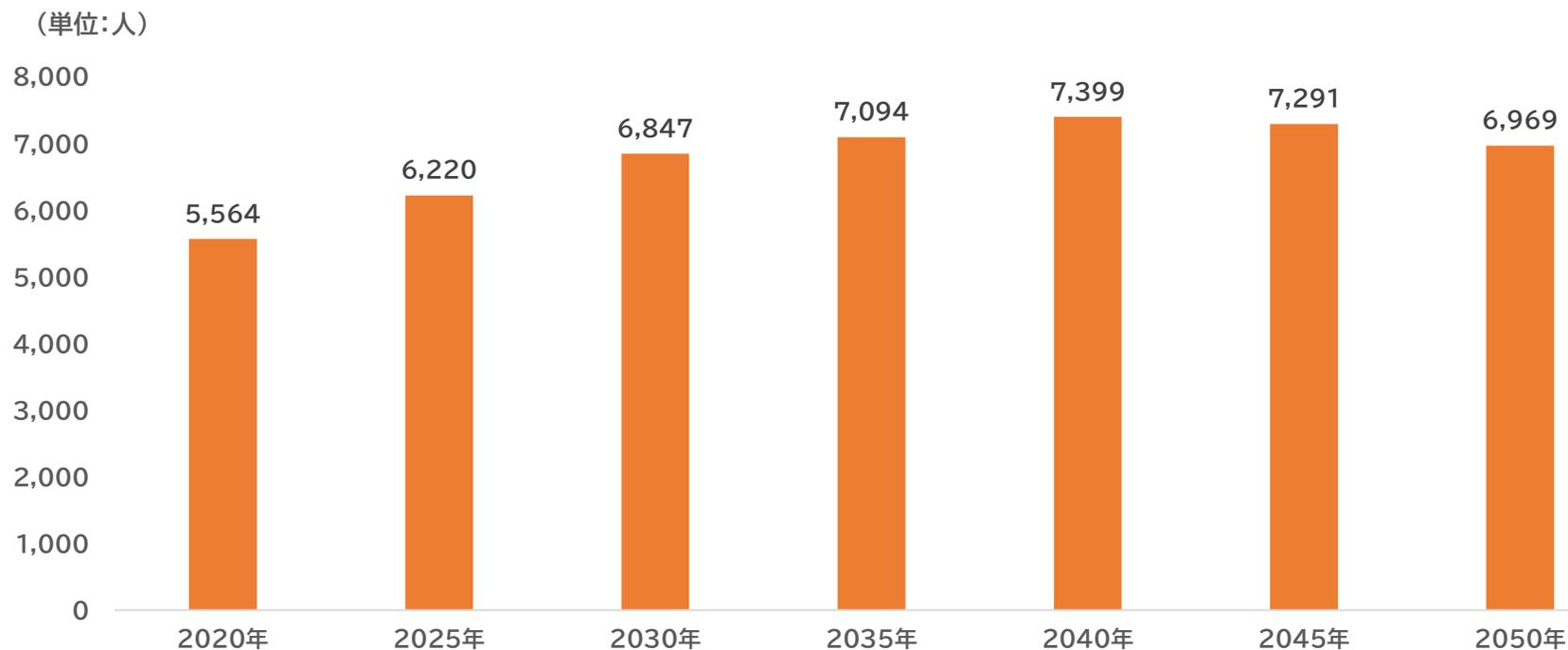
No.4-2

【医療・福祉】認知症有病者数(羽曳野市)

出典:総務省「国勢調査」,国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口(令和5年推計)」,
厚生労働省「認知症の人の将来推計について」を基に作成

推計結果の概要

認知症有病者数は、2040年頃まで増加し、高齢者人口の減少に伴って、認知症有病者数も減少に転じる。



No.4-2

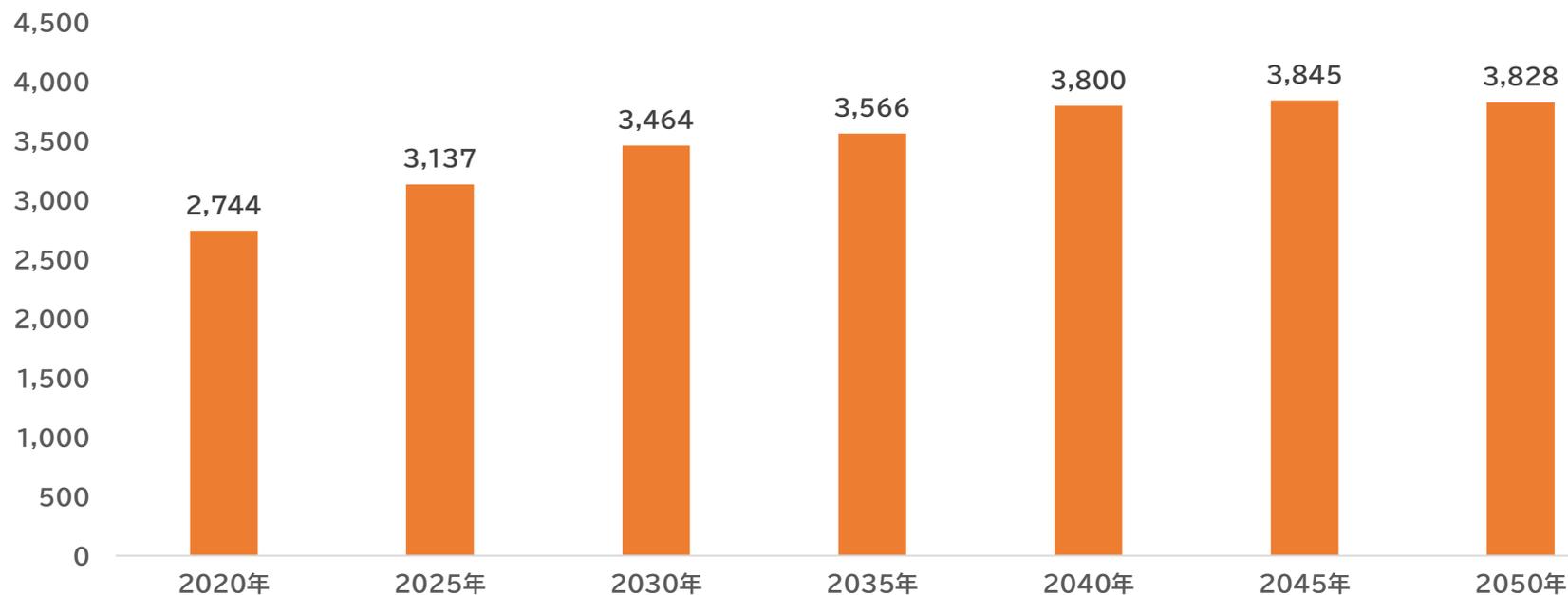
【医療・福祉】認知症有病者数(大阪狭山市)

出典:総務省「国勢調査」,国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口(令和5年推計)」,
厚生労働省「認知症の人の将来推計について」を基に作成

推計結果の概要

認知症有病者数は、2045年頃まで増加し、その後高止まりとなる。

(単位:人)



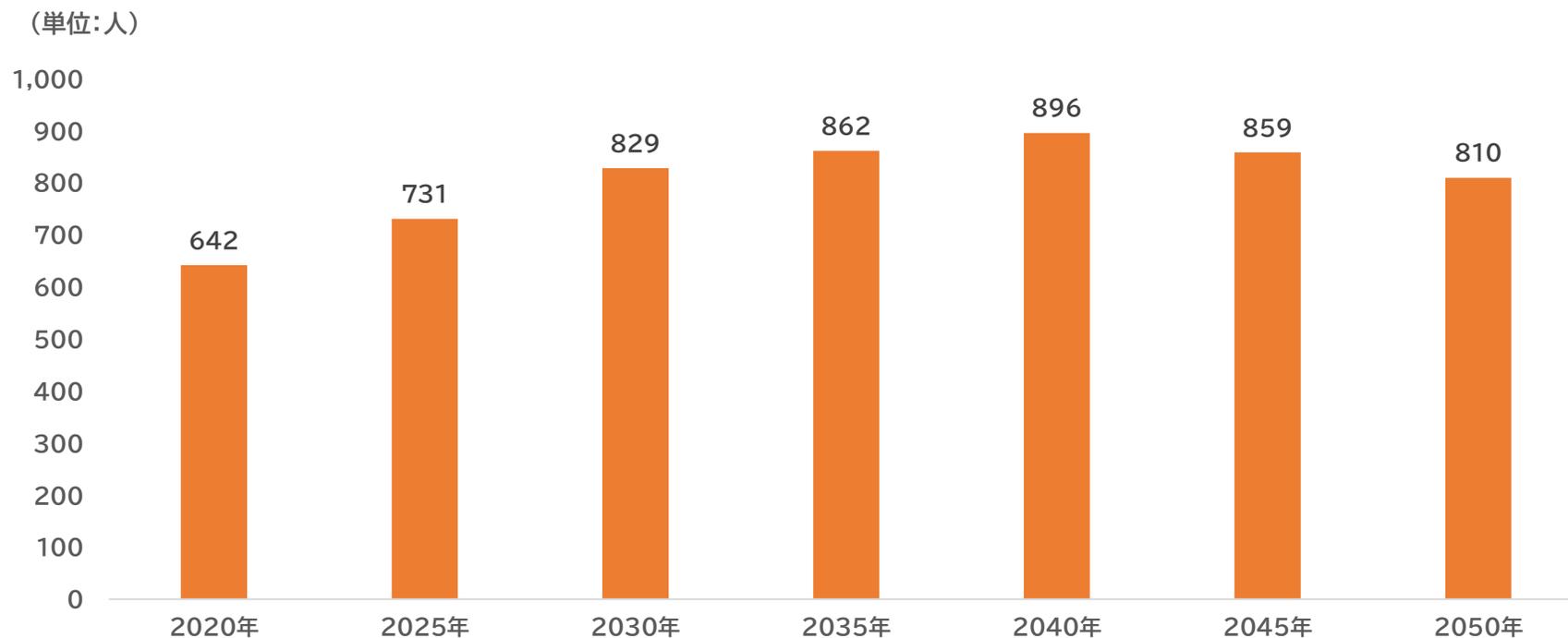
No.4-2

【医療・福祉】認知症有病者数(太子町)

出典:総務省「国勢調査」,国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口(令和5年推計)」,
厚生労働省「認知症の人の将来推計について」を基に作成

推計結果の概要

認知症有病者数は、2040年頃まで増加し、高齢者人口の減少に伴って、認知症有病者数も減少に転じる。



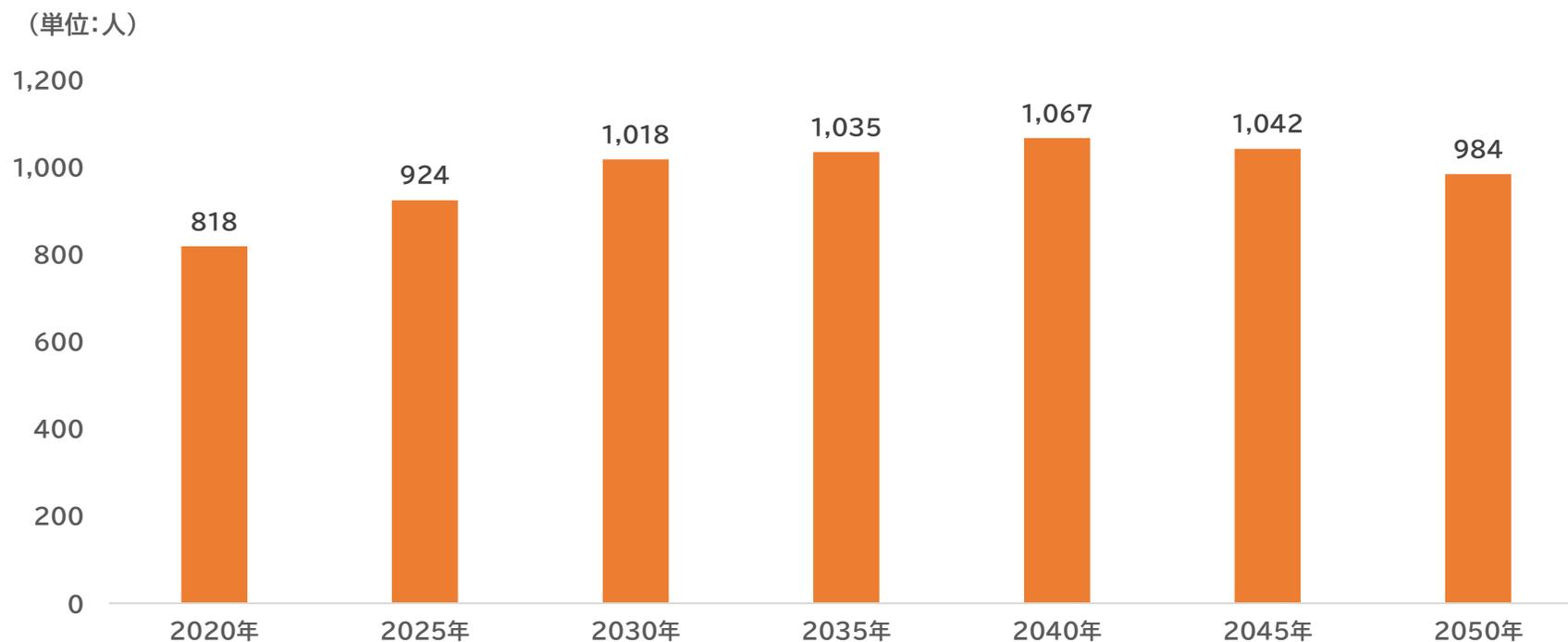
No.4-2

【医療・福祉】認知症有病者数(河南町)

出典:総務省「国勢調査」,国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口(令和5年推計)」,
厚生労働省「認知症の人の将来推計について」を基に作成

推計結果の概要

認知症有病者数は、2040年頃まで増加し、高齢者人口の減少に伴って、認知症有病者数も減少に転じる。



No.4-2

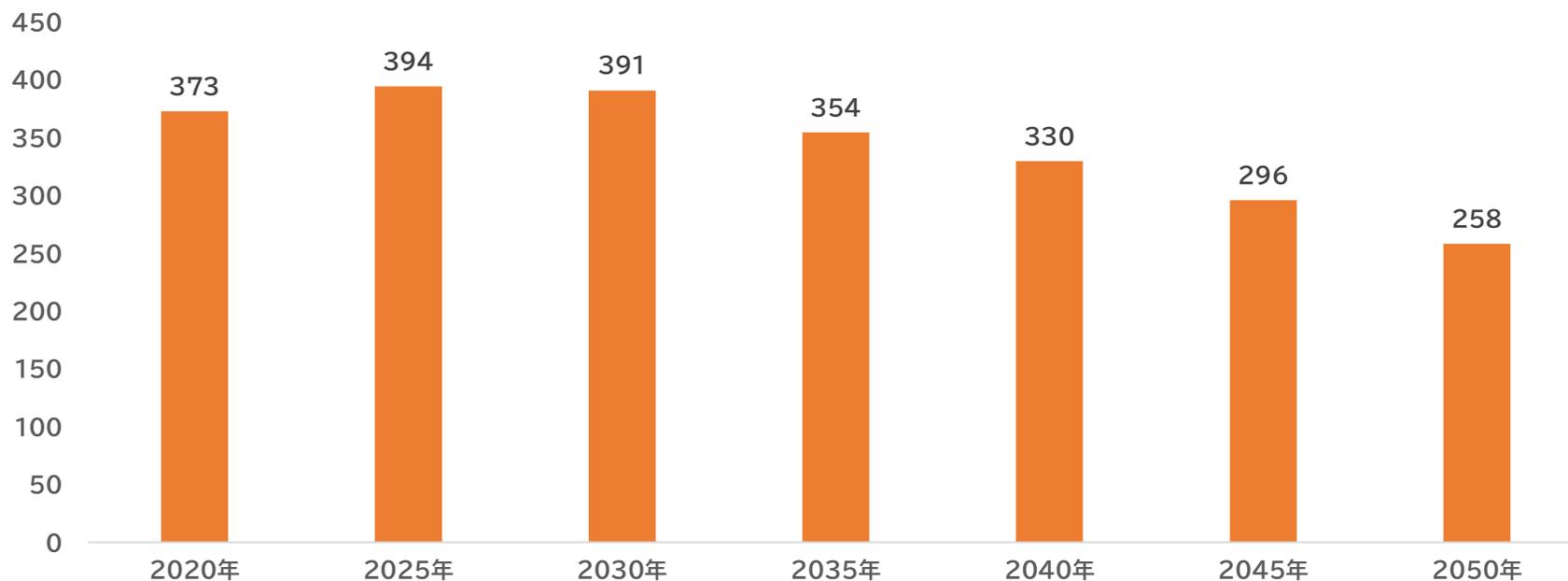
【医療・福祉】認知症有病者数(千早赤阪村)

出典:総務省「国勢調査」,国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口(令和5年推計)」,
厚生労働省「認知症の人の将来推計について」を基に作成

推計結果の概要

認知症有病者数は、2040年頃まで増加し、高齢者人口の減少に伴って、認知症有病者数も減少に転じる。

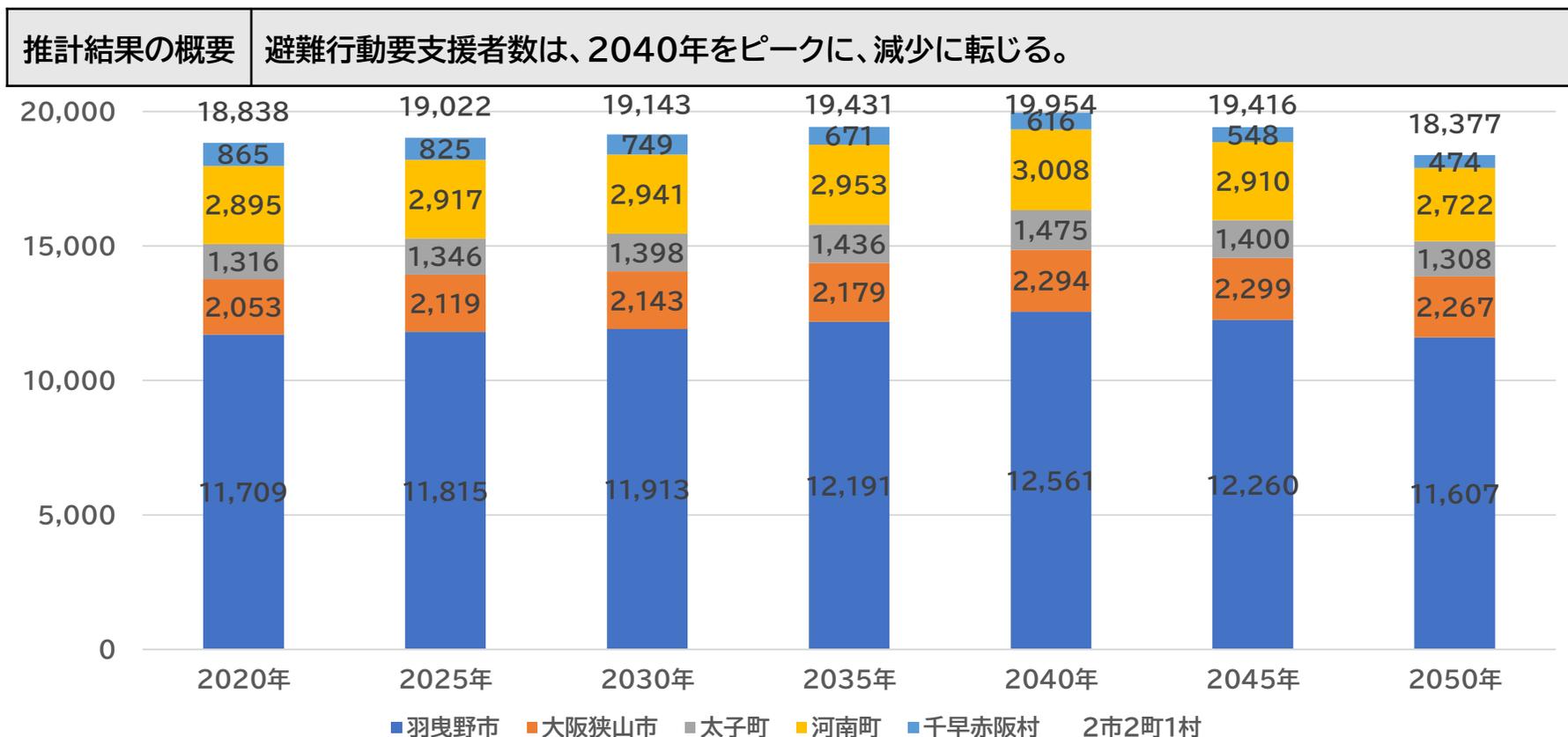
(単位:人)



No.5-1

【防災・消防】避難行動要支援者数(2市2町1村)

出典：総務省「国勢調査」、国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口(令和5年推計)」を基に作成



※避難行動要支援者数については、各市町で定義が異なる。
 ※端数処理により、合計と内訳の計が一致しないことがある。

No.5-2

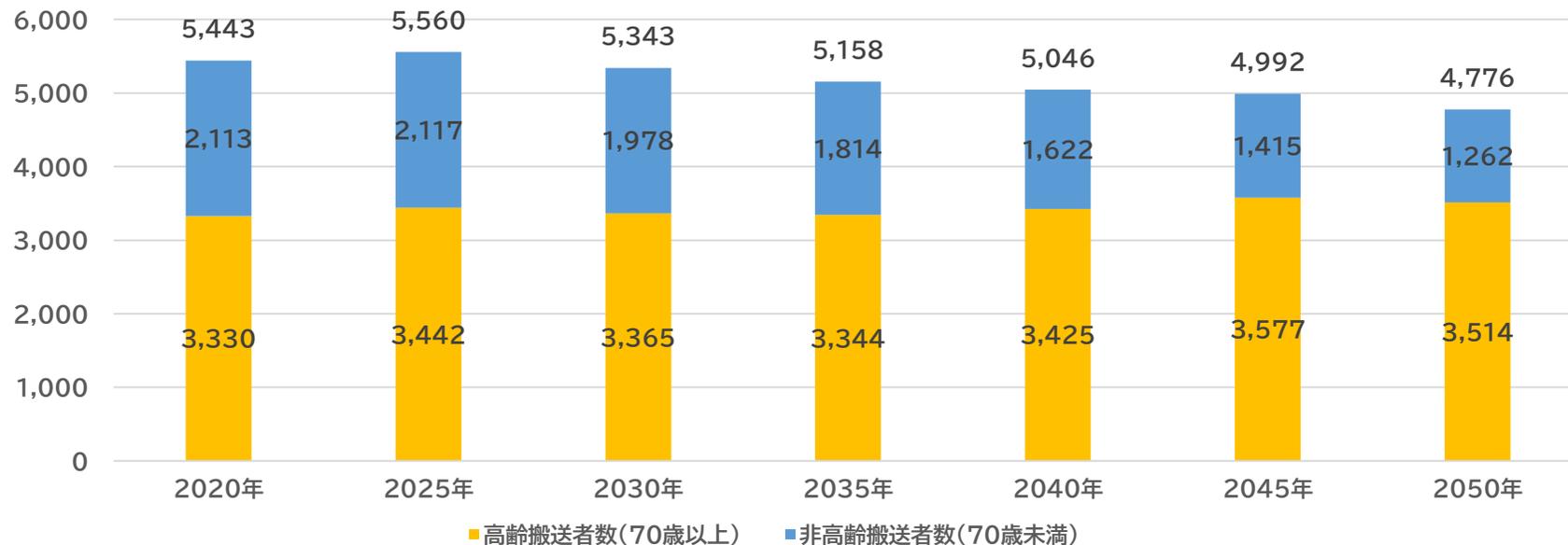
【防災・消防】救急搬送人員数(羽曳野市)

出典：総務省「国勢調査」、国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口(令和5年推計)」を基に作成

推計結果の概要

救急搬送人員数は、2025年をピークに、緩やかな減少に転じるが、高齢化率の上昇により、緩やかな減少に留まる。

(単位:人)



※端数処理により、合計と内訳の計が一致しないことがある。

No.5-2

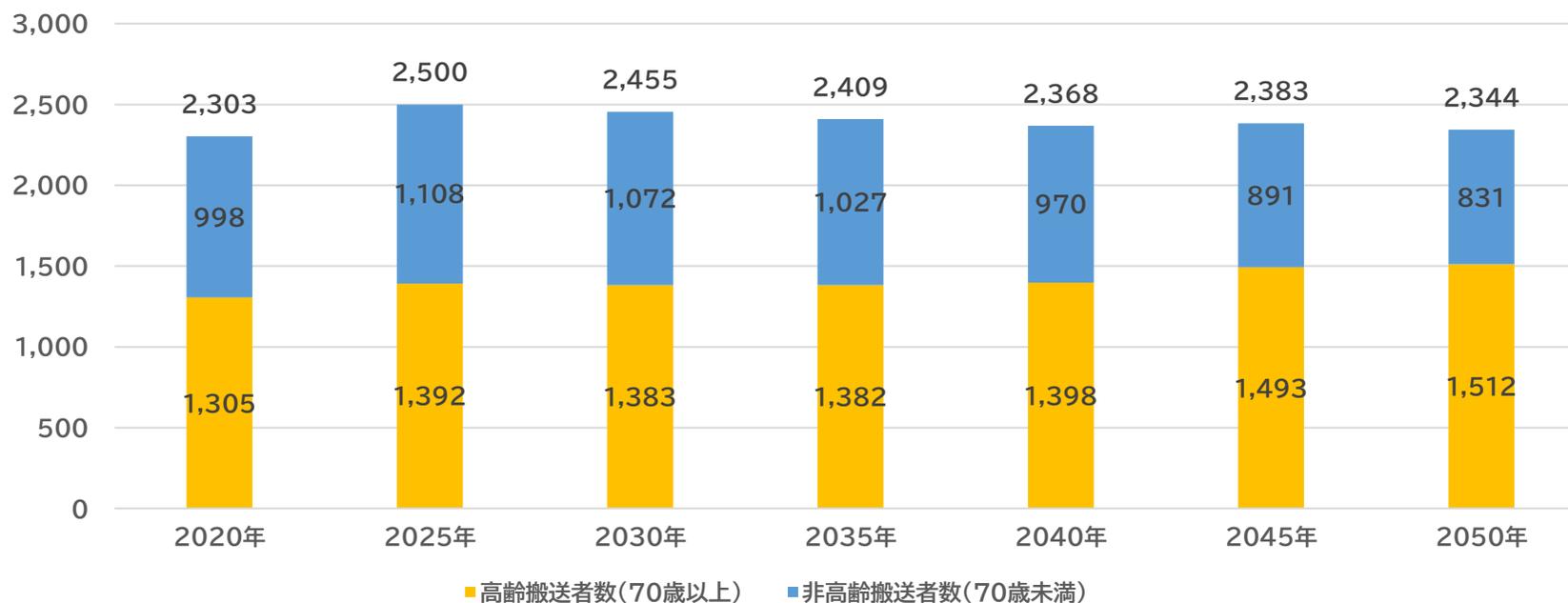
【防災・消防】救急搬送人員数(大阪狭山市)

出典:総務省「国勢調査」, 国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口(令和5年推計)」を基に作成

推計結果の概要

救急搬送人員数は、2025年をピークに、緩やかな減少に転じるが、高齢化率の上昇により、緩やかな減少に留まる。

(単位:人)



※端数処理により、合計と内訳の計が一致しないことがある。

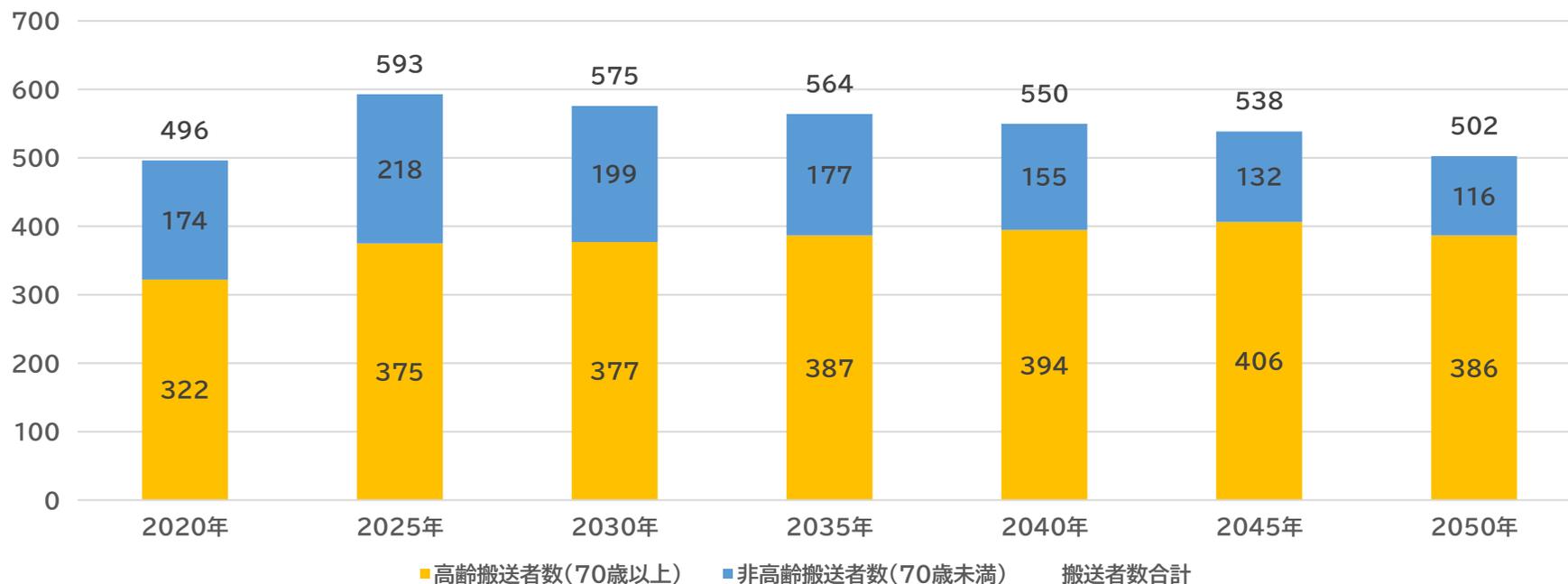
No.5-2

【防災・消防】救急搬送人員数(太子町)

出典:総務省「国勢調査」, 国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口(令和5年推計)」を基に作成

推計結果の概要

救急搬送人員数は、2025年をピークに、緩やかな減少に転じるが、高齢化率の上昇により、緩やかな減少に留まる。



※端数処理により、合計と内訳の計が一致しないことがある。

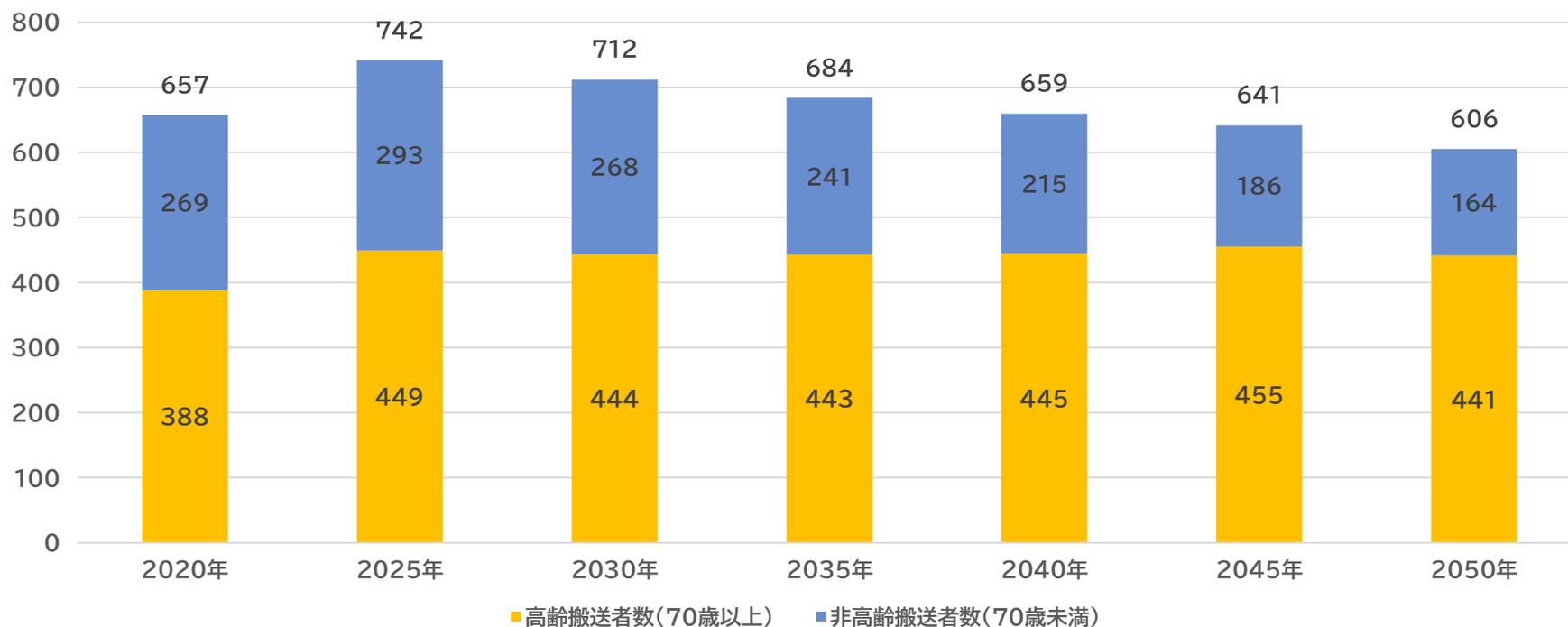
No.5-2

【防災・消防】救急搬送人員数(河南町)

出典：総務省「国勢調査」、国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口(令和5年推計)」を基に作成

推計結果の概要

救急搬送人員数は、2025年をピークに、緩やかな減少に転じるが、高齢化率の上昇により、緩やかな減少に留まる。



※端数処理により、合計と内訳の計が一致しないことがある。

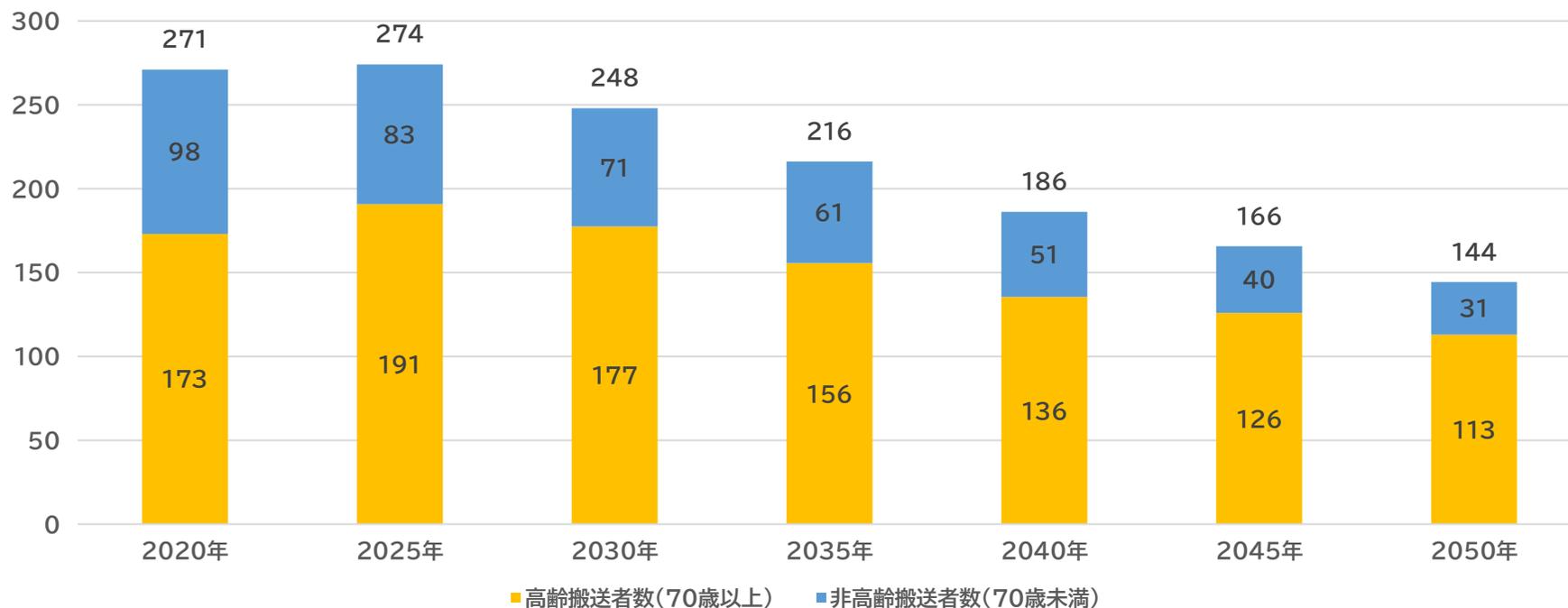
No.5-2

【防災・消防】救急搬送人員数(千早赤阪村)

出典:総務省「国勢調査」, 国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口(令和5年推計)」を基に作成

推計結果の概要

救急搬送人員数は、2025年をピークに、緩やかな減少に転じるが、高齢化率の上昇により、緩やかな減少に留まる。



※端数処理により、合計と内訳の計が一致しないことがある。

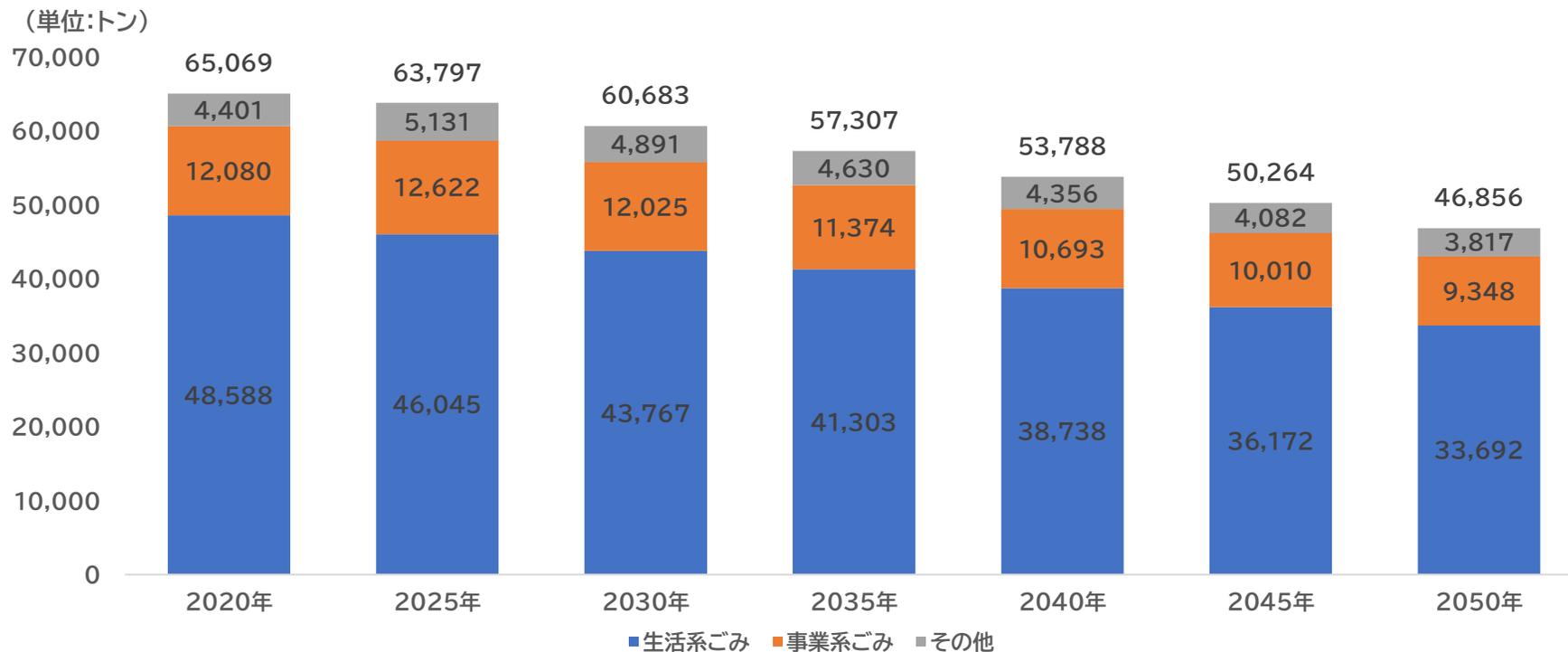
No.6-1

【衛生】ごみ発生量(南河内地域2市2町1村)

出典:総務省「国勢調査」,国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口(令和5年推計)」,
環境省「ごみ処理の概要」を基に作成

推計結果の概要

人口減少等により、2050年にかけて18,213トン(約28.0%)減少する見込み。



※端数処理により、合計と内訳の計が一致しないことがある。

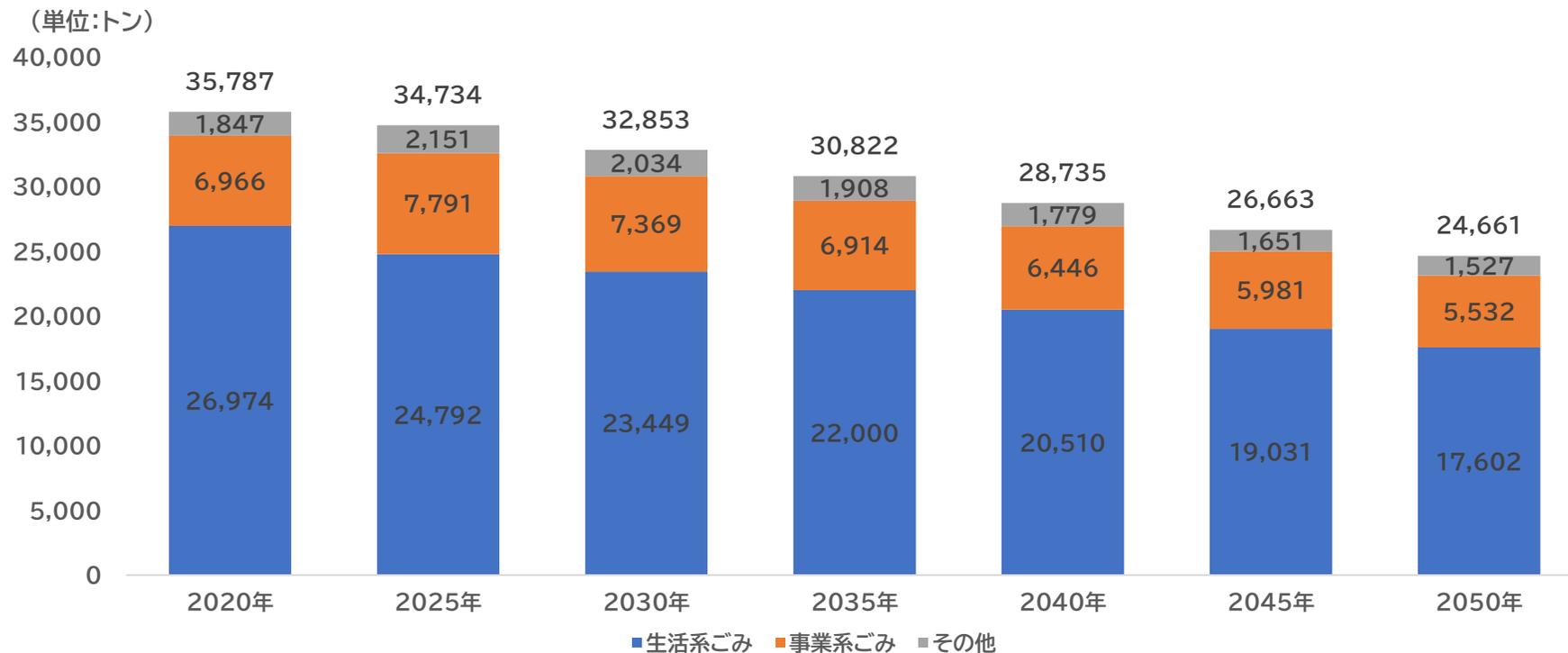
No.6-1

【衛生】ごみ発生量(羽曳野市)

出典:総務省「国勢調査」,国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口(令和5年推計)」,
環境省「ごみ処理の概要」を基に作成

推計結果の概要

人口減少等により、2050年にかけて11,126トン(約31.1%)減少する見込み。



※端数処理により、合計と内訳の計が一致しないことがある。

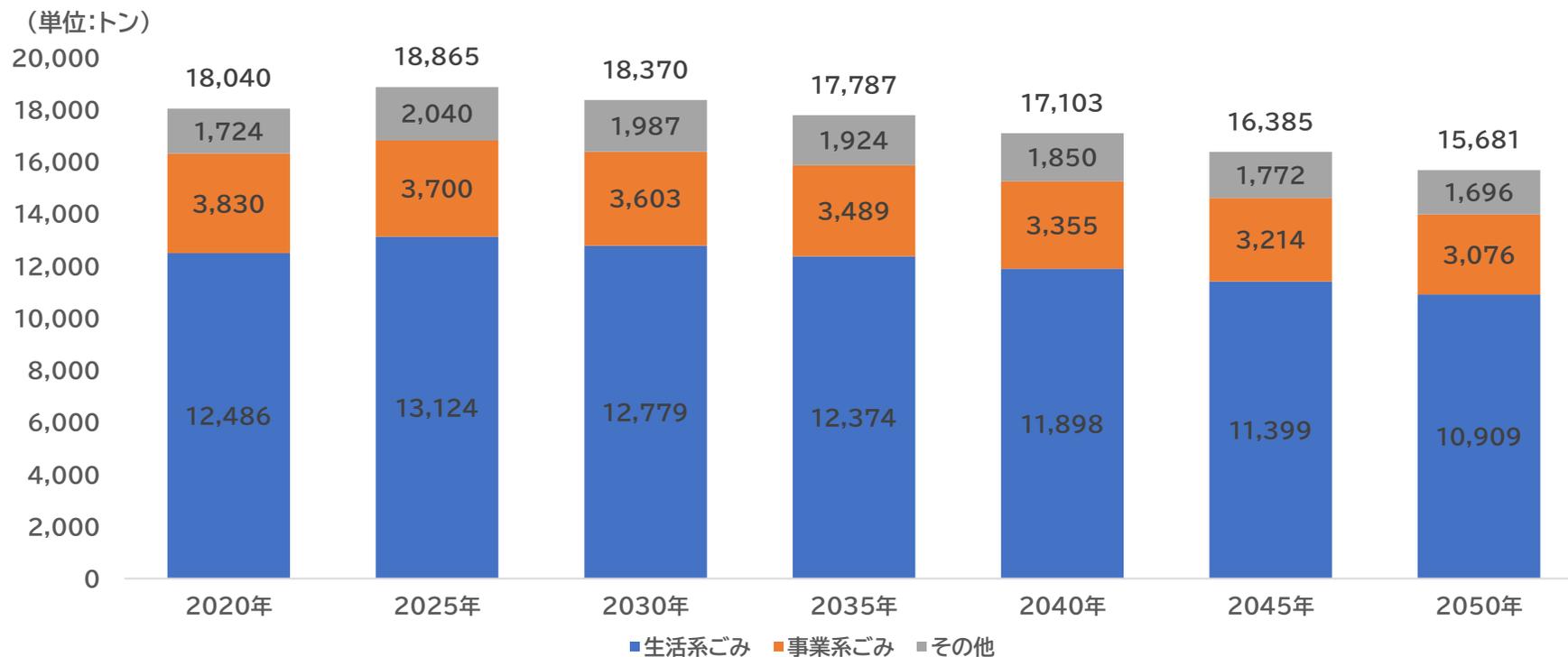
No.6-1

【衛生】ごみ発生量(大阪狭山市)

出典:総務省「国勢調査」,国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口(令和5年推計)」,
環境省「ごみ処理の概要」を基に作成

推計結果の概要

人口減少等により、2050年にかけて2,359トン(約13.1%)減少する見込み。



※端数処理により、合計と内訳の計が一致しないことがある。

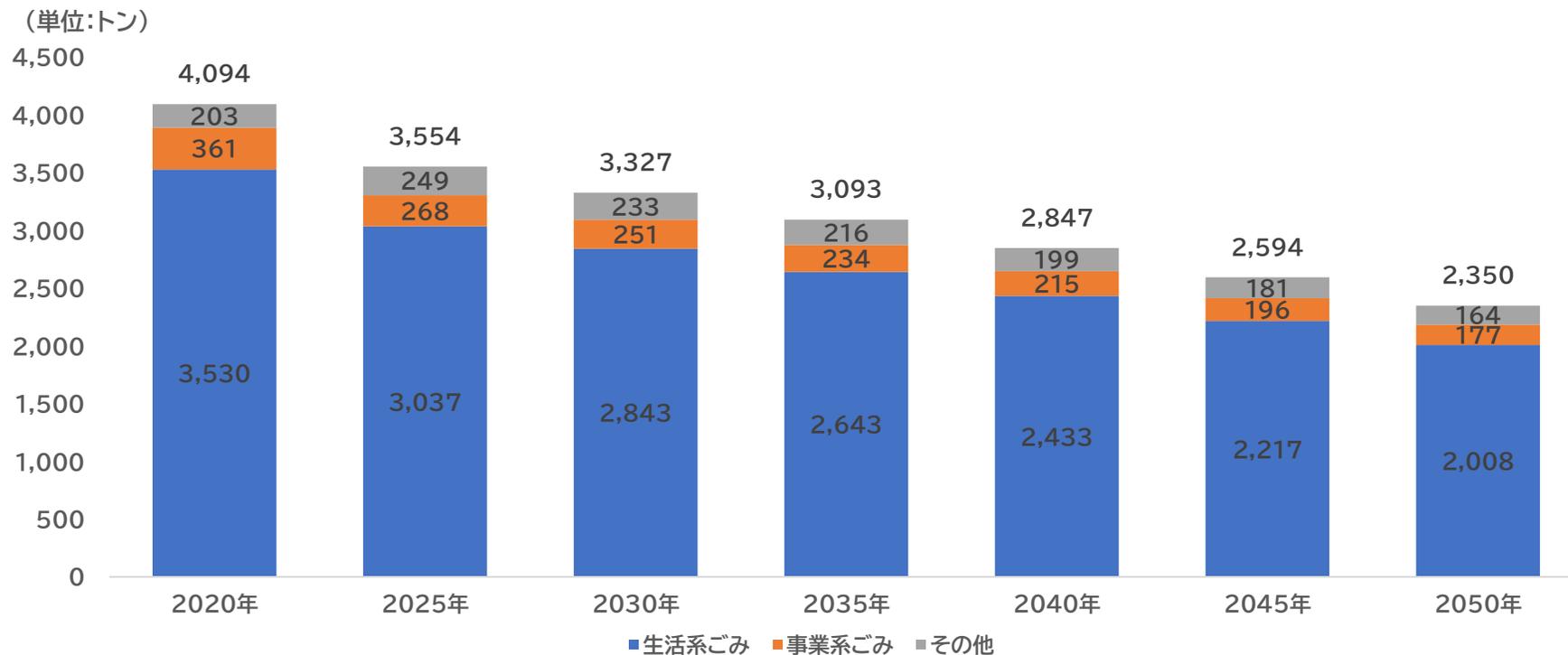
No.6-1

【衛生】ごみ発生量(太子町)

出典:総務省「国勢調査」,国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口(令和5年推計)」,
環境省「ごみ処理の概要」を基に作成

推計結果の概要

人口減少等により、2050年にかけて1,744トン(約42.6%)減少する見込み。



※端数処理により、合計と内訳の計が一致しないことがある。

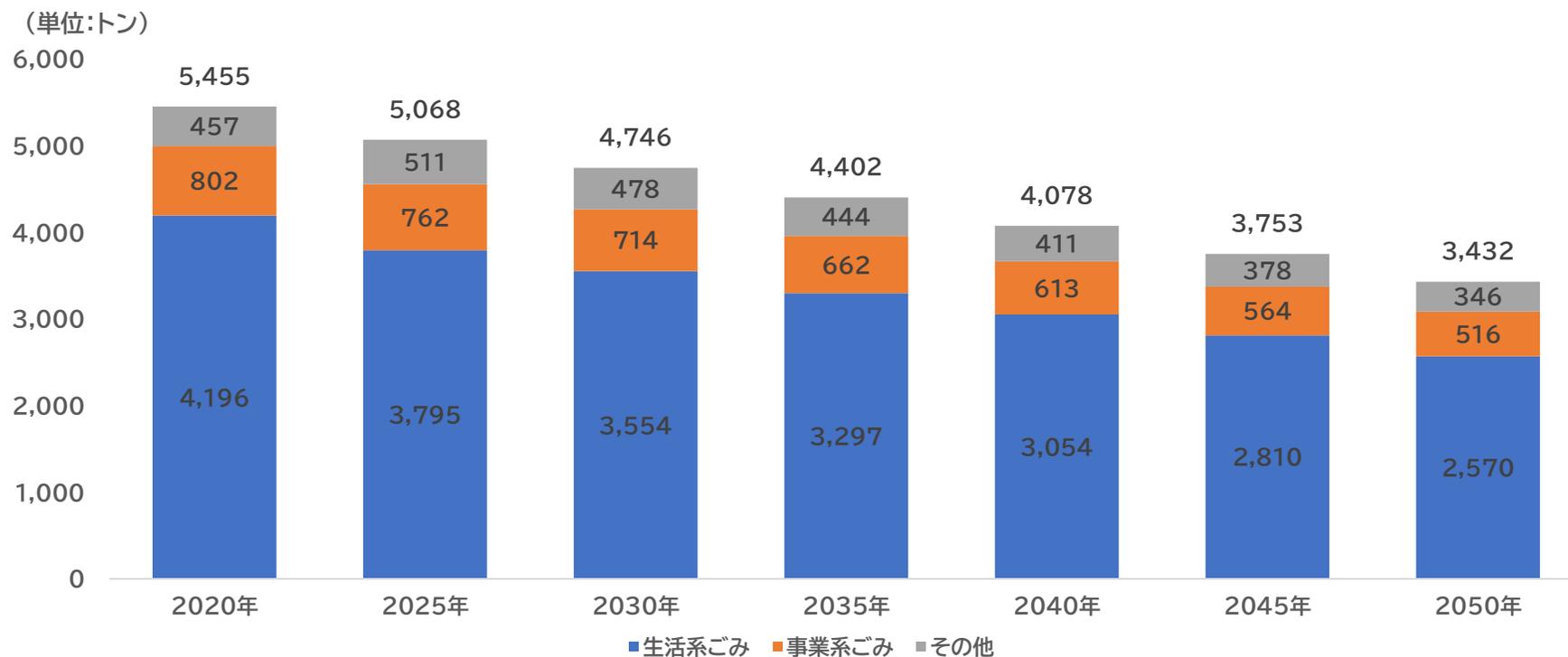
No.6-1

【衛生】ごみ発生量(河南町)

出典:総務省「国勢調査」,国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口(令和5年推計)」,
環境省「ごみ処理の概要」を基に作成

推計結果の概要

人口減少等により、2050年にかけて2,023トン(約37.1%)減少する見込み。



※端数処理により、合計と内訳の計が一致しないことがある。

No.6-1

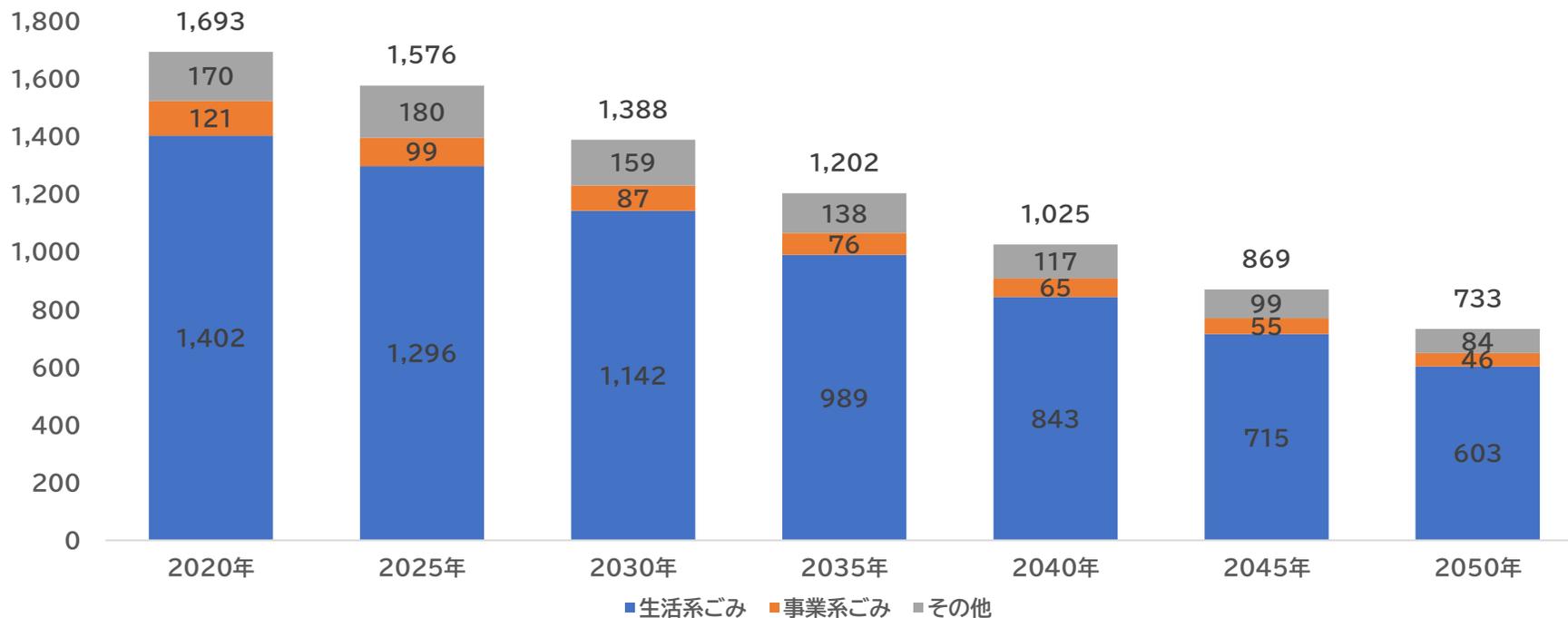
【衛生】ごみ発生量(千早赤阪村)

出典:総務省「国勢調査」,国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口(令和5年推計)」,
環境省「ごみ処理の概要」を基に作成

推計結果の概要

人口減少等により、2050年にかけて960トン(約56.7%)減少する見込み。

(単位:トン)



※端数処理により、合計と内訳の計が一致しないことがある。

No.6-2

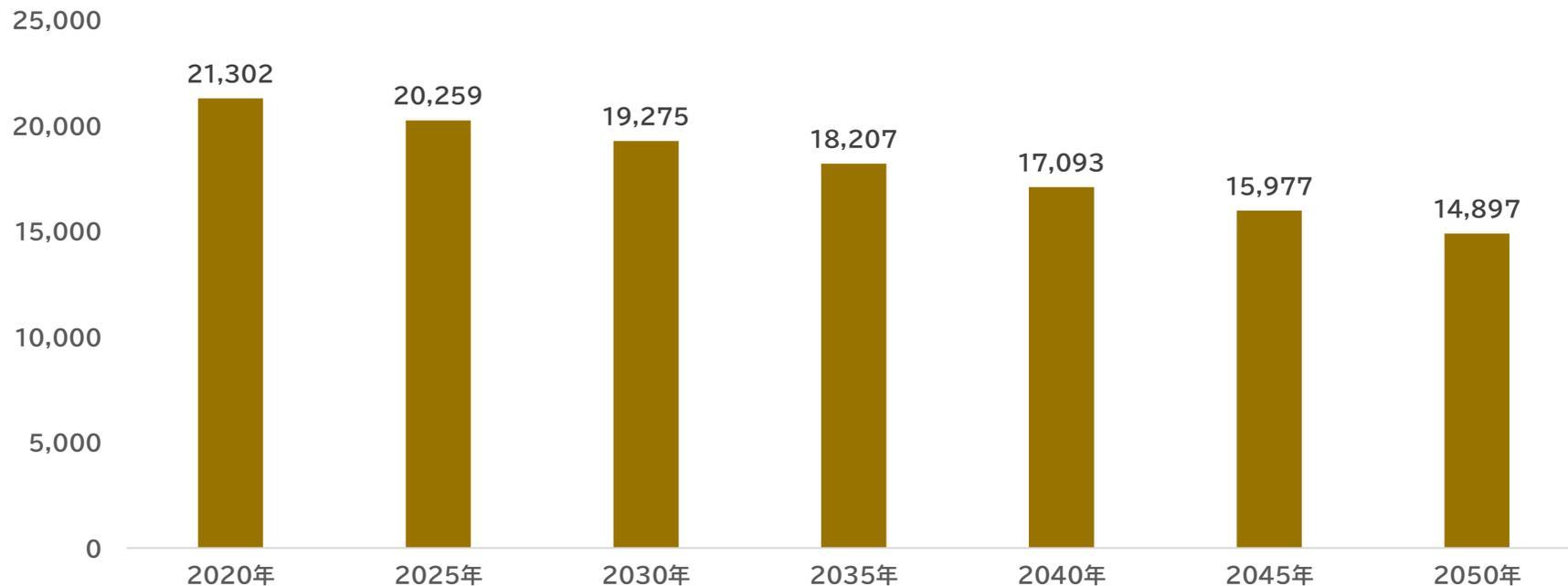
【衛生】有収水量(南河内地域2市2町1村)

出典:総務省「国勢調査」,国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口(令和5年推計)」,
大阪府「大阪府の水道の現況」を基に作成

推計結果の概要

人口減少等により、2050年にかけて6,405千 m^3 (約30.1%)減少する見込み。

(単位:千 m^3)



No.6-2

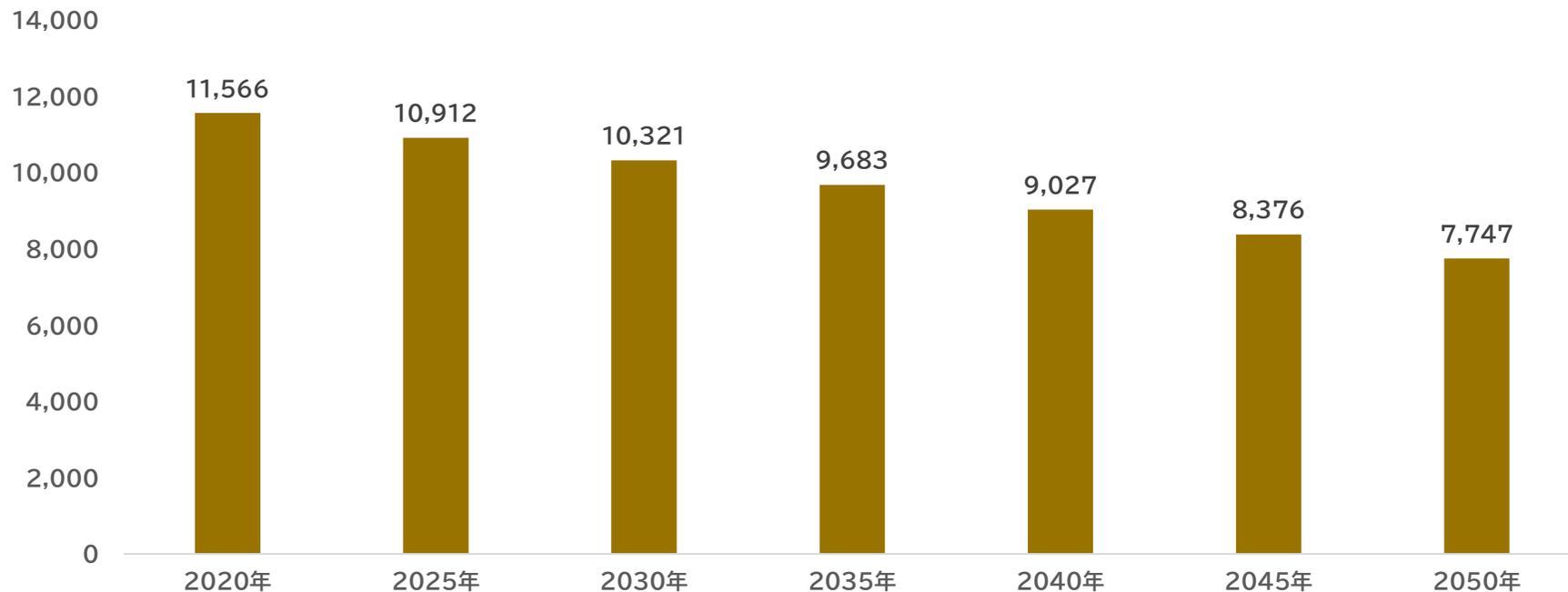
【衛生】有収水量(羽曳野市)

出典:総務省「国勢調査」,国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口(令和5年推計)」,
大阪府「大阪府の水道の現況」を基に作成

推計結果の概要

人口減少等により、2050年にかけて3,819千 m^3 (約33.0%)減少する見込み。

(単位:千 m^3)



No.6-2

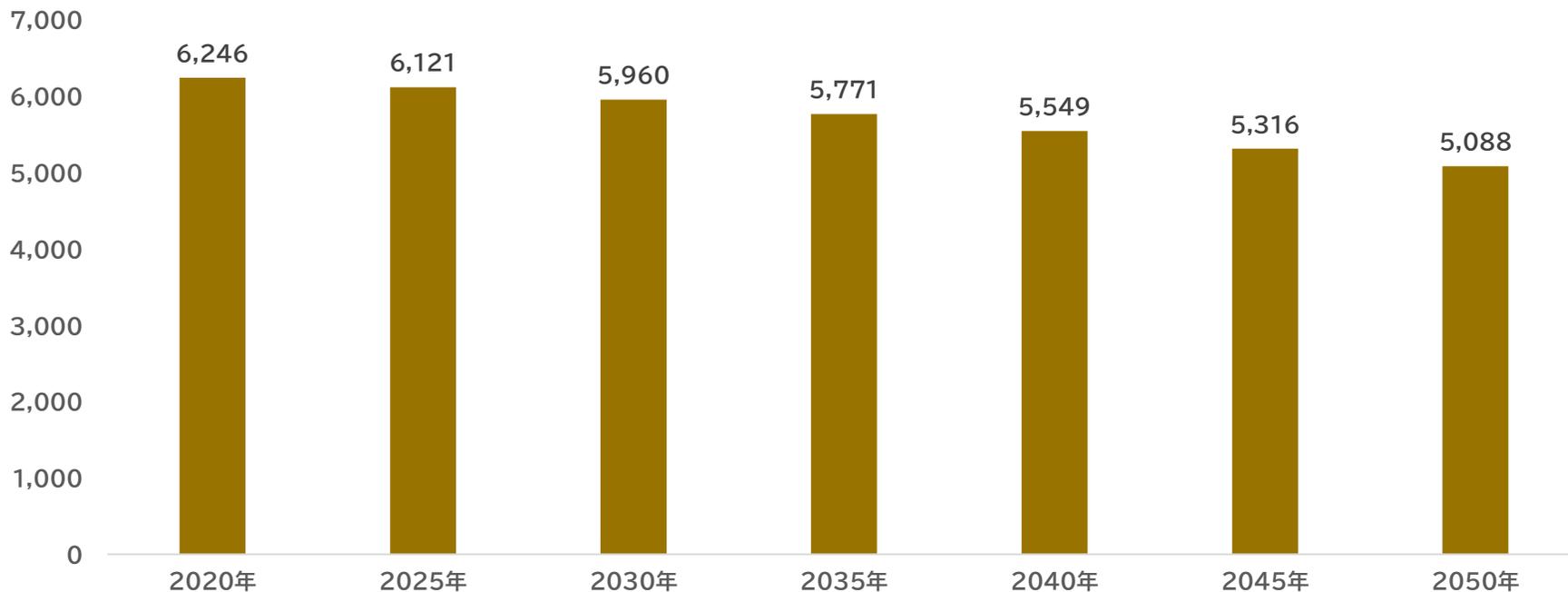
【衛生】有収水量(大阪狭山市)

出典:総務省「国勢調査」,国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口(令和5年推計)」,
大阪府「大阪府の水道の現況」を基に作成

推計結果の概要

人口減少等により、2050年にかけて1,158千 m^3 (約18.5%)減少する見込み。

(単位:千 m^3)



No.6-2

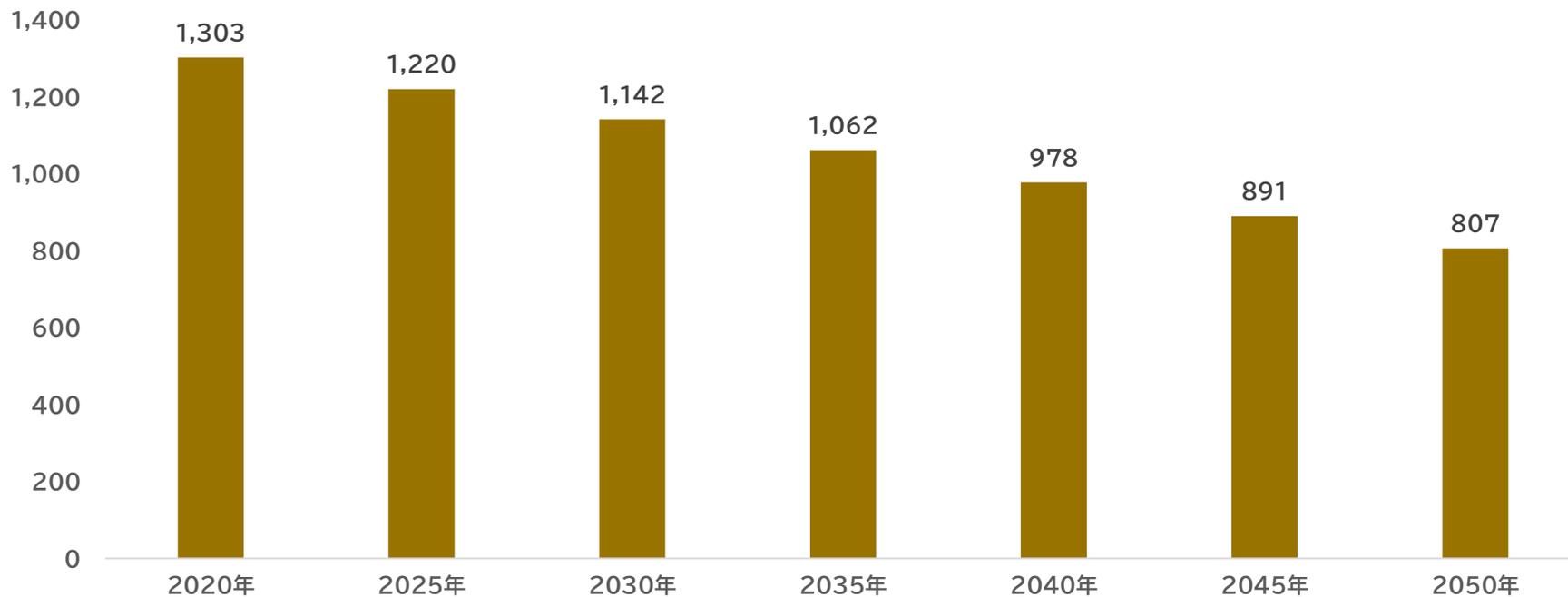
【衛生】有収水量(太子町)

出典:総務省「国勢調査」,国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口(令和5年推計)」,
大阪府「大阪府の水道の現況」を基に作成

推計結果の概要

人口減少等により、2050年にかけて496千 m^3 (約38.1%)減少する見込み。

(単位:千 m^3)



No.6-2

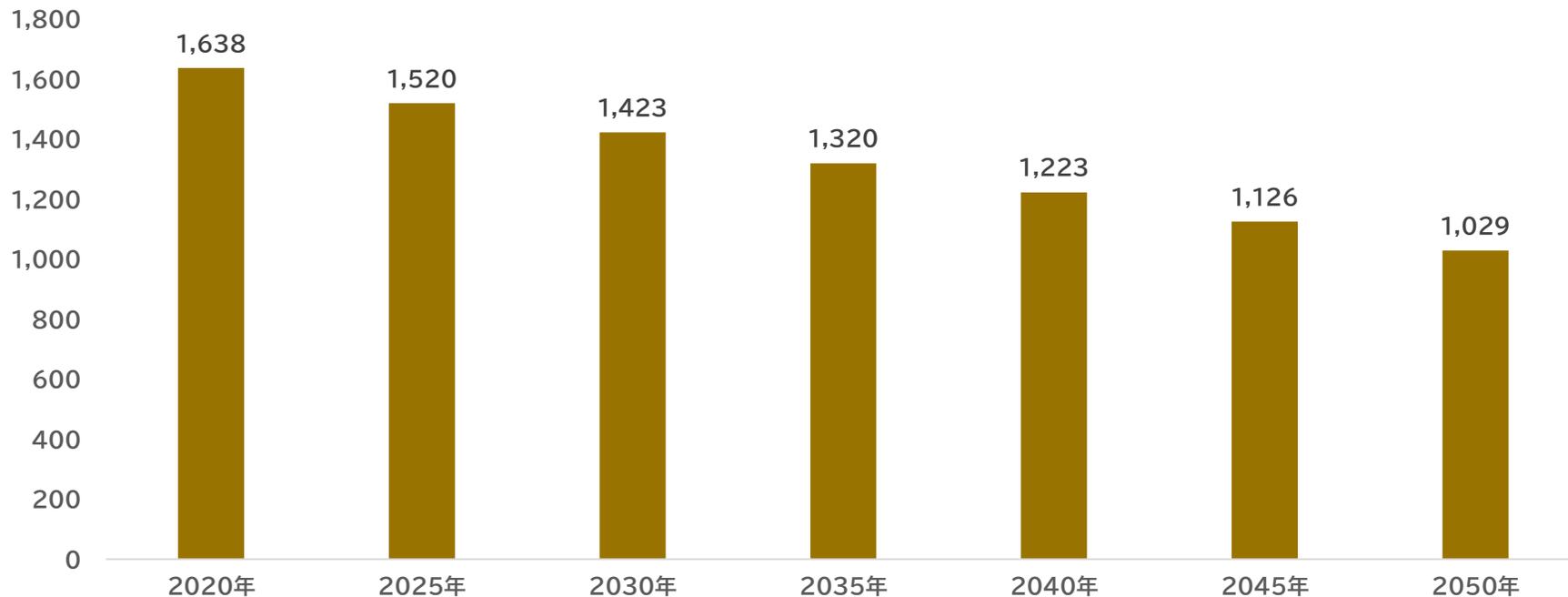
【衛生】有収水量(河南町)

出典:総務省「国勢調査」,国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口(令和5年推計)」,
大阪府「大阪府の水道の現況」を基に作成

推計結果の概要

人口減少等により、2050年にかけて609千 m^3 (約37.2%)減少する見込み。

(単位:千 m^3)



No.6-2

【衛生】有収水量(千早赤阪村)

出典:総務省「国勢調査」,国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口(令和5年推計)」,
大阪府「大阪府の水道の現況」を基に作成

推計結果の概要

人口減少等により、2050年にかけて323千 m^3 (約58.8%)減少する見込み。

(単位:千 m^3)

